Panasonic

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-BR500

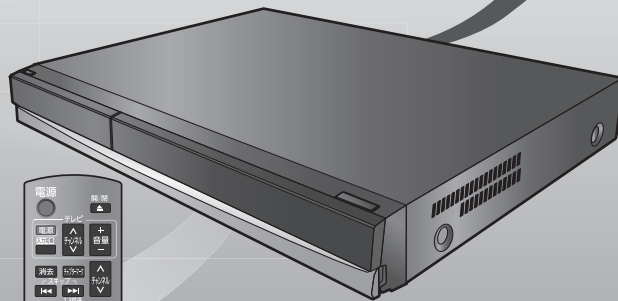
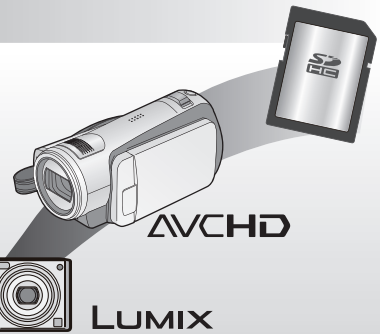
操作編

地上デジタル放送
BSデジタル放送
110度CSデジタル放送
地上アナログ放送

AVCHD

LUMIX

VIERA

ラックシアター
VIERA Link

ガイド

基本操作のほか、困ったときの解決法をテレビ画面でご覧になれます。

ブルーレイディスク/DVD関連情報(動作確認情報など)は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/index.html

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずご愛用者登録をお願いいたします。
ホームページでご愛用者登録ができます。
http://club.panasonic.co.jp/

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」(137～139ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意 / かんたん操作ガイド / 視聴 / 録画 / 再生 / 編集 / ダビング / 他の機器と / 写真 / 音楽 / 便利機能 / 必要なとき

RQT9113-MSA

もくじ

はじめに

かんたん操作ガイド

録画・再生・消去・ダビング

もっと 使いこなそう！

番組

視聴

録画

写真

音楽

その他

便利機能

もし 困ったとき

必要なとき

よくお読みください

本機が操作を受けつけなくなったときは…

[電源⏻/I]を
3秒以上押す
本機の電源が切れます。

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(➔137～139ページ)

本機の特長 こんなことができます

ハイビジョンで楽しむ

ハイビジョンで録画

デジタル放送を
ハイビジョン画質
そのままに録画

➜ 13ページ

ハイビジョンでブルーレイディスクへ

放送されたハイビジョン画質そのままで
ブルーレイディスクにダビング

➜ 18ページ

ハイビジョンで取り込む

ビデオカメラの
ハイビジョン動画(AVCHD)を
取り込む

➜ 65ページ

ブルーレイディスクなら… 大容量!

片面2層(50 GB)のブルーレイ
ディスクの場合、DVD(4.7 GB)
の約10枚分記録できます。

録画が便利!

- 新番組おまかせ録画

新番組のドラマやアニメを
自動的に録画します。

➜ 29ページ

- 録画しながら再生する

録画中の番組を先頭から再生したり、
録画済みの別の番組を再生します。

➜ 27ページ

SDカードを使って

写真

デジタルカメラで撮った写真を楽しむ

➜ 66ページ

動画

MPEG2やAVCHDの動画を楽しむ

➜ 59ページ
➜ 64ページ

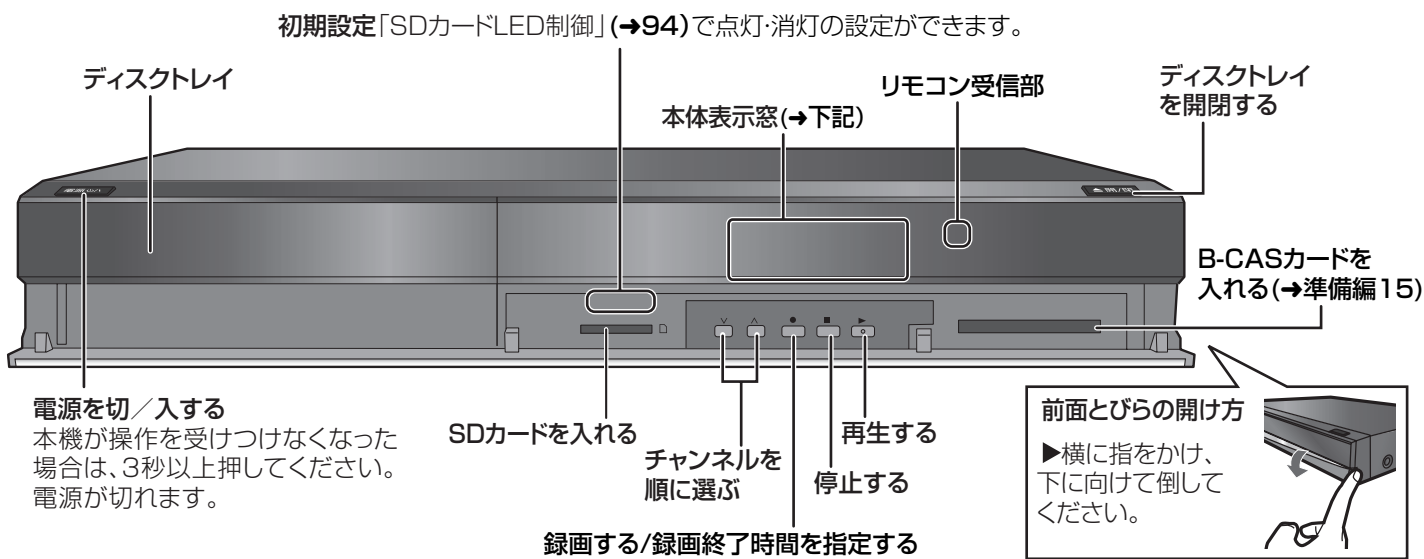
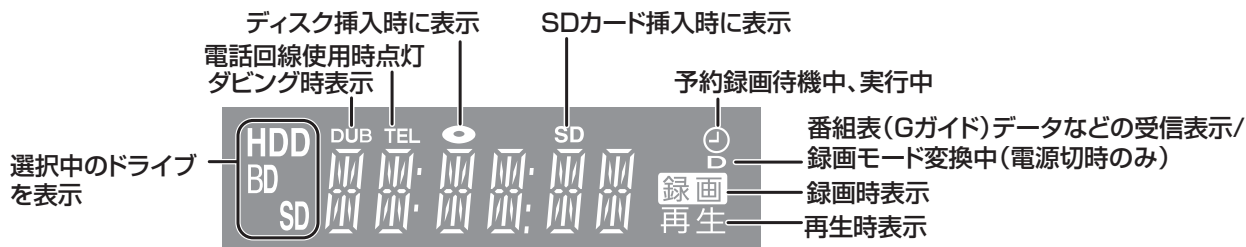
HDMIケーブルでビエラとつなげば、

ビエラのリモコン1つで本機の操作を行うことができます ➜ 82ページ

各部のはたらき

リモコン

各部のはたらき（つづき）

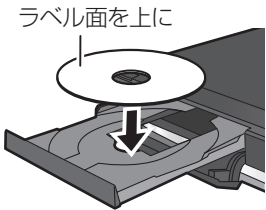
本体（本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています）

本体表示窓

ディスク・SDカードを入れる

ディスク

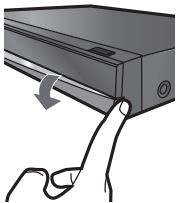
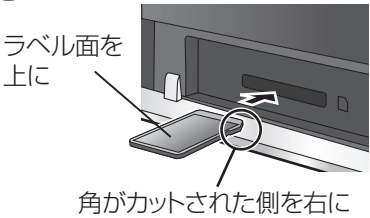
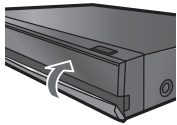
[開/閉 ⏏] を押してトレイを開き、ディスクを入れる

●もう一度[開/閉⏏]を押すと、トレイが閉まります。
●電源が切れていても取り出せます。ただし、電源「入」になります。

お知らせ

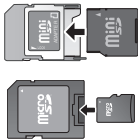
●両面ディスクの場合、記録または再生したい側のラベル面を上にして入れてください。両面にまたがって記録または再生することはできません。

●**カートリッジ付きディスクについて**
・カートリッジ付きのBD-REは、本機では使用できません。
（カートリッジからディスクを取り出しても使えません）
・DVD-RAMや8 cmのディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイにのせてください。（TYPE1は使えません）
カートリッジからの取り出しかたは、ディスクの説明書をご覧ください。

SDカード

1 本体前面のとびらを開ける

2 カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む

3 本体前面のとびらを閉じる

☞ **カードを取り出すには**
上記手順 2 で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

本体表示窓の“SD”(➔6)点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。このとき、電源を切ったり、カードを取り出したりすると、本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

●miniSDカードやmicroSDカードは、必ず専用のアダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。
例）

停止中、ディスクやSDカードを入れると、入れたメディアに合わせて自動的にドライブを切り換えます。
それぞれ取り出すと、HDDに切り換わります。

記録できるブルーレイディスクについて

本機で記録できるブルーレイディスクは?

※1 DLも含みます。
　ブルーレイディスクの「DL」とは
　片面2層(50 GB)のディスクのことを表します。
※2 LTH typeも含みます。

■BD-REに関してのお知らせ

本機では、カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)の記録や再生はできません。
(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
Blu-ray Disc Rewritable Format Version 2.1に準拠したBD-REをお使いください。

ブルーレイディスクに記録すると…

ブルーレイディスクは、従来のDVDに比べて記録容量が大幅に多くなりました。

例えば

ブルーレイディスク(片面2層 50 GB)と
DVD(4.7 GB)では…

2時間映画だと…(SPモードで記録時)

ブルーレイディスクは、デジタル放送の高画質･高音質のハイビジョン映像を放送されたそのままの状態で記録することができます。

放送された映像を
そのまま記録できます
(DRモードで記録時)

放送された映像を
そのまま記録できません
(DRモードでは記録できません)

放送されたデータを圧縮してハイビジョン画質で
記録することはできます。(HG、HX、HEモードで記録時)

ブルーレイディスクの特徴は?

記録できる放送は?	地上･BS･CS デジタル放送　地上 アナログ放送
記録できる画質は?	ハイビジョン画質　標準画質　（画質は表示されません）
記録できる録画モードは? （録画モードについて➜98）	すべての録画モード
予約録画は?	できる
他のBD機器での再生は?	BD-RE(Ver.2.1)、BD-R に対応した機器で再生できます。 ●LTH typeのBD-Rに記録した場合、LTH typeに対応していないと再生できないときがあります。 ●片面２層（50 GB）のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。 ・2006 年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。 ●当社製 DMR-E700BD や 2006 年春以前に発売された他社製機器では、BD-RE(Ver.2.1)、BD-R に対応していないため、再生できません。 ●HG、HX、HE モードの番組や、本機に取り込んだ AVCHD の動画は、再生できない場合があります。 **対応機器で再生できないときは** （➜92「HG ～ HE のディスク記録音声」）

こんなとき どうしたらいいの?

BD-REとBD-Rのどちらのディスクを使えばいいですか?

ディスクは繰り返し使いたい ➜

ディスクには1度しか記録しない 保存用として使う ➜

お知らせ

ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。（http://panasonic.jp/support/bd/）

記録できるDVDディスクについて

本機で記録できるDVDディスクは?

※1
デジタル放送を記録するには…
CPRM※2対応の
ディスクか確かめて
ください。

※1 カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。(TYPE1は使えません)
※2 CPRMとは、デジタル放送の記録などに使われる著作権保護技術のことです。

DVDディスクに記録する前に…

本機では、3種類の記録方式があります。
記録する放送やディスクの用途により記録方式を決めてください。

ビデオ方式? VR方式? AVCREC方式?

それぞれの記録方式の特徴は?

	VR方式	ビデオ方式	AVCREC方式
	(DVDビデオレコーディング規格) DVDにテレビ放送などを記録・編集するために作られた方式です。	(DVDビデオ規格) 市販されているDVDビデオと同じ方式です。	ハイビジョン画質でDVDに記録できる方式です。
記録できる放送は?	地上・BS・CS デジタル放送 地上 アナログ放送	地上 アナログ放送	地上・BS・CS デジタル放送
対応ディスクは?	DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW	~~DVD-RAM~~ (×)、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW	DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、~~DVD-RW~~ (×)
記録できる画質は?	標準画質	標準画質	ハイビジョン画質
記録できる録画モードは? (録画モードについて➜98)	XP～EP、FR	XP～EP、FR	HG、HX、HE
予約録画は?	できる	できない	できる
他のDVD機器での再生は?	記録したディスクのVR方式の再生に対応している必要があります。(➜110) • デジタル放送の番組の場合、その機器がCPRMに対応している必要があります。	記録後、ファイナライズ(➜81)をすれば、DVD機器で再生できます。	記録したディスクのAVCREC方式の再生に対応している必要があります。 対応機器には AVCREC™ が付いています。 対応機器以外で使用しないでください。ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。 -R -R DL はファイナライズ(➜81)が必要です。 ☞ **対応機器で再生できないときは** (➜92「HG～HE のディスク記録音声」)

記録方式を選ぶには(➜78)　• フォーマットをして選びます。

お客様の使いかたに合わせてDVDディスク、記録方式を選んでください。

放送	ディスクの使いかた	目的	ディスク・記録方式
デジタル放送を記録	ディスクは繰り返し使いたい	ハイビジョン画質で記録したい	CPRM対応の DVD-RAM **AVCREC方式**
		たくさん記録したい（標準画質）	CPRM対応の DVD-RAM DVD-RW **VR方式**
	ディスクには1度しか記録しない 保存用として使う	ハイビジョン画質で記録したい	CPRM対応の DVD-R DVD-R DL **AVCREC方式**
		たくさん記録したい（標準画質）	CPRM対応の DVD-R DVD-R DL **VR方式**
アナログ放送を記録	ディスクは繰り返し使いたい	二ヵ国語放送を記録したい	DVD-RAM DVD-RW **VR方式**
		他のDVD機器で再生したい	DVD-RW **ビデオ方式**
	ディスクには1度しか記録しない 保存用として使う	二ヵ国語放送を記録したい	DVD-R DVD-R DL **VR方式**
		他のDVD機器で再生したい	DVD-R DVD-R DL **ビデオ方式**

お知らせ

ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。（http://panasonic.jp/support/bd/）

本書内の表現 / 操作ガイドについて

本書内の表現について

●本書内で参照していただくページを(➜○○)、別冊の取扱説明書 準備編を参照していただくページを(➜**準備編** ○○)で示しています。

●ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク	ディスクの記録方式による表示マーク			
		VR 方式	ビデオ方式	AVCREC 方式	AVCHD
HDD	HDD	—	—	—	—
BD-RE※1	BD-RE	—	—	—	AVCHD※2
BD-R※1	BD-R	—	—	—	
BD ビデオ※3	BD-V	—	—	—	—
DVD-RAM	RAM	RAM(VR)	—	RAM(AVCREC)	AVCHD
DVD-R	-R	-R(VR)	-R(V)(ファイナライズ前) DVD-V(ファイナライズ後)	-R(AVCREC)	
DVD-R DL	-R DL	-R DL(VR)	-R DL(V)(ファイナライズ前) DVD-V(ファイナライズ後)	-R DL(AVCREC)	
DVD-RW	-RW	-RW(VR)	-RW(V)(ファイナライズ前) DVD-V(ファイナライズ後)	—	
DVD ビデオ	DVD-V	—	—	—	—
+R		—	—	—	AVCHD
+R DL		—	—	—	
+RW		—	—	—	
CD	CD	—	—	—	—
SD カード	SD	—	—	—	AVCHD

※1　DL も含みます。ブルーレイディスクの「DL」とは片面 2 層(50 GB)のディスクのことを表します。
※2　他機器でハイビジョンムービーの動画(AVCHD)を記録した BD-RE、BD-R を指します。
※3　市販の映画などが記録されたブルーレイディスクのことです。
例) -R と表示されている場合、VR 方式、ビデオ方式、AVCREC 方式の DVD-R 共通の動作を指しています。

●操作手順の「停止中」とは、本機の電源が「入」で、録画やダビングなどの操作を行わずに、テレビ放送が表示されている状態のことをいいます。

操作ガイドについて

本機には、本機の基本的な操作や困ったときの解決法などをテレビ画面で確認できる「操作ガイド」が内蔵されています。
●録画や再生中に見ることはできません。

1 停止中に、ガイド(?)を押す
2 [▲][▼][◀][▶]で知りたい項目を選び、(決定)を押す
●**この操作を繰り返して、知りたい情報を選んでください。**

操作ガイドをお使いになる前にお読みください。

項目を選ぶ

音声ガイドを止める場合

☞ **前の画面に戻るには**

戻る(●)を押す

☞ **画面を消すには**

ガイド(?)を押す

☞ **右記のような ? マークが付いた画面が表示されたとき**

ガイド(?)を押すと、操作に対する補足説明を表示します。

例)

録画しよう！

かんたん設置設定を終了させてください。

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ１など)
- [電源]を押して、本機の電源を入れる。

例）
時刻表示　チャンネル表示

録画できるディスク

この操作ではHDDにのみ録画できます。

ディスクに録画したい場合は（➜15）

リモコンのボタンを使って操作します。

❶ HDD を押す

❷ アナログ デジタル BS CS を押して、放送を選ぶ

- [CS] を押すごとに、CS 1↔ CS 2 に切り換わります。

❸ 1 ～ 12（ふた内部）または チャンネル を押して、チャンネルを選ぶ

その他の選局方法は（➜21）

❹ 録画モード（ふた内部）を押して、録画モードを選ぶ

- 押すごとに、切り換わります。
- 表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。（[決定] を押すと、早く切り換えることができます）

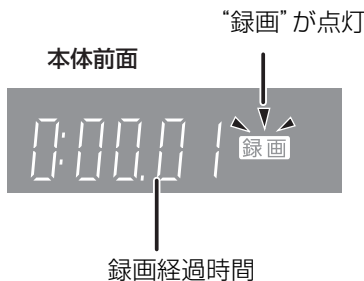
例）

録画モード
DR 残量 22:26
HG 残量 41:28
HX 残量 62:13
HE 残量 93:33
XP 残量 56:04
SP 残量 112:09
LP 残量 224:21
EP 残量 447:24

DR～HE：**ハイビジョン画質** で **デジタル放送** を録画（高画質↔長時間）

XP～EP：**標準画質** で **デジタル放送** **アナログ放送** を録画（高画質↔長時間）

録画モードについて（➜98）

❺ 録画（ふた内部）を押す

- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。
- 番組表(Gガイド)(➜30)に放送内容がある場合は、録画終了後に、自動的に番組名が付きます。

❻ 録画を止めるときは、停止 を押す

どの録画モードを選べばいいの？

二カ国語で放送される映画などを録画したいとき

お勧めは…「DR」

- それ以外のモードでは録画モードや設定によって、記録できる音声が制限されます。（詳しくは ➜106）

あとでブルーレイディスクにダビングしたいとき

お勧めは…「DR」「HG」「HX」「HE」

- ハイビジョン画質で、高速でダビングできます。
- 上記以外のモードでは高速でダビングできません。

あとでDVDにダビングしたいとき

お勧めは…「HG」「HX」「HE」または「XP」～「EP」

- 「DR」で録画した番組は、高速でダビングできません。
- 「HG」「HX」「HE」で録画した番組は、ハイビジョン画質でDVD にダビングできます。

電源を切るには

電源 を押す

時刻表示

もっと使いこなそう!

録画中のいろいろな操作 ➜26

予約録画しよう！（番組表から予約）

準備
- ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ１など）
- ●[電源]を押して、本機の電源を入れる。

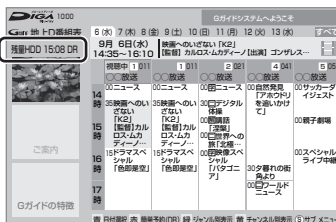
リモコンのボタンを使って操作します。

HDD に予約録画する

❶ を押す

❷ 番組を選ぶ

例）全チャンネル表示

HDD の残量／現在の録画モード

☞ **別の放送の番組表（Gガイド）を見るには**
[アナログ][デジタル][BS][CS] を押す
（お好み番組表の場合）
① **[サブ メニュー]** を押す
② 「放送切換」で「お好み」を選び、**[決定]** を押す

❸

現在の録画モードから変更せずに予約する場合：

赤 **を押す**

●「予」が表示され、予約が完了します。

録画モードの変更や毎週予約などをする場合：

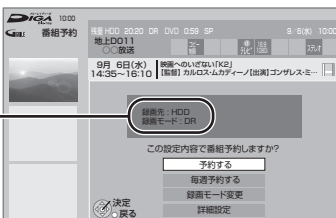
決定 **を押す**（➜ 手順 ❹ へ）

❹ 「番組予約へ」を選び、決定 を押す

表示マーク
（➜129）

❺ 項目を選び、決定 を押す

予約する　：予約を登録
毎週予約する　：毎週予約を登録
録画モード変更　：録画モードを変更（変更後、「予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください）
詳細設定　：録画先や毎日·毎週予約などの予約内容を変更（変更後、「予約を登録する」を選んで予約を登録してください）（➜34「詳細設定」）

予約内容を確認してください。

☞ **録画モードについて（➜98）**

予約録画できるディスク

BD-RE　BD-R
DVD-RAM　DVD-R
DVD-R DL　DVD-RW

DVDにデジタル放送を録画する場合

CPRM対応

のディスクをお使いください。

カートリッジ付きのディスク
- ●BD-RE は使えません。
- ●DVD-RAM はカートリッジからディスクを取り出してお使いください。（TYPE1 は使えません）

- ●番組表（G ガイド）はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表（G ガイド）のデータを受信する必要があります。
（詳しくは ➜ 準備編 26）
- ●電源の入／切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。

もっと使いこなそう！

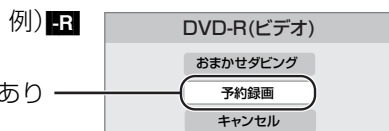
番組表（G ガイド）上での操作 ➜30
予約録画の便利な機能 ➜28
番組表（Gガイド）予約の変更をする➜34
予約内容の確認·取り消し·修正➜38
予約録画に関する質問 ➜108

ディスクに予約録画する　ディスクは、1 番組のみ予約できます

❶ ディスクを入れる

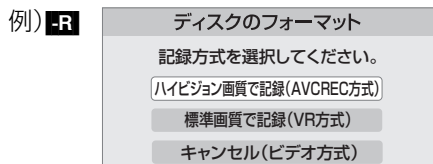
「予約録画」の表示がある画面が表示される場合

新品など未記録のディスクを入れたときは、本機で記録できるようにする処理(フォーマット)を行います。
DVD の場合、まずディスクの記録方式を選ぶ必要があります。

例) -R

「予約録画」の表示あり

[▲][▼] で「予約録画」を選び、[決定] を押す

●フォーマット画面が表示されます。DVD の場合、記録方式を選び、フォーマットを行ってください。

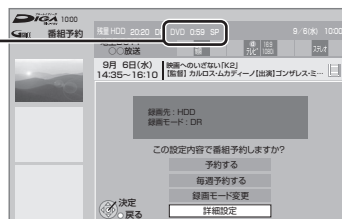
例) -R

「予約録画」の表示がない画面が表示される場合

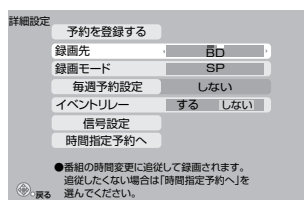
すでにフォーマット済みのディスクです。

[▲][▼] で「キャンセル」を選び、[決定] を押す

❷ 14 ページの手順❶～❹を行う

❸ 「詳細設定」を選び、決定 を押す

ディスクの残量 / 現在の録画モード

❹ 録画先を「BD」にする

●DVD の場合は、「BD」を選んでください。

❺ 「録画モード」を設定する

●ディスクや記録方式によって選べるモードは異なります。

BD-RE BD-R :すべての録画モード
RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) :「HG」「HX」「HE」
RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) :「XP」～「EP」、「FR」

録画モードについて(➜98)

❻ 「予約を登録する」を選び、決定 を押す

●フォーマット画面が表示された場合は、画面に従ってフォーマットを行ってください。

DVD に予約録画するにはどの記録方式を選べばいいの?

記録方式を選ぶには、フォーマットする必要があります。

ハイビジョン画質で記録できます。(デジタル放送のみ可能)
● -RW では選べません。

標準画質で記録するため、記録できる時間が長くなります。

予約録画できません。

ディスクに予約ができないときは?

ディスクの状態によって、予約できない場合があります。(➜121)

録画したディスクを他の機器で再生したいときは?

再生する機器が再生するディスクの記録方式に対応している必要があります。(➜81、110)

AVCREC 方式のディスクについて

他の機器で再生する場合、再生するディスクの AVCREC 方式に対応している必要があります。

対応機器には

AVCREC™

が付いています。

対応機器以外で使用しないでください。ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。

-R -R DL はファイナライズ(➜81)が必要です。

対応機器で再生できないときは
(➜92「HG～HE のディスク記録音声」)

再生しよう！

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ１など)
- [電源]を押して、本機の電源を入れる。
- ディスクを再生する場合は、ディスクを入れる。

リモコンのボタンを使って操作します。

本機で録画した番組を再生する

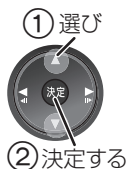
記録可能なディスクを入れると、下記の画面が表示されます。

例) RAM

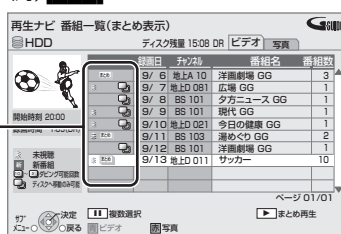
[▲][▼]で「再生ナビを表示」を選び、[決定] を押すと手順 ❸ に進めます。

❶ HDD または BD/SD を押して「HDD」または「BD」を選ぶ

- DVD の場合は、「BD」を選んでください。

❷ を押す

❸ 番組を選び、決定 を押す

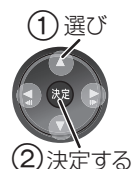
例) HDD

表示マーク (➜129)

☞ 「番組一覧」が表示されないときは
[青] を押す

市販またはレンタルのBDビデオやDVDビデオを再生する

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

項目を選び、決定 を押す

本編再生
字幕・音声
チャプター
特典映像

☞ **メニュー画面を表示させるには**

BD-V 再生中：[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中：[再生ナビ]を押す

DVD-V [再生ナビ]を押す
([サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ)

再生できるディスク

HDD

BD-RE　BD-R
DVD-RAM　DVD-R
DVD-R DL　DVD-RW
BD-V　DVD-V

カートリッジ付きのディスク
- BD-RE は使えません。
- DVD-RAM はカートリッジからディスクを取り出してお使いください。(TYPE1 は使えません)

☞ **再生のみできるディスクについて(➜97)**

こんなとき どうしたらいいの?

番組が途中から始まるときは？

HDD 一度再生した番組は前回停止した位置から再生します。番組の先頭から再生したい場合は、[|◀◀]を数回押してください。
また、[サブ メニュー] の「番組再生」(➜40)でも番組の先頭から再生できます。

希望の画面サイズで見たいときは？

[サブ メニュー]の「画面モード切換」(➜22)で調節してください。

もっと使いこなそう!

再生ナビについて ➜40
再生中のいろいろな操作 ➜43～45
BD ビデオのいろいろな再生 ➜42

消去しよう！（番組の消去）

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ１など）
- [電源] を押して、本機の電源を入れる。
- ディスクを消去する場合は、ディスクを入れる。

リモコンのボタンを使って操作します。

❶ HDD または BD/SD を押して「HDD」または「BD」を選ぶ

- DVD の場合は、「BD」を選んでください。

❷ を押す

❸ 「消去する」を選び、決定 を押す

❹ 1 番組のみ消去する場合：

番組を選び、決定 を押す

複数の番組を消去する場合：

① 番組を選び、一時停止 を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。もう一度 [❚❚ 一時停止] を押すと解除されます。

② 決定 を押す

①選び

決定

②決定する

例）HDD

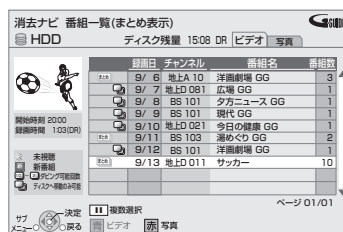
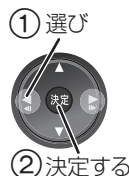
☞ **「番組一覧」が表示されないときは**

[青] を押す

❺ 「消去」を選び、決定 を押す

①選び

決定

②決定する

消去ナビ画面上（**上記手順❹**）では [**サブ メニュー**] を使って、プロテクト解除などの操作が行えます。

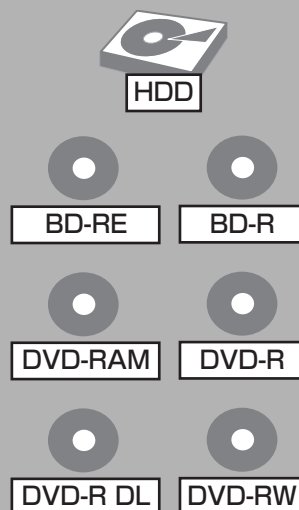
サブメニュー操作について（➜48手順 2）

消去できるディスク

HDD

BD-RE BD-R

DVD-RAM DVD-R

DVD-R DL DVD-RW

消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

こんなとき
どうしたらいいの?

番組が消去できないときは？

- 誤消去防止（プロテクト）の設定がされている場合、解除してください。（➜48、80）
- ファイナライズ済みのディスクではできません。

消去後のディスクの残量について

- **HDD** **BD-RE** **RAM** **-RW(VR)**
  消去すると、消去した分、残量が増えます。
- **-RW(V)**
  最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組 1	番組 2	・・・	最後に記録した番組	残量

- **BD-R** **-R** **-R DL**
  消去しても残量は増えません。

かんたん操作ガイド

ダビングしよう！(おまかせダビング)

HDD にある番組をディスクにダビングします。

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ1など)
- [電源] を押して、本機の電源を入れる。

リモコンのボタンを使って操作します。

❶ ディスクを入れる

❷ 「おまかせダビング」を選び、決定 を押す

例) RAM

ディスクの記録方式が確認できます。

DVD-RAM(VR)
再生ナビを表示
おまかせダビング
キャンセル

RAM -R -R DL 新品や未フォーマットのみ画質の切り換えができます。
ハイビジョン画質でダビングする場合 (それ以外は手順 ❹ へ)

❸ 赤 を押して、「ハイビジョン画質へ切換」を選び、決定 を押す

❹

1 番組のみダビングする場合:

番組を選び、決定 を押す

複数の番組をダビングする場合:

① 番組を選び、一時停止 を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。もう一度 [❚❚ 一時停止] を押すと解除されます。

② 決定 を押す

- 挿入されているディスクにダビングできる番組のみ明るく表示します。

例) まとめ表示

表示マーク(➜130)

- ・ :DVD の場合、CPRM 対応ディスクを準備してください。-R(V) -R DL(V) -RW(V) にはダビングできません。
- ・ HD :ハイビジョン画質の番組

❺ 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

ダビングできるディスク

BD-RE　BD-R
DVD-RAM　DVD-R
DVD-R DL　DVD-RW

カートリッジ付きのディスク

- BD-RE は使えません。
- DVD-RAM はカートリッジからディスクを取り出してお使いください。(TYPE1 は使えません)

- -R(V) -R(AVCREC) -R DL(V) -R DL(AVCREC) -RW(V) へダビングすると、自動的にファイナライズを行い、記録や編集はできなくなります。ファイナライズを行わずにダビングしたい場合、詳細ダビングを行ってください。(➜56)

DR モードの番組について

- ブルーレイディスクの場合、そのまま高速でダビングできます。
- DVD の場合、高速でダビングできません。あらかじめ「録画モード変換」(➜50) で DR モード以外にしておくと、高速でダビングできるようになります。

ダビングする画質について

ブルーレイディスクの場合:
そのままダビングできます。

DVD の場合:

表示されている画質でダビングします。

「ハイビジョン画質」:

- RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) に記録できます。
- HD 表示の番組のみダビングできます。

「標準画質」:

- RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) に記録できます。
- -RW 標準画質でのみ記録できます。(ただし画質の表示はありません)

ダビングを中止するには

戻る を3秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。

おまかせダビングのここがおまかせ!

自動フォーマット

記録方式の設定をします

フォーマットとは
新品のディスクなどを本機で記録できるように処理することです。DVDの場合、フォーマットすることでディスクの記録方式を設定します。

通常は
ダビング前にフォーマットして記録方式を設定しないといけません。

おまかせダビングだと

ダビングしたい番組に合わせて自動的にフォーマットします

未フォーマットのディスクの自動フォーマット ➜54

自動ファイナライズ

ファイナライズとは
記録したディスクを他の機器で再生できるように処理することです。ただし、記録や編集はできなくなります。

通常は
ディスクによっては、ダビング後にファイナライズする必要があります。

おまかせダビングだと

-R(V) -R(AVCREC) -R DL(V) -R DL(AVCREC) -RW(V)
自動的にファイナライズします

● -R(V) -R DL(V) -RW(V) は、他のDVD機器で再生できるようになります。

他の機器で再生できるようにする ➜81

デジタル放送のダビングについて

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられています。本機ではそのような番組には、10 ～ 2 、 マークがついています。

10 ～ 2 、 マークの番組をダビングするには…

25GB 130分 BD-RE

ブルーレイディスクの場合:

市販のディスクをそのままお使いください。

CPRM対応 DVD RAM くり返し ビデオ録画用

DVDの場合:

パッケージに
CPRM対応
の記載のあるディスクを準備してください。
(デジタル放送録画用と記載されている場合もあります)

CPRMとは? デジタル放送の記録などに使われる著作権保護技術のことです。

10 ～ 2 、 マークの番組をディスクへダビングすると…

10 ～ 2 の数字はダビングできる残り回数を表しています。
2 の番組をダビングすると、ダビングの残り回数は1回になり、
 が表示されます。

 マークの番組をダビングすると
番組はHDDから消去されます。
ディスクからHDDへはダビングできません。

デジタル放送を記録したDVDの他の機器での再生について

デジタル放送を記録するには、記録するディスクや記録方式などに条件があります。そのため、再生機器にも条件が必要です。(➜110)

もっと使いこなそう!

おまかせダビングについて ➜54
ダビングの便利な機能 ➜55
ダビングについて ➜100
ダビングに関する質問 ➜109

テレビ放送を見る

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ1など)

お知らせ

- 録画中に放送 / 入力やチャンネルを切り換えることはできません。

(BS デジタル)(CS デジタル)

- 雨や雷、雪などの天候のときは、一時的に映像や音声が止まったり、受信できなくなることがあります。天候の回復をお待ちください。

☞ **暗証番号の入力画面が表示されたら**
(➜90)

☞ **番組購入の画面が表示されたら**
(➜24)

1 [電源] を押して、本機の電源を入れる

2 [アナログ][デジタル](地上) [BS] [CS](1/2) を押して、放送を選ぶ

- [CS] を押すごとに、CS 1↔ CS 2 に切り換わります。

3 [1] ～ [12]*(ふた内部)または [チャンネル ∧∨] を押して、チャンネルを選ぶ

☞ **その他の選局方法は(➜21)**

リモコンの数字ボタン
選局されているチャンネル

☞ **リモコンの数字ボタンに割り当てられた放送局(➜89)**

☞ **数字ボタンで選べる放送局を変更するには**
(➜準備編 34 ～ 36)

☞ **[チャンネル ∧,∨] で選べる放送局を変更するには**
(地上アナログ)(➜準備編 36)
(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)
(➜90 放送設定「選局対象」)

本体表示窓でのチャンネル表示について

本体表示窓では、現在選んでいるチャンネルが下記のように表示されます。

地上デジタル放送
例)011

地上アナログ放送
例)1

BSデジタル放送
例)101

外部入力

CS1
例)001

CS2
例)100

その他の選局方法

番組表から選局

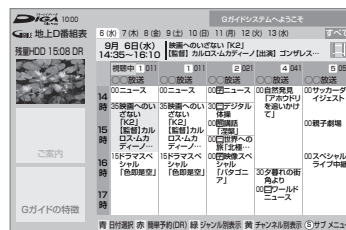
1 [番組表] を押す

例）全チャンネル表示

2 [▲][▼][◀][▶]で放送中の番組を選び、[決定]を押す

別の放送の番組表(Gガイド)を見るには
[アナログ][デジタル][BS][CS] を押す

3 [◀][▶]で「今すぐ見る」を選び、[決定]を押す

番組表(Gガイド)上での操作(➜30)

お好みチャンネルから選局

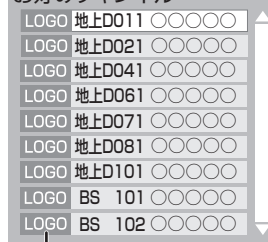
(地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

お好みチャンネルは、テレビ画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。
放送に関係なく1つのリストに登録できるため、よく見るチャンネルを登録しておくと、選局時に便利です。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。

お好みチャンネル
LOGO 地上D011 ○○○○○
LOGO 地上D021 ○○○○○
LOGO 地上D041 ○○○○○
LOGO 地上D061 ○○○○○
LOGO 地上D071 ○○○○○
LOGO 地上D081 ○○○○○
LOGO 地上D101 ○○○○○
LOGO BS 101 ○○○○○
LOGO BS 102 ○○○○○

放送局のロゴは
表示されない場合もあります。

1 テレビ画面表示中に、 を押す

- 録画中は、録画を一時停止します。

2 [▲][▼]で放送局を選び、[決定]を押す

チャンネルの登録	① 登録したい放送局を視聴中に、**[❚❚ 一時停止/お好みチャンネル]を押す** ② **[サブ メニュー]を押す** ③ **[▲][▼]で「登録」を選び、[決定]を押す** ④ **[◀][▶] で「はい」を選び、[決定]を押す** ●登録した放送局は、お好みチャンネルの一番下に登録されます。（最大 48 チャンネル）
チャンネルの取り消し	① **[❚❚ 一時停止/お好みチャンネル]を押す** ② **[▲][▼] で取り消したい放送局を選び、[サブ メニュー]を押す** ③ **[▲][▼]で「取消」を選び、[決定]を押す** ④ **[◀][▶] で「はい」を選び、[決定]を押す**

- お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

お好みチャンネルのお買い上げ時の設定
· **地上デジタル /BS デジタル** :リモコンの数字ボタンに割り当てられた放送局(**➜89**)
· CS1/CS2 :設定なし

3けたチャンネル番号を入力して選局

(地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

1 [チャンネル番号入力](ふた内部)を押す

- 押すごとに選局対象の放送が切り換わります。CS1とCS2は「CS」で選んでください。

2 [1] ～ [10/0](ふた内部)を押して、チャンネルを入力する

例）103の場合…[1]→[10/0]→[3]

- 入力画面が表示されている間に入力してください。

枝番号の異なる放送を選局するには
(地上デジタル)(➜23「枝番選局」)

視聴
テレビ放送を見る

テレビ放送を見る（つづき）

番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

1 [サブメニュー] を押す

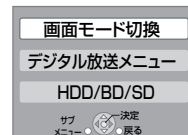
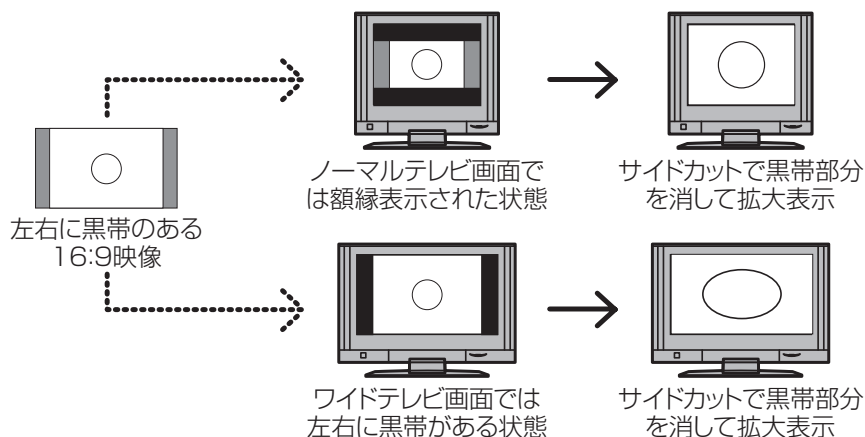
●ビエラリンク（HDMI）（➔82）をお使いの場合は、「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

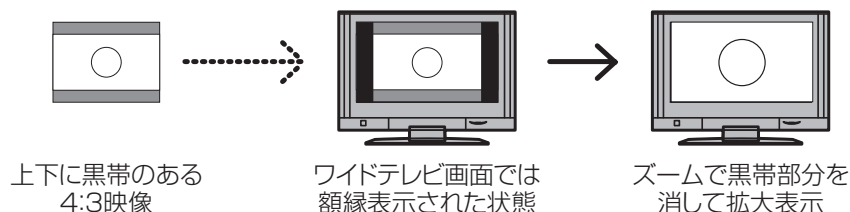
画面モード切換
デジタル放送メニュー
HDD/BD/SD

2 [▲][▼]で「画面モード切換」を選び、[決定]を押す

3 [◀][▶]で画面モードを選ぶ

ノーマル　：通常の出力となります。

サイドカット：16：9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、左右の映像がカットされますので、お気をつけください。

ズーム　：4：3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、上下の映像がカットされますので、お気をつけください。

上下に黒帯のある4:3映像　　ワイドテレビ画面では額縁表示された状態　　ズームで黒帯部分を消して拡大表示

お知らせ

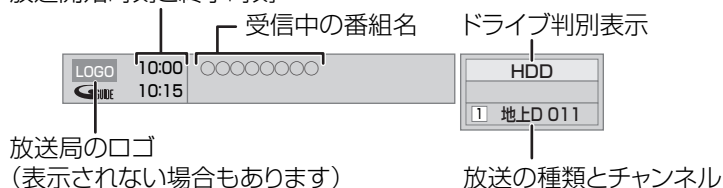
●以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
・他のチャンネルを選局
・番組の再生を始める、または終了する
・電源を切/入

● BD-V DVD-V 「サイドカット」は効果がありません。

●**初期設定**「TVアスペクト」（**➔95**）を「4：3」にしている場合、「ズーム」は効果がありません。

見ている番組の情報を表示

[画面表示]（ふた内部）を押す

例）「HDD」選択中、地上デジタル放送を見ているとき

情報表示を消すには

[画面表示] を数回押す

放送内容などの設定

(地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

番組視聴中に、

1 [サブ メニュー] Ⓢ を押す

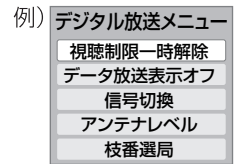
●ビエラリンク (HDMI)(➜82)をお使いの場合は、「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

例)

デジタル放送メニュー
視聴制限一時解除
データ放送表示オフ
信号切換
アンテナレベル
枝番選局

2 [▲][▼]で「デジタル放送メニュー」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼]で設定項目を選び、[決定] を押す(➜ 下記へ)

●視聴している番組により表示される項目が変わります。

視聴制限一時解除

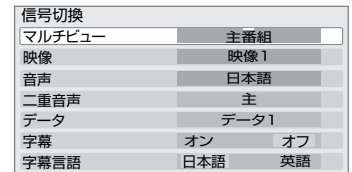
暗証番号(➜90)を入力して視聴制限を一時解除します。

データ放送表示オフ

データ放送の表示を終了します。

信号切換

デジタル放送の番組で、映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。

信号切換		
マルチビュー	主番組	
映像	映像1	
音声	日本語	
二重音声	主	
データ	データ1	
字幕	オン	オフ
字幕言語	日本語	英語

[▲][▼] で設定する項目を選び、[◀][▶] で設定する

●番組により、選べる項目が変わります。
●設定内容が 1つしかないときは切り換えできません。
●「DR」以外の録画モードで録画する場合、音声や字幕などは設定された内容で録画され再生時に切り換えできません。

アンテナレベル

アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。

枝番選局

(地上デジタル)

枝番号とは、地上デジタル放送の同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、3けたチャンネル番号に追加される番号のことです。
(例:「011-0」、「011-1」、「011-2」)
3けたチャンネル番号を入力して選局すると下記の画面で☑の入った放送局が選局されます。
以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。

[▲][▼] で放送局を選び、[決定] を押す

☞ **3けたチャンネル番号入力時に選択される放送局を変更するには**

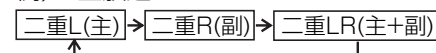
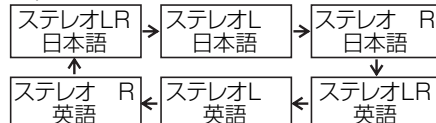
上記の操作で、**[決定]** を押す前に **[チャンネル番号入力]** を押す
●選んだ放送局に☑が付きます。

音声を切り換える

[音声] (ふた内部)を押す

●押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

例)二重放送

二重L(主) → 二重R(副) → 二重LR(主+副) → (二重L(主)に戻る)

例)マルチ音声放送

●録画中に音声を切り換えても、記録される音声に影響はありません。
●**初期設定**「高速ダビング用録画」(➜92)が「入」のときのアナログ放送や、**初期設定**「XP時の記録音声モード」(➜94)が「LPCM」の場合に録画モード「XP」を選択しているときは、音声の切り換えはできません。

データ放送/有料番組(ペイ・パー・ビュー)を見る

データ放送は

(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

●本機では、録画や再生時にデータ放送を表示できません。
録画が始まるとデータ画面が消えます。

有料番組は

(BS デジタル)(CS デジタル)

衛星デジタル放送には、番組単位で購入し、視聴や録画ができるペイ・パー・ビューという有料番組があります。

●有料番組を見るには、放送会社との契約が必要です。

●ペイ・パー・ビューを視聴・録画するには、右記の購入操作が必要です。
(2008年 2月現在、ペイ・パー・ビューの番組は放送されていません)

準備

●電話回線を接続する。(➜準備編 14)

☞ **前の画面に戻るには**

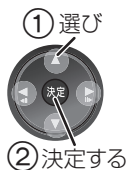
を押す

データ放送を見る

1 データ放送のある番組を選局し、[データ d](ふた内部)を押す

●表示が出るまでに時間がかかる場合があります。

2 見たい項目を選び、決定を押す

例)

●画面の指示に従って、**[青]**、**[赤]**、**[緑]**、**[黄]**や**数字ボタン**で操作してください。

☞ **お好みページを使うには(➜87)**

☞ **データ画面を消すには**

[データ d] を押す

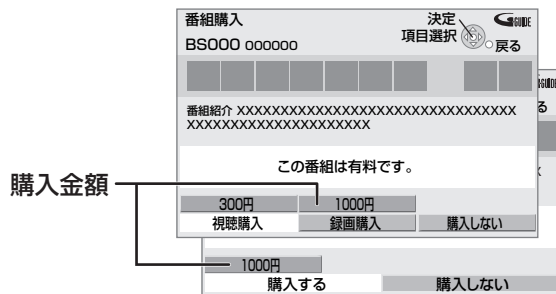
●画面が消えない場合は、「データ放送表示オフ」を行ってください。(➜23)

有料番組を見る

1 ペイ・パー・ビューの番組を選局し、決定を押す

●番組によってはプレビュー(購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービス)画面が表示されます。

2 項目を選び、決定を押す

●番組により、選べる項目が変わります。

購入する :番組を購入したことになり、視聴できます。
「録画禁止」の信号のある番組は録画できません。

視聴購入 :料金を払うと視聴できます。

録画購入 :料金を払うと視聴と録画ができます。

☞ **購入した有料番組の確認/送信結果を確認するには(➜87)**

データ放送/有料番組の確認

データ放送や有料番組の確認は、番組表(Gガイド)からできます。

1 [番組表] を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で番組を選び、[決定]を押す

データ放送では [+dラジオ] [+dテレビ] [dテレビ] [dラジオ]

有料放送では [有料] が表示されます。(➜129)

●マークが表示されない番組もあります。

データ放送画面での文字入力

データ放送では、文字入力画面が表示される場合があります。

例)入力モードが「かな」のとき

[▲][▼][◀][▶] で入力する文字を選び、[決定]を押す

文字の種類を変換する	[緑] を押すごとに、(かな → カナ → 英数)に切り換わります。 ●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。 ●英数のみが入力できる項目のときは、「英数」に固定されます。
文字を確定する	[赤] を押す
文字を消す	[黄] を押す
ひらがなを漢字変換する	[青] を押して [▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す
記号を入力する	① “きごう”と入力する ② [青] を押す ●文字入力画面が消え、記号を表示します。 ●他の記号に変換したいときは、[▼] を押し、候補の中から選び、[決定] を押します。

お知らせ

●データ放送のサービスの種類によっては電話回線の接続が必要です。(➜準備編 14)

●電話回線での通信中は、本体表示窓に“TEL”が点灯します。このときは、電源ボタン以外が動作しなくなることがありますが、故障ではありません。また、同じ回線に接続された電話機などが使えません。“TEL”が消えるまでしばらくお待ちください。

●電話回線の使用時には、回線接続料がかかります。

●有料番組について

・「録画禁止」の番組は、著作権が保護されているため、本機へ録画することはできません。

・購入した番組の視聴中にも、他のチャンネルに切り換えることができます。ただし、実際には番組を視聴しなくても料金が請求されます。

・ 一度視聴購入をした番組は、録画購入できません。

録画する

録画中のいろいろな操作

操作方法 ➜13「録画しよう！」

録画を止める	[停止] **を押す** ●停止した位置までを1番組として記録します。 ●HDD 長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分けて記録します。 ☞ **予約録画を止めるには(➜38)**
一時停止する	[一時停止] **を押す** ●もう一度押す、または [**録画●**] を押すと録画を再開します。(番組は分割されません) ●録画モード「DR」「HG」「HX」「HE」で録画中に一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になります。
録画の終了時間の指定(終了時間予約録画)	**本体の [●] (●録画)を押す** ●押すごとに本体表示窓の録画終了時間が変わります。 **録画経過時間→30分後→1時間後→1時間30分後** **↑── 4時間後←3時間後←2時間後←┘** 録画経過時間　30分後停止 **お知らせ** ●リモコンの[**録画●**]ではできません。 ●ぴったり録画(**➜27**)や予約録画では指定できません。 ●録画終了時、本機を操作していなければ自動的に電源も切れます。 ☞ **終了時間の設定を取り消すには** 本体の[**●録画**]を数回押し、"録画経過時間"を選ぶ (録画は続けられます)

録画しながら再生

追っかけ再生
●HDD のみ再生できます

同時録画再生
●HDD とディスクの再生ができます

追っかけ再生：HDD 録画中に、HDD 録画中の番組を先頭から再生します。
同時録画再生：HDD 録画中やディスク予約録画中に、録画済みの番組を再生します。
ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。

1 [HDD]または[BD/SD]を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

2 **を押す**

3 [▲][▼]で番組を選び、(決定)を押す

例）

録画中の番組
（●が表示）

☞ **再生ナビ画面を消すには**
[再生ナビ] を押す

☞ **再生を止めるには**
[■ 停止] を押す

ダビング時にディスク容量ぴったりになるように録画

ぴったり録画

HDD

録画した番組を新品の DVD (4.7 GB)にぴったりダビングできるよう設定時間に合わせて「XP」～「EP」の中から自動的に最適な画質で録画します。(➜98「FR」)

1 チャンネルを選ぶ(➜ 13 ページ手順 ❶ ～ ❸)

2 停止中に、 **を押す**

3 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

4 [▲][▼]で「ぴったり録画」を選び、(決定)を押す

5 [▲][▼][◀][▶]で“時間”または“分”を選び、録画時間を設定する

最大録画時間
EP(8 時間) モードで計算した残量時間

●8時間を超えて設定することはできません。

6 [◀][▶]で「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で(決定)を押す

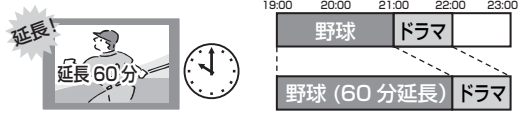
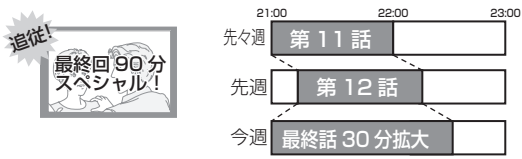
お知らせ
●録画中にぴったり録画はできません。

☞ **録画を止めるには**
(➜26)

☞ **録画せずに画面を消すには**
[戻る] を数回押す

☞ **録画の残り時間を確認するには**
[画面表示] を押す

録画の残り時間

ディスクへの録画について	[録画●] を押しても、録画できません。 ●予約録画はできます。(ビデオ方式は除く)
有料番組を録画するには…	放送会社と契約した B-CAS カードを挿入してください。契約した B-CAS カードをテレビでお使いの場合は、そのカードを本機に挿入してください。

予約録画する

予約録画の便利な機能

- 本機では1ヵ月以内の番組を、64番組まで予約できます。[毎日・毎週予約(➜下記)は1番組として数えます]
 [「新番組おまかせ録画」(➜29)は、通常の番組予約とは別に 16 番組まで自動で予約されます]
- ディスクへは、1 番組のみ予約できます。

録画の毎日･毎週予約

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

- 連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(➜38)

まとめ表示について HDD

連続ドラマなどを毎日･毎週予約した番組は、再生ナビ画面(➜40)でまとめて表示されるため、番組を探しやすくなります。
(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

前回の番組を消去して録画するには(自動更新) HDD

「自動更新」を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDDの容量を効率よく使えます。
- 番組にプロテクトを設定している場合や、HDD再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

番組追従機能

- 番組表(Gガイド)から予約した番組にのみ働きます

野球中継などの番組延長に対応
- デジタル放送のみ

予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。
(3 時間までの変更に対応)

- 「イベントリレー」(➜34) を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。(番組は分割されます)
- 予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

毎日･毎週予約した番組の時間変更に対応

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30分拡大版だった。」などの場合に対応します。(開始 / 終了時刻の 2 時間までの変更に対応)

- 次回以降の予約登録するときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。
- 番組表の更新を基に働くため、更新状態(番組名の変更など)によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

- 番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

番組追従機能を無効にするには
時間指定予約で予約を行ってください。(➜37)

ディスクの残量不足などに対応(代替録画)

(録画先を“BD”にして予約したとき)
ディスクの入れ忘れ、残量不足などでディスクに予約録画できない場合(➜121)は、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の失敗を防ぎます。

予約一覧で「代替」が表示

- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。
- 代替録画した番組は、再生ナビ画面上で「 」が表示されます。

新番組おまかせ録画

地上デジタル
BS デジタル

番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大１６番組まで自動で予約することができます。

- 番組表（G ガイド）のデータ受信時に新番組を探して自動で予約します。
- 録画先は「HDD」、録画モードは「DR」で予約します。

設定方法

1 操作一覧 を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼] で「新番組おまかせ録画」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼]で設定したい項目を選ぶ

5 [◀][▶]で「入」または「切」を選ぶ

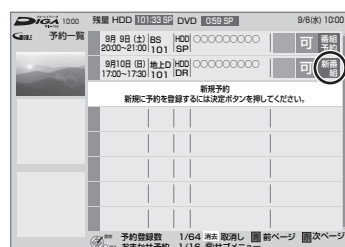
新番組おまかせ録画の設定

夜ドラマ（地上D）	入	切
夜ドラマ（BS）	入	切
アニメ （地上D）	入	切
アニメ （BS）	入	切

"入"に設定すると、新番組をDRモードで自動録画します。
・録画時刻の重複により自動録画されない場合があります。
・HDD残量にご注意ください。
予約確認ボタンで自動で録画される番組を確認できます。
戻る

- 「夜ドラマ」は 18 時～ 23 時 59 分の間に開始時刻が含まれる新番組のドラマが対象になります。
- 新番組でも番組名によっては、正しく予約できない場合があります。
- 契約が必要なチャンネルの新番組も自動で予約しますが、契約していない場合、録画はされません。
- 「入」に設定した場合、HDD の残量にお気をつけください。

予約された新番組の確認

予約確認
 を押す

新番組 自動で予約された番組
不要な場合は、[消去] を押してください。

- 番組表（G ガイド）上では、新 が表示されています。

予約内容を修正するには（➜38）
「修正」を選び、「設定変更画面」を表示すると、通常の番組予約になります。
(すでに新番組以外の予約が 64 番組ある場合は、修正できません)

予約が重なったときは？

- **通常の番組予約と重なったときは？**
  新番組の予約は行われません。
- **新番組同士が重なったときは？**
  以下の優先順位で予約されます。
  ① 開始時刻の早い番組を優先
  ② 新番組の開始時刻が同じときは、
  まず地上デジタルと BS デジタルでは、地上デジタルの番組を優先
  さらに同じ放送のときは、チャンネル番号の小さい番組を優先

予約録画する(つづき)

番組表(G ガイド)上での操作

新聞のテレビ欄のような一覧表から番組を選ぶことができます。
この機能を使うには、**番組表(Gガイド)の受信が必要です。**(➜準備編 26)

番組表(G ガイド)について

(地上アナログ)
●Gガイド地域一覧表(➜準備編 42)に登録されていない放送局は、見ることはできても番組表(G ガイド)には表示されません。

(地上デジタル)
●番組データが表示されていない場合は、その局を選んで、**[決定]** を押すと表示されます。(数分かかることもあります)

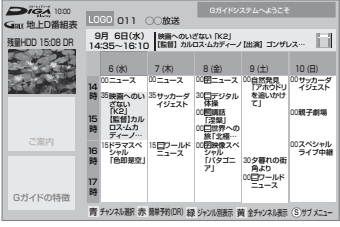
番組表 を押す

例)全チャンネル表示

放送局からのお知らせ/テキスト(文字)広告など
放送の種類
選択中の番組紹介
番組の種類
HDD残量/録画モード
現在視聴中の放送局
現在視聴中の放送局の映像
選択中の番組
パネル広告
放送局から送られてくる情報によって番組のジャンルをマークで表示
放送局の3けたチャンネル番号
リモコンのチャンネルボタン番号
短い番組は青の線で表示されます。選ぶと、番組情報が表示されます。
リモコンのボタンの働き

新：新番組おまかせ録画で予約された番組
予：録画予約している番組

●現在視聴中の放送局が、一番左に追加表示されるため、画面内に同じ放送局が２つ表示される場合があります。

番組表(G ガイド)の表示設定	**別の放送の番組表(G ガイド)を表示**	アナログ デジタル(地上) BS CS(1/2) **を押す**
	別の日の番組表(G ガイド)を表示 ●全チャンネル表示時のみ	**1** 青 **を押す** **2** **[▲][▼]で日付を選び、決定 を押す**

	チャンネル別の番組表(G ガイド)を表示	選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。 **1 [▲][▼][◀][▶]で表示したいチャンネルの番組を選ぶ** **2 [黄]を押す** **全チャンネル表示に切り換えるには** [黄] を押す
	別のチャンネルを表示	チャンネル別表示中に **1 [青]を押す** ●次ページのチャンネルを表示させる場合は、もう一度 [青] を押してください。 **2 [▲][▼]でチャンネルを選び、[決定]を押す**
番組表(G ガイド)の表示設定	**1 [サブメニュー]を押す** **2 [▲][▼]で項目を選ぶ**(➜下記へ) ●表示される内容は放送によって異なります。	
	番組表の検索	「ジャンル」や「キーワード」などから、録画したい番組を検索します。 **[決定] を押す(➜32)**
	録画モード	録画モードを変更します。(➜98) **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す**
	放送切換	別の放送の番組表(Gガイド)を表示します。(お好み番組表を含む) **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す** **お好み番組表について** ●「お好みチャンネル」(➜21)で登録されている放送局が表示されます。 ●お好み番組表に切り換えた場合、切り換える前に視聴していた放送局が現在視聴中の番組になります。そのため、登録していない放送局が番組表に表示されるときがあります。
	表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	1 画面に表示するチャンネル数を変更します。 **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す**
	表示日数切換 ●チャンネル別表示時のみ	1 画面に表示する日数を変更します。 **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す**
	表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	(デジタル放送の番組表のみ) 番組表(Gガイド)で表示させる内容を変更します。 **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す** ●「設定チャンネル」は、リモコンの[1]～[12∗]に設定されているチャンネルとデジタル放送で設定した13～36までのチャンネルを表示 ●番組表(G ガイド)の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
	視聴制限一時解除	(デジタル放送の番組表のみ) 暗証番号(➜90)を入力して視聴制限を一時解除します。 **[決定] を押す**
	番組データ取得	(地上デジタル放送の番組表のみ) 選択した局の番組情報を受信します。 **[決定] を押す**
	パネル広告へ テキスト広告へ 番組表へ	パネル広告欄またはテキスト広告欄に移動します。広告欄に移動後、「番組表へ」を選ぶと、元の番組表(G ガイド)表示に戻ります。 **[決定] を押す**

予約録画する(つづき)

番組表(G ガイド)上での操作(つづき)

特定ジャンルから番組を選ぶ

●全チャンネル表示時のみ

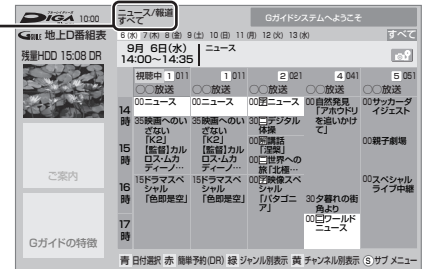
ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表(Gガイド)上で明るく表示します。

1 番組表(G ガイド)の全チャンネル表示中に、[緑] を押す

2 [▲][▼] でメインジャンルを選び、[決定] を押す

3 [▲][▼] でサブジャンルを選び、[決定] を押す

(視聴する場合は ➜21「番組表から選局」手順 2)
(予約録画する場合は ➜14「予約録画しよう！」手順 ❷)

選択したジャンル
およびサブジャンル

☞ ジャンル別の表示をやめるには

[緑] を押す

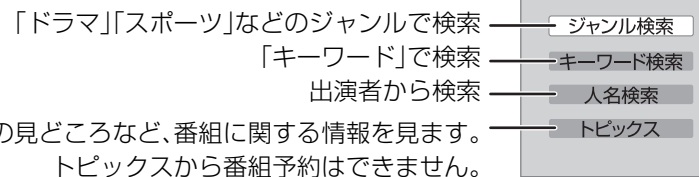
●別の放送の番組表(Gガイド)を表示した場合やサブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。

「ジャンル」や「キーワード」などから番組を検索

1 番組表(G ガイド)表示中に、[サブメニュー] を押す

2 [▲][▼] で「番組表の検索」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼] で検索方法を選び、[決定] を押す

- 「ドラマ」「スポーツ」などのジャンルで検索 ― ジャンル検索
- 「キーワード」で検索 ― キーワード検索
- 出演者から検索 ― 人名検索
- 今夜の見どころなど、番組に関する情報を見ます。トピックスから番組予約はできません。 ― トピックス

4 [▲][▼] で項目を選び、[決定] を押す

●この操作を繰り返し、検索項目を絞り込みます。

例)「ジャンル検索」を選んだ場合の最初の画面

メインジャンル
映画
ドラマ
スポーツ
音楽
バラエティ
情報/ワイドショー
ニュース/報道
アニメ/漫画
ドキュメンタリー/教養
劇場/公演
趣味/教育
福祉

☞ 放送を切り換えるには

[アナログ] [デジタル] [BS] [CS] を押す

☞ 別の日の検索結果を表示するには

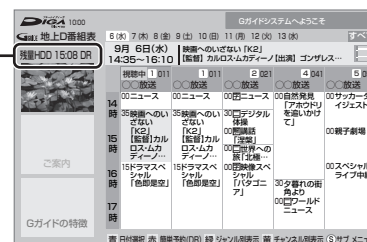
[赤] または [青] を押す

5 [▲][▼] で番組を選び、[決定] を押す

(視聴する場合は ➜21「番組表から選局」手順 3)
(予約録画する場合は ➜14「予約録画しよう！」手順 ❹)

お知らせ

●検索結果は、各放送のデータの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。

番組表(G ガイド)上での簡単な予約の登録 / 取り消し / 修正	予約登録 HDD	番組表(G ガイド)上で、ボタン 1 つで HDD に予約ができます。 **1 番組表(G ガイド)表示中に、[▲][▼][◀][▶]で番組を選ぶ** 例)全チャンネル表示 HDD の残量 / 現在の録画モード **録画モードを変更するには** ① [サブ メニュー] を押す ② [▲][▼] で「録画モード」を選ぶ ③ [◀][▶] で録画モードを選び、[決定] を押す **2 赤 を押す** ●「予」が表示され、予約が完了します。 **予約番組が重なっているとき(➜35)** 〇〇 お知らせ 〇〇 ●予約内容を変更したい場合は、登録後に下記の「予約修正」を行ってください。
	予約取り消し	**[▲][▼][◀][▶]で「予」が表示されている番組を選び、赤 を押す** ●「予」が消えます。 ●予約録画実行中の番組は、取り消しできません。
	予約修正	**1 [▲][▼][◀][▶]で「予」が表示されている番組を選び、決定 を押す** **2 [◀][▶]で「予約修正」を選び、決定 を押す** (「番組予約」の場合は➜34「詳細設定」へ) (「時間指定予約」の場合は➜37「時間指定予約」へ)

予約録画する（つづき）

番組表（Gガイド）予約の変更をする

操作方法 ➜14「予約録画しよう！」

14 ページ手順 ❺ などで「詳細設定」を選んだあとに操作します。

録画先などの予約内容の変更

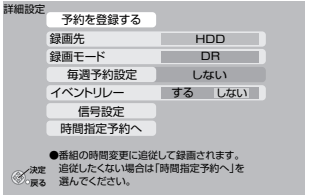
詳細設定

1 [▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する（➜ 下記へ）

●「毎週予約設定」「信号設定」「時間指定予約へ」の場合は、[決定] を押してください。

2 設定が終了したら、

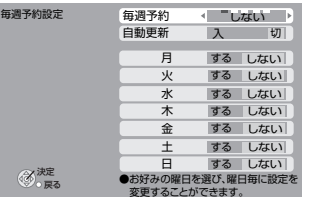
[▲][▼]で「予約を登録する」を選び、決定 を押す

●予約修正の場合は「修正を反映する」を選び、[決定] を押してください。

項目	内容
録画先	「HDD」または「BD」を選びます。 ●DVD の場合は、「BD」を選んでください。
録画モード	録画モードを設定します。（➜98）

毎週予約設定

[◀][▶] で「毎週予約」を設定する

●押すごとに、以下のように変わります。

録画する曜日によって表示内容は変わります。

☞ **自動更新を設定するには**

[◀] [▶] で「自動更新」を「入」にする

「入」を選ぶと、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。

☞ **曜日ごとに設定するには**

[◀] [▶] でそれぞれの曜日を「する」または「しない」にする

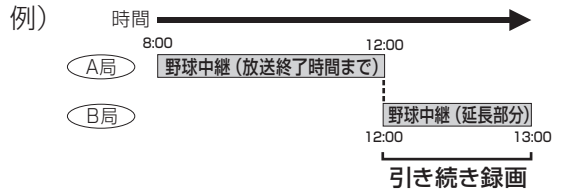
設定を変更すると、「毎週予約」の項目が「曜日指定」になります。

イベントリレー

(地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。（ただし、別番組として録画されます）

別に予約した番組と放送時間が重なった場合、一方の番組が録画されないときがあります。

例）

信号設定

(地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

複数の音声や映像の信号があるときや、追加購入が必要なときに設定します。

[▲][▼] で項目を選び、[◀][▶] で設定する

●「DR」以外の録画モードで録画する場合、音声や字幕などは設定された内容で録画され再生時に切り換えできません。

●選べる設定項目は、予約時点で放送局から送られる番組情報に基づいています。そのため、実際に放送された番組の内容が予約時点での番組情報と異なり、予約で設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。

●番組の中に購入が必要な信号があるときに、「追加購入選択」で料金を払うと録画ができます。「DR」モードで予約してください。（毎週予約では録画できません）

●有料番組を予約するときは、その放送会社と契約したB-CAS カードを挿入してください。

時間指定予約へ

録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。

➜37「時間指定予約」へ

●番組追従（➜28）は行えません。

●「信号設定」は反映されません。

予約番組が重なっているとき （14 ページ手順❺などのあと）	内容

予約番組が重なっているとき
（14 ページ手順❺などのあと）

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。

☞ **重複している予約を確認するには**

[◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す

●「予約重複確認」画面が表示されます。

例）

☞ **予約の重複を修正するには**

① **[▲][▼]で番組を選び、[決定]を押す**
② **[◀][▶]で修正方法を選び、[決定]を押す**

修正　：予約時間などを修正します。
　（「番組予約」の場合は➜34「詳細設定」へ）
　（「時間指定予約」の場合は➜37「時間指定予約」へ）

取り消し　：予約を取り消します。

予約実行切：予約の実行をやめます。

予約録画する(つづき)

HDD BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

○○ お知らせ ○○

- 本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。
(➜準備編 30「時刻合わせ」)

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

予約録画を止めるには(➜38)

予約の確認や取り消し、修正をするには(➜38)

予約番組が重なっているときは(➜35)

予約一覧画面の表示マークについては(➜130)

暗証番号に関する表示が出たとき(時間指定予約)

デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴･録画には暗証番号の入力が必要です。

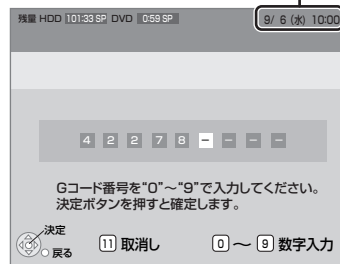
- 番組の視聴制限(➜90)を登録していない場合は、「暗証番号登録」画面が表示されます。暗証番号を登録すると「無制限」に設定されます。(「無制限」の場合、以降「暗証番号登録」画面は表示されなくなります)
- 視聴可能年齢(➜90)に制限をかけている場合は、設定した暗証番号を入力しないと制限のある番組は録画できません。

Gコード®入力を使って予約録画する 地上アナログ

1 Gコード(ふた内部)を押す

2 1 ～ 10/0 (ふた内部)でGコード番号を入力する

- [▲][▼]で数字を選び、[▶]を押しても入力できます。

現在時刻

Gコード番号を間違えたときは

- [◀]で戻り、再度入力する
- [11#/ 取消し]を押すと、入力した番号を取り消します。

3 決定を押す

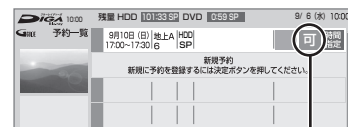
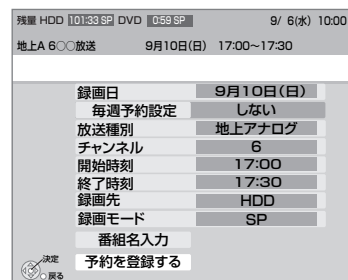
- 予約内容を確認してください。

予約内容を変更するには(➜37「時間指定予約」)

「チャンネル」の項目が「Gーー」になっているときは

ガイドチャンネルが正しく設定されていません。「チャンネル」が選ばれている状態で、[◀][▶]で予約したいチャンネルに合わせてください。(➜準備編 36)

- 予約を完了すると、ガイドチャンネルも設定されます。

4 「予約を登録する」を選び、決定を押す

「不可」表示のときは、HDDの残量などを確認してください。

録画時間を指定して予約録画する（時間指定予約）

1 予約確認 **を押す**

2 **「新規予約」を選び、決定を押す**

現在時刻

3 **予約内容を設定する**

（➜下記「時間指定予約」へ）

CATV セットトップボックスなどの外部入力から録画するときは「外部入力」を選んでください。

4 **「予約を登録する」を選び、決定を押す**

「不可」表示のときは、HDDの残量などを確認してください。

予約内容の変更

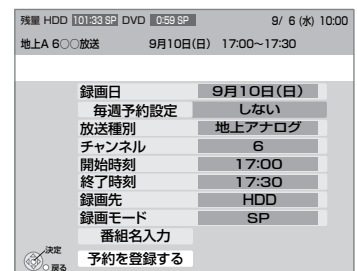
時間指定予約

1 **[▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する**（➜ 下記へ）

●「毎週予約設定」「番組名入力」の場合は、[決定]を押してください。

2 設定が終了したら、

上記手順4へ

●予約修正の場合は「修正を反映する」を選び、[決定]を押してください。

項目	説明
録画日	1ヵ月以内の日付を指定できます。
毎週予約設定	毎日･毎週予約を設定します。(➜34「毎週予約設定」)
放送種別	放送を設定します。
チャンネル	録画するチャンネルを設定します。 ●[1]～[10/0]でも選べます。 ●「放送種別」で「外部入力」を選択時は、「L1」または「L2」が選べます。
開始時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●[◀]または[▶]を押したままにすると15分単位で変更できます。 ●[決定]を押すと、[1]～[10/0]で設定できます。
終了時刻	
録画先	「HDD」または「BD」を選びます。 ●DVD の場合は、「BD」を選んでください。
録画モード	録画モードを設定します。(➜98)
番組名入力	●文字入力について(➜86) ●入力しなくても、番組表（Gガイド）にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。

予約録画する（つづき）

録画中の予約録画を止める

1 [停止] を押す

2 [◀][▶]で「はい」を選び、[決定] を押す

例）

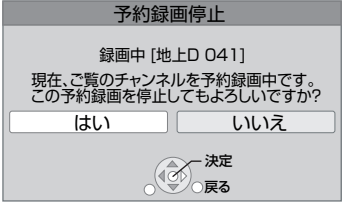
予約録画停止
録画中 [地上D 041]
現在、ご覧のチャンネルを予約録画中です。
この予約録画を停止してもよろしいですか?
はい　いいえ
決定
戻る

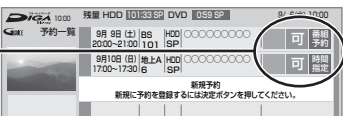
☞ **予約一覧画面から予約録画を止めるには**
[➜下記「予約の実行を止める（一時解除）」]

〇〇 お知らせ 〇〇

●予約録画を止めると、予約一覧画面に「一部未実行」マークが表示されます。
毎日·毎週予約の場合は、次回からの予約を新たに追加登録します。

予約内容の確認、取り消し、修正など

●電源が「切」状態でも操作できます

[予約確認] を押す

●予約状況がマークで表示されます。
(➜130)

●実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。
●実行される予約番組がない場合は、本体表示窓の"◷"が消灯します。

予約内容の変更を行う場合は、[▲][▼]で予約番組を選び、以下に進んでください。

予約の取り消し

[消去]を押す

予約の実行を止める（一時解除）

① **[サブ メニュー]を押す**
② **[▲][▼]で「予約実行切」を選び、[決定]を押す**

例）

視聴制限一時解除
予約取り消し
予約実行切
履歴一覧表示

●予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
●もう一度**[サブ メニュー]**を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。
●録画中の番組を選んで操作を行うと、録画が停止します。予約時間内であれば、もう一度**[サブ メニュー]**を押して「予約実行入」を選ぶと、録画が再開されます。(ただし、別番組として録画されます)

視聴制限の一時解除

暗証番号(➜90)を入力して視聴制限を一時解除します。
① **[サブ メニュー]を押す**
② **[▲][▼]で「視聴制限一時解除」を選び、[決定]を押す**
③ **暗証番号を入力する**

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。
① **[サブ メニュー]を押す**
② **[▲][▼]で「履歴削除」を選び、[決定]を押す**
③ **[◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す**

●番組の履歴は「履歴一覧」からも確認できます。
[サブ メニュー]を押して「履歴一覧表示」を選んでください。予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

予約内容の修正

① **[決定]を押す**
② **[◀][▶]で「修正」を選び、[決定]を押す**
(「番組予約」の場合は➜34「詳細設定」へ)
(「時間指定予約」の場合は➜37「時間指定予約」へ)

●時間指定予約の場合、予約録画実行中の番組でも、録画モードが「FR」以外なら予約終了時刻の変更ができます。

毎日·毎週予約の予約状況を確認

1ヵ月以内の予約の重複などを確認できます。
① **[決定]を押す**
② **[◀][▶]で「毎週一覧」を選び、[決定]を押す**

●予約の「重複」がある場合に **[決定]** を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。予約の修正をしてください。(➜35)

☞ **前の画面に戻るには**
[戻る] を押す

☞ **画面を消すには**

[戻る] を数回押す

再生する

HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V

準備
- ディスクを再生する場合は、ディスクを入れる。

録画しながら再生するには(➜27)

ハイビジョン動画(AVCHD)を再生するには(➜64)

映像が縦に引き伸ばされているとき
(4:3映像で記録されているとき)
初期設定「TVアスペクト」**(➜95)**を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

暗証番号の入力画面が出たとき
他機器で再生制限が設定されています。設定した暗証番号を入力し、[**決定**] を押してください。

1 HDD または BD/SD を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

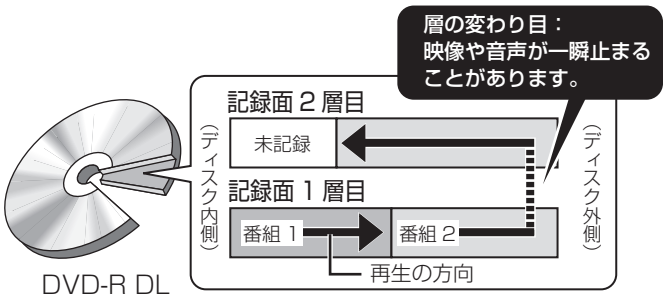
- DVD の場合は、「BD」を選んでください。

2 を押す

HDD	:最後に停止した位置から再生
BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW	:最初に記録された番組から再生
BD-V DVD-V	:ディスクが指定した位置から再生

- ただし、続き再生メモリー機能**(➜43「停止」)**が働いている場合は、停止した位置から再生します。
(BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります)

お知らせ
- BD-V 市販の映画などが記録されたBDビデオは、録画中に再生することはできません。また、再生中に予約録画が始まると再生を終了します。
- ディスクによっては、再生が始まるまで時間がかかることがあります。
- DRモードの番組は、番組の切り換わり部分や、編集を行った部分などで、映像や音声が一瞬止まることがあります。
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは[■**停止**]を押して停止させてください。
- ハイビジョンムービーの動画とハイビジョン画質の番組が混在したディスクでハイビジョン画質の番組を再生するには、**初期設定**「ハイビジョンムービー優先モード」を「切」にしてください。**(➜92)**

DVD-R DL(片面2層)ディスクを再生するとき
このディスクは、記録面が片面に 2層あります。1層目に収まらなかった番組は、2つの層にまたがって記録されます。**(➜下図「番組 2」)**
通常の番組と同じく全編を通して再生できますが、層の変わり目で、映像や音声が一瞬止まることがあります。

録画
再生
予約録画する（つづき）／再生する

再生する(つづき)

再生ナビについて

操作方法 ➔16「再生しよう！」

HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

再生ナビでの表示切り換え

画像の切り換え HDD BD-RE RAM

再生ナビ画面では、番組･写真を別々に管理しています。それぞれを再生するには、切り換えが必要です。

例) HDD

番組

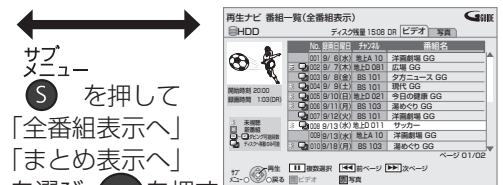
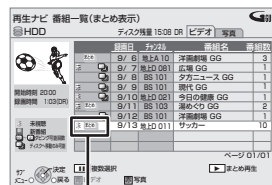
写真

まとめ表示と全番組表示の切り換え HDD

まとめ表示

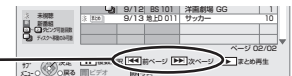
毎日・毎週予約で録画した番組をまとめて表示

全番組表示

すべての番組を一覧表示

まとめ番組を選び、決定を押すと、まとめ番組内の番組を一覧表示します。

前後のページを表示

⏮ または ⏭ を押す

この表示があるときに、切り換えできます。

再生ナビでの編集や他の画像への切り換え

再生ナビ画面上で

1 サブメニュー S を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す(➔ 下記へ)

項目	対応	説明
番組再生	HDD	続き再生メモリー機能(➔43)が働いているときに、番組を前回停止した位置から再生するか、最初から再生するか選ぶことができます。
番組消去		番組を消去します。(➔48)
内容確認		番組名、録画日、チャンネルなどの確認ができます。 **画面を消すには** [決定]を押す
番組編集		番組の編集ができます。(➔48)
チャプター一覧へ		チャプターの編集ができます。(➔52)
並び替え ●全番組表示時のみ	HDD	番組の表示順を項目ごとに並び替えます。 たくさんの番組の中から再生したい番組を探すときなどに便利です。 **[▲][▼]で並び替えたい項目を選び、[決定]を押す** ●再生ナビ画面を消すと、並び替えの情報は取り消されます。
全番組表示へ まとめ表示へ	HDD	全番組表示とまとめ表示を切り換えます。
ビデオへ 写真へ	HDD BD-RE RAM	ビデオ、写真の画面に切り換えます。

毎日･毎週予約していた連続ドラマが終了したとき

お知らせ画面が表示されます。

このまま予約を続けると、次の新しい番組も同じ まとめ 番組に入ります。

予約一覧画面で「シリーズ終了」マークがある予約を取り消すことをお勧めします。

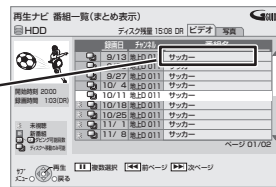
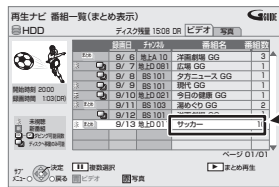
予約番組のシリーズ終了のお知らせ

毎週予約で録画された番組名に"図"がありました。
次回以降の番組名が変わり番組追従できないことがあります。新番組の予約に登録し直すことをお勧めします。

まとめ 番組の再生 HDD	番組を選んで再生する	**1 [▲][▼] で まとめ 番組を選び、決定を押す** **2 [▲][▼] で再生する番組を選び、決定 を押す** ●選んだ番組を再生します。
	番組を連続して再生する（まとめ再生）	**まとめ表示中に [▲][▼]で まとめ 番組を選び、再生 を押す** ● まとめ 番組内の番組を連続で再生します。

まとめ 番組の番組名について
HDD

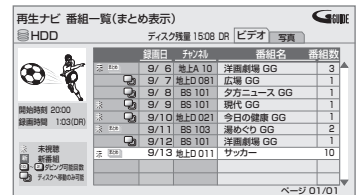
「まとめ表示」での番組名は、まとめ 番組内の最初の番組名が付きます。

まとめ表示　　　　まとめ番組一覧

☞ **「まとめ表示」での番組名を変更するには**
変更したい まとめ 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。(➜48)
●番組名を変更しても まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集
HDD

1 [▲][▼] で番組を選び、一時停止 を押す
●☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

2 すべて選んだあと、サブメニュー を押す

3 [▲][▼]で項目を選び、決定を押す(➜ 下記へ)

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1つにまとめます。 [◀][▶]で「まとめ番組の作成」を選び、[決定]を押す
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 [◀][▶]で「まとめ番組の解除」を選び、[決定]を押す
まとめ番組から除外	選んだ番組を、まとめ 番組から外します。(まとめ番組一覧表示のとき) [◀][▶] で「まとめ番組から除外」を選び、[決定]を押す

新 マークの番組の再生

「新番組おまかせ録画」で録画された番組を再生し、停止した場合、予約画面が表示されます。

下記の操作を行うと、新 の表示は消えます。

新番組の次回予約
新 きら･きら･りん
番組表から次回の番組を予約しますか？
次回以降の番組は、この番組と1つのまとめ番組になります。
予約する　キャンセル

引き続き予約する	**1 [◀][▶] で「予約する」を選び、決定 を押す** ●番組表 (Gガイド) が表示され、次回放送分の番組が選ばれた状態になります。(番組によっては正しく選ばれない場合がありますので、予約したい番組が選ばれているか確認してください) **2 予約の操作を行う**(➜14「予約録画しよう！」手順 ❷ へ) ●手順❺の録画予約画面では、「毎週予約する」と「毎日予約する」の項目が表示されます。

再生する（つづき）

BD ビデオのいろいろな再生

通常の再生操作に加えていろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

ポップアップメニューの表示

BD-V

●ディスクによってはないものもあります

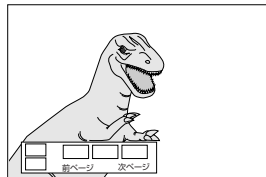
1 再生中に、[再生ナビ]を押す

例）

●[サブ メニュー]を押して、「ポップアップメニュー」を選んで表示させることもできます。

2 [▲][▼][◀][▶]で項目を選び、[決定]を押す

●ディスクによって表示される画面は異なります。操作方法はディスクの説明書をご覧ください。

●[再生ナビ]を押すと、元の画面に戻ります。

BONUSVIEW™ 対応の BD ビデオを楽しむには

本機は、BD ビデオの新しい再生機能である BONUSVIEW™（ボーナスビュー：BD-ROM version 2 Profile 1 version 1.1/ Final Standard Profile) に対応しています。

BONUSVIEW™ 対応ディスクでは、ディスクに記録された本編以外に、映画監督のコメントや同時進行のサブストーリーを再生したり、別アングルの映像などの BD ビデオの副映像が楽しめます。

再生方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明をご覧いただきお楽しみください。

副映像のイメージ

例）

副映像

主映像

副映像が表示されないときは

再生設定「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定してください。**(➜46)**

●ただし、ディスクによって決められている再生方法が優先されるため、本機で設定したとおりに再生できない場合があります。

●副映像の音声を出力する場合、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」**(➜93)**を「入」にしてください。

お知らせ

●BD ビデオの規格には、SD カードなどと連携して楽しむ機能があり、このようなディスクが今後発売される可能性があります。その場合は、ディスクに添付の説明をよくご覧いただき、お楽しみください。（2008 年 2 月現在）

●上記のようなディスクでお楽しみになられたあと、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。**(➜79、手順５で「BD ビデオデータ消去」を選んでください)**

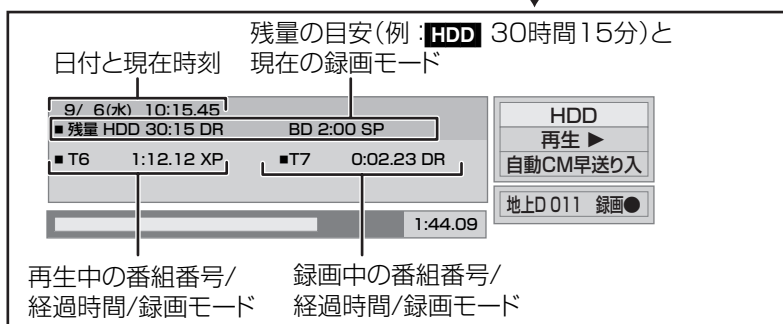
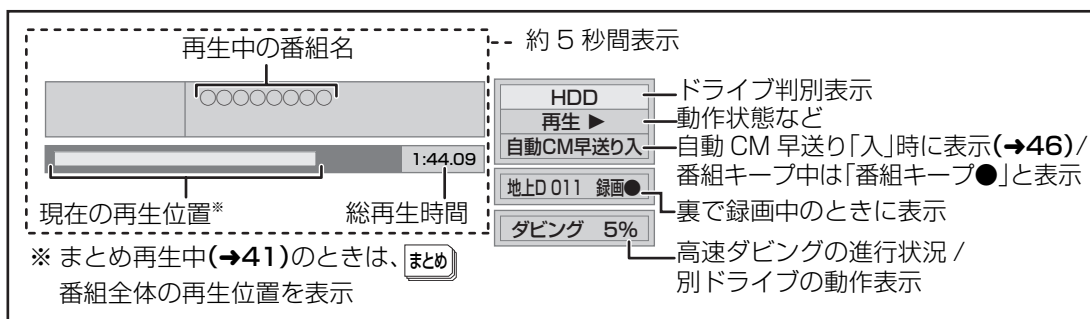
再生中のいろいろな操作

HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

停止	[■ 停止] **を押す**	**続き再生メモリー機能** 止めた位置を一時的に記憶します。 [▶ **再生**]を押すと、止めた位置から再生します。 ●HDD :番組ごとに止めた位置を記憶しますので、前回見た続きから見ることができます。 ●ディスク:前回止めた位置のみを記憶します。 ・記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。 ・BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。 ●電源「入」時に、停電になったり電源コードが抜けるなどで電源が切れた場合、記憶されません。
一時停止(静止画)	[II 一時停止] **を押す**	●もう一度押す、または[▶ **再生**]を押すと、再生を再開します。
早送り・早戻し(サーチ)	[◀◀ サーチ/スロー] **または** [▶▶ サーチ/スロー] **を押す**	押すごとに、または押し続けると速度が速くなります(5段階)。 ●[▶ **再生**]で通常再生に戻ります。 ●早送り1速時のみ音声が出ます。 ●ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。 ●BD-V 早送り・早戻し中は、主映像のみ再生します。
スキップ	再生中または一時停止中に [I◀◀ スキップ] **または** [▶▶I スキップ] **を押す**	押した回数だけ番組や場面を飛び越します。 ●チャプターマーク(➜**51**)がある場合は、その場面に飛びます。 ●HDD 番組を飛び越しません。ただし、まとめ再生中(➜**41**)は、[まとめ] 番組内の番組を飛び越します。
30秒先へスキップする	[30秒スキップ] **を押す**	押すごとに、約30秒飛び越して再生します。 ●BD-V DVD-V ディスクによっては正しく働かない場合があります。

再生中のいろいろな操作（つづき）

早見再生（1.3倍速）	**を約1秒以上押す**	通常よりも速い速度で再生します。 ●もう一度[▶ 再生]を押すと、通常再生に戻ります。 ● -RW できません。（ファイナライズしたあとでも、できません） ●DR、HG、HX、HE モードの番組や BD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) AVCHD の場合、映像がなめらかに再生されないときがあります。 ● BD-V 早見再生中は、主映像のみ再生します。
スロー再生	一時停止中に 	押すごとに速度が速くなります（5段階）。 ●[▶ 再生]で通常再生に戻ります。 ●HG、HX、HE モードの番組や AVCHD を取り込んだ番組、BD-V AVCHD では、送り方向のみ働きます。 ●スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。（BD-V DVD-V AVCHD 一時停止しません） ● BD-V スロー再生中は、主映像のみ再生します。
コマ送り/コマ戻し	一時停止中に **を押す** （[◀❚❚]または[❚❚▶]を押す）	押すごとに1コマずつ送り（戻し）ます。 ●押し続けると、連続してコマ送り（戻し）します。 ●[▶ 再生]で通常再生に戻ります。 ● BD-V AVCHD コマ戻しはできません。 ●HG、HX、HE モードの番組や AVCHD を取り込んだ番組でのコマ戻しは、10 数コマ単位となります。 ● BD-V コマ送り中は、主映像のみ再生します。
ダイレクト再生 BD-V DVD-V AVCHD	停止中（下の画面表示中）はタイトルを、再生中はチャプターを再生します。 **1 ～ 10/0（ふた内部）を押して、タイトルやチャプターの番号を入力する** DVD-V 2けた入力　例）5：[10/0]➜[5]、15：[1]➜[5] BD-V AVCHD 3けた入力　例）5：[10/0]➜[10/0]➜[5]、15：[10/0]➜[1]➜[5] ● AVCHD 再生ナビが表示されているときは、働きません。 	
時間を指定して飛び越す（タイムワープ） ● BD-V DVD-V AVCHD できません	**1 12＊ タイムワープ（ふた内部）を押す** **2 飛び越し時間の表示中に、[▲][▼]で飛び越す時間を設定し、決定 を押す** **飛び越し時間表示** 約5分間表示 ●飛び越し時間表示が消えたときは、もう一度[12＊/ タイムワープ]を押してください。 ●[▲][▼]を押すごとに1分ずつ（押し続けると 10分ずつ）送り[▲]、戻し[▼]します。	

画面モードの切り換え	上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。 **操作方法(➜22)**
音声の切り換え	**音声(ふた内部)を押す** ●押すごとに、番組の内容によって切り換わります。 HDD BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) 音声L → 音声R → 音声LR BD-V DVD-V AVCHD 音声情報 1目 Digital 2/0ch (➜46「言語」) ● BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。
操作の状態の表示	テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。 **画面表示(ふた内部)を押す** ●押すごとに切り換わります。 例) HDD 再生中の番組名 / 約5秒間表示 / 1:44.09 / 現在の再生位置※ / 総再生時間 HDD 再生 ▶ 自動CM早送り入 / 地上D 011 録画● / ダビング 5% ドライブ判別表示 動作状態など 自動CM早送り「入」時に表示(➜46)/番組キープ中は「番組キープ●」と表示 裏で録画中のときに表示 高速ダビングの進行状況 / 別ドライブの動作表示 ※ まとめ再生中(➜41)のときは、まとめ 番組全体の再生位置を表示 日付と現在時刻 / 残量の目安(例：HDD 30時間15分)と現在の録画モード 9/ 6(水) 10:15.45 ■残量 HDD 30:15 DR BD 2:00 SP ■T6 1:12.12 XP ■T7 0:02.23 DR 1:44.09 再生中の番組番号/経過時間/録画モード 録画中の番組番号/経過時間/録画モード 画面表示なし **●残量表示について** 放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。(DRモードでは、特にそのばらつきが大きくなります)

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

●再生可能なディスクを入れる。
●[BD/SD]を押して、「BD」を選ぶ。

1 **を押す**

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼]で「プレイリスト」を選び、決定を押す

4 [▲][▼][◀][▶]でプレイリストを選び、決定を押す

前の画面に戻るには

を押す

画面を消すには

を数回押す

再生

再生する(つづき)

再生する（つづき）

信号切換や再生方法の設定などをする

設定の基本操作

1 再生中に
[再生設定]（ふた内部）を押す
●ディスクにより設定項目は異なります。
2 [▲][▼]でメニューを選び、[▶]を押す
3 [▲][▼]で設定項目を選び、[▶]を押す
4 [▲][▼]で設定を変える

例）DVD-V

メニュー	設定項目	設定内容	
ディスク	音声情報	1日	LPCM 48k 16b
再生	字幕情報	入	1日
映像	アングル		1
音声			

設定を終了するには
[再生設定]を押す

ディスク独自の機能の設定（ディスク）

映像情報
● AVCHD 情報の表示のみ

音声情報※1
● DVD-V AVCHD 音声や言語を選びます。
（➜下記「音声属性/言語」）
● HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW
音声属性表示のみ

信号切換
[決定]を押して、さらに設定します。
● HDD BD-RE BD-R（DRモードの番組のみ）
映像や音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。
▶ マルチビュー
▶ 映像
▶ 音声
▶ 二重音声
▶ 字幕（オン/オフ）
▶ 字幕言語（日本語/英語）
● BD-V
▶ 主映像
·映像情報
·音声情報
▶ 副映像
·映像情報（入 / 切）
·音声情報（入 / 切）

字幕情報※1
● BD-V DVD-V AVCHD 字幕表示の入/切や、言語を選びます。**（➜下記「言語」）**
● HDD（DRモード以外の番組のみ）
RAM -R -R DL -RW 入/切のみ
（他機で録画したディスクなど、字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ切り換えられます）

音声チャンネル
● HDD（DRモード以外の番組のみ）
RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)
音声（L/R）を切り換えます。

字幕スタイル
● BD-V ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。

アングル※1
● BD-V DVD-V アングルを選びます。

※1 ディスクに収録されているメニュー画面（➜16）でのみ切り換えできるものもあります。
●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生方法の設定（再生）

リピート（本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ）
●繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。
▶ 番組　：番組全体
▶ タイトル　：タイトル全体
▶ チャプター　：チャプター
▶ プレイリスト：プレイリスト
▶ 全曲　：ディスク全体
▶ 1曲　：選んだ曲のみ

ランダム（音楽再生時のみ）
●順不同に再生します。
▶ 切
▶ 入

自動CM早送り
● HDD BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)
CMを自動的に飛ばして再生します。
音声が下記の場合のみ働きます。

番組(タイトル)	CM	番組(タイトル)
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生	スキップ	再生

·録画内容によっては、正しく働かないことがあります。
例：上図のCM部分が5分以上の場合など
·以下の場合は働きません。
- DR モードの番組
- 外部入力から録画した番組
·設定した内容は電源を切っても保持されます。

〈音声属性〉
LPCM/DDDigital/DDDigital+※2/DDTrueHD※2/DTS-HD※2/DTS/MPEG/AAC：信号タイプ
ch：チャンネル数
k：サンプリング周波数（kHz）
b：ビット数（bit）

〈言語〉

日：日本語	英：英語	仏：フランス語
独：ドイツ語	伊：イタリア語	西：スペイン語
蘭：オランダ語	中：中国語	露：ロシア語
韓：韓国語	＊：その他	

※2 それぞれの音声に対応するデコーダーを搭載した AV アンプに HDMI で接続し、**初期設定**「デジタル出力」（➜93）のそれぞれの項目を「Bitstream」、「BD ビデオ副音声·操作音」（➜93）を「切」に設定すると、出力されます。

お好みの画質の設定（映像）	**画質選択** ● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD 再生時の画質を選びます。 ▶ **ノーマル**：標準 ▶ **ソフト**　：ざらつきの少ない柔らかな画質 ▶ **ファイン**：輪郭の強調されたくっきりした画質 ▶ **シネマ**　：映画鑑賞向け（DR モードの番組には効果がありません） ▶ **ユーザー**：さらに画質を調整 [▶]で「詳細画質設定」を選び、[決定]を押す ･**コントラスト**（白黒の強弱） ･**ブライトネス**（画面全体の明るさ） ･**シャープネス**（鮮やかさ） ･**カラー**（色の濃さ） ･**ガンマ**（暗くて見えにくい映像の輪郭） **HDオプティマイザー** ● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD 動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。	**プログレッシブ**（➜127） 以下の場合に、プログレッシブ（480p）出力するかしないかを設定します。 ●**初期設定**「D 端子出力解像度」（➜95）を「D2」にして録画した番組を再生、または DVD-V を再生するとき ●**初期設定**「HDMI映像優先モード」（➜95）が「切」のとき 映像が左右に引き伸ばされるときは「切」にしてください。 **変換モード**[「プログレッシブ」（➜上記）が「入」の場合のみ] ●プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。 ▶Auto（標準）：フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換 ▶Video　：Autoでぶれが生じるとき
お好みの音声効果の設定（音声）	**音質効果** ● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V CD AVCHD **リ.マスター** （サンプリング周波数が48 kHz以下で記録された音声のみ） 音声圧縮処理によって欠落したデジタル信号の高音域部分を復元することで、より豊かな音質を楽しめます。 **サラウンド**（2チャンネル以上の音声のみ） フロントスピーカー（L/R）だけで音の臨場感を出します。 ･接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください。 ･本機で録音した二重音声には働きません。 ･CD 音楽には働きません。 ▶ **リ.マスター標準** ▶ **リ.マスター強** ▶ **サラウンド標準** ▶ **サラウンド強** ▶ **切** ●音声がひずむ場合、「切」にしてください。 ●再生する内容によっては、効果が現れない場合があります。 ●リ.マスターとサラウンドの両方を同時に設定することはできません。 ●HDMI 出力や光デジタル出力時には、**初期設定**「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。（➜93）（ただし、光デジタル端子に接続時は、2 チャンネルの音声になります）	**シネマボイス** ● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声でセリフを聞き取りやすくします。

番組を編集する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW
（ファイナライズしたディスクや AVCHD が記録されたディスクでは編集できません）

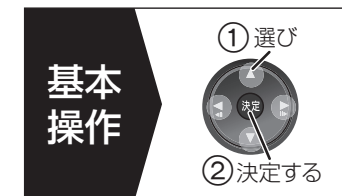
準備 ●[HDD] または [BD/SD] を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ。

基本操作
①選び
②決定する

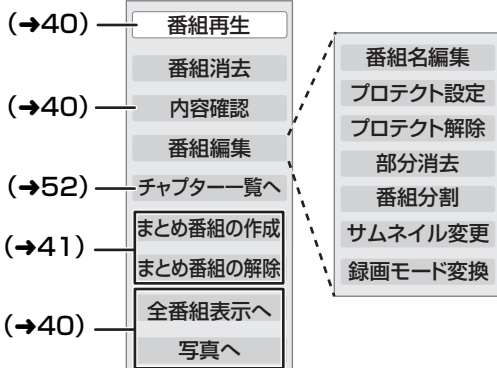
1 を押す

「番組一覧」が表示されないときは
[青] を押す

2 番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

例）HDD

複数の番組を選択するには
（「番組消去」「プロテクト設定 / 解除」のみ可能）
番組を選び、[❚❚ 一時停止] を押す操作を繰り返す
● ☑ が表示されます。
もう一度 [❚❚ 一時停止] を押すと解除されます。

3 項目を選び、決定 を押す（➔右記へ）

例）HDD

●「番組編集」を選んだときは、さらに項目を選び、[決定] を押します。

前の画面に戻るには
戻る を押す

画面を消すには
 を押す

お知らせ

●「録画モード変換」(➔50)が設定されている番組は、「番組分割」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
●他の機器で作成したプレイリストがある場合、その元になる番組を編集すると、プレイリストは変更されます。
●初期設定「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➔94)が「入」の場合、再生ナビ画面を表示中に、約 10 分以上本機の操作を何も行わなかったときは、再生ナビ画面は消えます。
● BD-R -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) 編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集はHDD上で行い、そのあとにダビングすることをお勧めします。

番組の消去
番組消去

番組名を付ける / 変更する
番組名編集

誤消去防止の設定/解除
プロテクト設定 / 解除
● -R(V) -R DL(V) -RW(V) ではできません

番組の不要な部分の消去
部分消去
● -R(V) -R DL(V) -RW(V) ではできません

番組を2つに分割
番組分割
● -R(V) -R DL(V) -RW(V) ではできません

トップメニューで表示される画像（サムネイル）の変更
サムネイル変更
● BD-RE BD-R や 10～2、の表示がある番組ではできません

消去すると記録した内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

「消去」を選び、決定を押す

☞ **文字入力については(➔86)**

- 新 の表示がある番組は変更できません。
- まとめ 番組の番組名を変更しても まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

大切な記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定または解除ができます。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

プロテクト設定すると表示

部分消去すると記録した内容が消え、元に戻すことができません。部分消去してよいか確認してから行ってください。

4 再生 を押して、再生を始める

5 「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で 決定 を押す

6 再生 を押して、再生を始める

7 「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で 決定 を押す

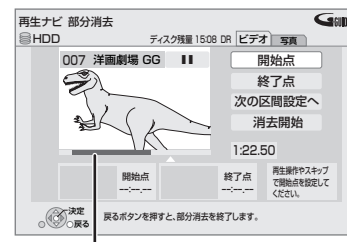
8 (続けて別の不要な部分を設定する場合) 20 区間まで設定できます。

「次の区間設定へ」を選び、決定 を押す(➔手順 5 へ)

●「次の区間設定へ」を選ぶと、すでに設定した区間の変更はできなくなります。

9 「消去開始」を選び、決定 を押す

10 「実行」を選び、決定 を押す

●部分消去した場面には、チャプターマークが作成されます。

黒い部分が消去される部分です。開始点を含む場面から終了点の直前までを消去します。

分割すると元に戻すことができません。分割をしてよいか確認してから行ってください。

4 「分割」を選び、分割する場面※で 決定 を押す

☞ **分割する場面を確認するには**

「プレビュー」を選び、[決定] を押す

・分割する場面の前後 10秒間が再生されます。

☞ **分割する場面を選び直すには**

① 「分割」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める

② 分割する場面で、[決定] を押す

5 「終了」を選び、決定 を押す

6 「分割」を選び、決定 を押す

●分割した番組は、まとめ 番組になります。

●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。「プレビュー」で確認のうえ、実行してください。

-R(V) -R DL(V) -RW(V) ファイナライズ後のトップメニュー画面で表示される画像を変更することができます。(➔81)

HDD「サムネイル変更」の設定は、-R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速ダビングを行ったときのみ保持されます。

4 再生 を押して、再生を始める

5 「変更」を選び、お好みの場面※で 決定 を押す

☞ **場面を選び直すには**

① 「変更」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める

② お好みの場面で、[決定] を押す

6 「終了」を選び、決定 を押す

※**編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➔43、44)を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で [❚❚一時停止] を押し、[◀❚❚] [❚❚▶] を押して場面を調整する

編集

番組を編集する

番組を編集する(つづき)

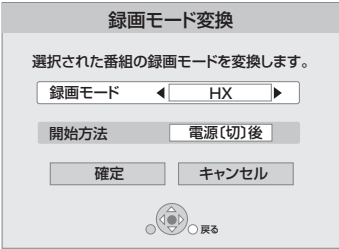
48 ページ手順 1 ～3で「録画モード変換」を選んだあとに操作します。

録画モードの変換

録画モード変換

HDD

●DRモードの番組のみ

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。
録画モードを変換すると、HDD の容量をおさえることができます。
(録画モードと記録時間の目安 ➜99)

4 [◄][►] で録画モードを選ぶ

5 [▼] で「開始方法」を選び、[◄][►] で開始方法を設定する

●**すぐに** ：「確定」後すぐに、変換を開始します。
変換中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。

●**電源〔切〕後** ：電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

6 [▲][▼][◄][►]で「確定」を選び、決定 を押す

7 「すぐに」変換を開始する場合：

[◄][►]で「開始」を選び、決定 を押す

変換を実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

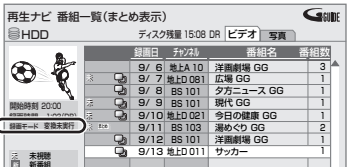
「電源〔切〕後」変換を開始する場合：

決定 を押す

変換の設定内容を変更・取り消しするには

① 48 ページ手順3で「録画モード変換」を選ぶ
② [◄][►] で「設定変更」または「設定取消」を選び、[決定] を押す
・**設定変更** ：設定を変更します。(➜手順４へ)
・**設定取消** ：設定を取り消します。

録画モード変換が終了しているか確認するには

再生ナビ画面で「変換未実行」が表示されている場合、変換は終了していません。

○○ お知らせ ○○

●番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
●変換後は、DR モードに戻すことはできません。
●複数の映像や音声などを含む番組を変換する場合、変換後の映像や音声は 1 つだけになります。
記録する映像や音声を選んで変換したい場合、以下のようにしてください。
① 番組を再生し、**再生設定**「信号切換」(➜46)で変換したい音声などを選ぶ
② 番組の再生を停止する
③ 上記手順 5 で、「すぐに」を選び、変換を開始する
●「電源〔切〕後」を選んで変換する場合、電源「切」時の**再生設定**「信号切換」の設定で変換を実行します。

チャプターの作成・再生・編集

HDD BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)
（ファイナライズしたディスクでは再生のみできます）

チャプターとは：チャプターマークで区切られた区間のことです。
番組のお気に入りの場面などにチャプターマークを作成すると、スキップ(➜43)したときに、その場面に飛ぶことができます。

チャプターマークで区切られた区間が
チャプターになります。

最大チャプターマーク数
（記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）
HDD ：1 番組あたり約 999 個
BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) ：ディスクあたり約 999 個
RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) ：1 番組あたり約 99 個
BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) ：1 番組あたり約 100 個

お知らせ
- 自動 CM 早送り(➜46)が働く場面にもチャプターマークが自動的に作成されます。（1 番組あたり最大 98 個）
  （DR モードで録画した番組には作成されません）
- HDD チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能(➜43)や「サムネイル変更」(➜48)ができなくなります。
- HDD 作成されたチャプターマークは、ダビングしても保持されます。ただし、最大チャプターマーク数を越えると、越えた分は保持されません。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

［チャプターマーク］を押す

削除

一時停止中に

1 ［スキップ ⏮］または［スキップ ⏭］を押して、削除したい場面に飛ぶ

2 ［チャプターマーク］を押す

3 [◀][▶]で「はい」を選び、［決定］を押す

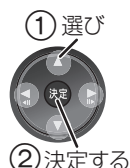
お知らせ
- BD-R -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) 作成や削除を何度も繰り返すと、ディスクに記録や編集ができなくなる場合があります。

編集

番組を編集する（つづき）／チャプターの作成・再生・編集

チャプターの作成・再生・編集(つづき)

チャプターを再生・編集する

1 **を押す**

☞ **「番組一覧」が表示されないときは**
[青] を押す

2 **番組を選び、サブメニュー を押す**

3 **「チャプター一覧へ」を選び、決定 を押す**

4 再生する:
チャプターを選び、決定 を押す

編集する:
チャプターを選び、サブメニュー を押す
(➜ 手順5へ)

☞ **チャプターマークを作成するには**
[赤] を押す(➜右記へ)

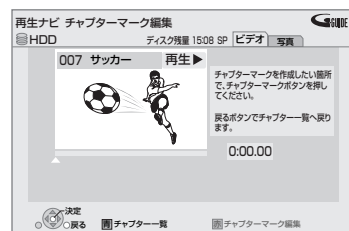
5 **編集する項目を選び、決定 を押す**
(➜右記へ)

チャプター消去
チャプター結合

☞ **前の画面に戻るには**
戻る を押す

☞ **画面を消すには**
戻る を数回押す

チャプターマークの作成

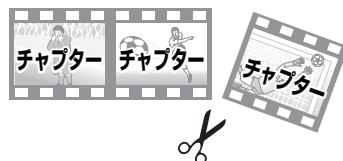
「チャプターマーク編集」からチャプターマークの作成をすることができます。

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

チャプターマーク を押す

☞ **削除するには**
① 一時停止中に [|◀◀] [▶▶|] を押して、削除したい場面を選ぶ
② [チャプターマーク] を押す
③ 「はい」を選び、[決定] を押す

チャプター部分の消去

チャプター消去

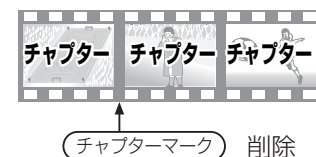
指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。

元に戻すことはできません。消去してよいか確認してから実行してください。

「消去」を選び、決定 を押す

チャプターをすべて消去すると、その番組自身も消去されます。

チャプターの結合
(チャプターマークの削除)

チャプター結合

選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、1つにつなぎます。
番組の録画内容が消去されることはありません。

前後のチャプターが結合されます。

「結合」を選び、 **を押す**

番組をダビングする

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中に、その番組だけをディスクへダビングすることができます。
●再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向： HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

準備
- ●ダビング可能なディスクを入れる。
- ●フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜78)
- ●[HDD]を押して、「HDD」を選ぶ。

お知らせ
- ●1倍速でダビングを開始すると、約2分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビング中にテレビの視聴や HDDの録画・再生をするには(高速ダビング時のみ)

決定 を押して確認画面を消したあと、視聴や録画・再生の操作をする
- ●[画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

ダビングを実行中に中止するには

戻る
を3秒以上押す

(➜109「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？」)

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の映像や音声、字幕情報を含んでいる DR モードの番組を BD-RE BD-R 以外にダビングする場合、**再生設定**「信号切換」(➜46)でダビングする音声などを選んでからダビングしてください。

2 サブメニュー S を押す

- ●ビエラリンク (HDMI)(➜82)をお使いの場合は、「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

3 「再生中番組の 保存」を選び、決定 を押す

4 「保存開始」を選び、決定 を押す

再生中番組の保存時の動作について

ダビングする番組		ダビング先ディスク	ダビング先ディスクの記録方式	ダビング時の動作	
				ダビング速度	録画モード
DR モードの番組		ブルーレイディスク	—	高速※1	そのまま※3
		DVD	AVCREC	1倍速	残量に合わせて HG、HX、HE
			VR、ビデオ	1倍速	FR
HG、HX、HE モードの番組		ブルーレイディスク	—	高速※2	そのまま
		DVD	AVCREC	高速※2	そのまま
			VR、ビデオ	1倍速	FR
XP ～ EP、FR モードの番組	「高速ダビング用録画」を「入」で録画	ブルーレイディスク	—	1倍速	再生中番組の録画モード※4
		DVD	AVCREC	ダビングできません	
			VR、ビデオ	高速※1	そのまま※4
	「高速ダビング用録画」を「切」で録画	ブルーレイディスク	—	1倍速	再生中番組の録画モード※4
		DVD	AVCREC	ダビングできません	
			VR	高速※1	そのまま※4
			ビデオ	1倍速	再生中番組の録画モード※4

※1 ディスクに容量を越えてダビングする場合、1倍速になります。
※2 **初期設定**「HG ～ HE のディスク記録音声」(➜92)が「固定」の場合、1倍速(再生中番組の録画モード)になります。
※3 ディスクに容量を越えてダビングする場合、HG、HX または HE モードになります。
※4 ディスクに容量を越えてダビングする場合、FR モードになります。
●10～2、表示のある番組は、-R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングできません。

番組をダビングする（つづき）

おまかせダビングについて

操作方法 ➜18「ダビングしよう！」

ダビングする画質

挿入されたディスクの記録方式を自動的に判別し、画質を設定します。
-RW はハイビジョン画質を選択できません。(画質の表示もされません)

ブルーレイディスクは… ➜ 標準画質 ハイビジョン画質 どちらもダビングできます。
(画質は表示されません)

DVDが…
- **VR方式/ビデオ方式** ➜ 標準画質
- **AVCREC方式** ➜ ハイビジョン画質
- **未フォーマット** ➜ 標準画質 ハイビジョン画質 選択できます。

画質を選択する
●未フォーマットの RAM -R -R DL

青 または 赤 を押す　標準画質 ⟷ ハイビジョン画質

未フォーマットのディスクの自動フォーマット（記録方式の設定）

未フォーマットのディスクは自動的にフォーマットします。
また DVD の場合、以下のように記録方式を設定します。

ダビングする画質	ダビングする番組とディスク		設定される記録方式
標準画質	●-R -R DL -RW にダビングするとき、ダビングするすべての番組に 10 ～ 2 、 が表示されていない	➜	ビデオ方式
	●ダビングする番組に 10 ～ 2 、 が表示されている番組を 1 つでも含んでいる	➜	VR 方式
ハイビジョン画質		➜	AVCREC 方式

ダビング時の動作

ダビングする番組		ダビング先ディスク	ダビング先ディスクの記録方式	ダビング時の動作：ダビング速度	ダビング時の動作：録画モード
HD 表示のある番組	DR モード	ブルーレイディスク	―	高速※1	そのまま※1
		DVD	AVCREC	1 倍速	残量に合わせてHG、HX、HE ※2
			VR、ビデオ	1 倍速	FR
	HG、HX、HE モード	ブルーレイディスク	―	高速※3	そのまま
		DVD	AVCREC	高速※3	そのまま
			VR、ビデオ	1 倍速	FR
HD 表示のない番組	表示のある番組	ブルーレイディスク	―	1 倍速	FR
		DVD	AVCREC	ダビングできません	
			VR、ビデオ	高速※4	そのまま
	表示のない番組	ブルーレイディスク	―	1 倍速	FR
		DVD	AVCREC	ダビングできません	
			VR	高速※4	そのまま
			ビデオ	1 倍速	FR

※ 1　ディスクの容量を越えてダビングする場合や、HG、HX、HE モードの番組とまとめてダビングし残量が足りない場合は、残量に合わせて「HG」「HX」「HE」モードの中から 1 つを選び、1 倍速でダビングします。
※ 2　HG、HX、HE モードの番組とまとめてダビングする場合、残量に合わせて「HG」「HX」「HE」モードの中から 1 つを選び、ダビングします。
※3　**初期設定**「HG ～ HE のディスク記録音声」**(➜92)**が「固定」の場合、1 倍速(録画モードはそのまま)になります。
※4　HD 表示のある番組とまとめてダビングする場合や、-R(V) -R DL(V) -RW(V) に 表示のない番組とまとめてダビングすると、1 倍速(FR モード)になります。

●RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW に容量を超えてダビングする場合、1 倍速(FR モード)になります。
●10 ～ 2 、 表示のある番組は、-R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングできません。

FR モードでのダビング
ディスクの容量を使い切るように「XP」～「EP」の中から自動的に最適な画質でダビングします。ダビングしたディスクは残量がなくなる場合があります。

●-RW(VR) ファイナライズ後のディスクでも、自動的に「ファイナライズ解除」(➜81)を行ってダビングします。

ダビングの便利な機能

番組の内容や並び替えなど

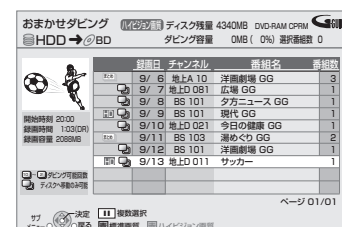
おまかせダビング

詳細ダビング

おまかせダビング画面上またはリスト作成画面上で

1 [▲][▼]で番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す（→ 下記へ）

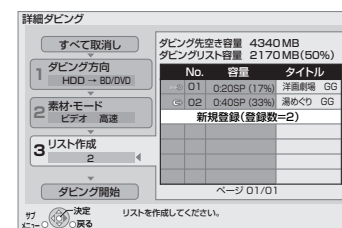
例）おまかせダビング

項目	説明
内容確認	●選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどを表示します。 （番組に ☑ が付いているときはできません）
並び替え ●全番組表示時のみ HDD	●表示順を変更します。（番組に ☑ が付いているときはできません） ●おまかせダビングでは、画面を消すと取り消されます。 ●詳細ダビングでは、画面を消すか、リスト登録画面の「リスト作成」に戻ると取り消されます。
まとめ表示へ 全番組表示へ HDD	●まとめ表示と全番組表示を切り換えます。 （番組に ☑ が付いているときはできません）
標準画質 おまかせダビング	●未フォーマットの RAM -R -R DL は、ダビングする画質を選択できます。 **[▲][▼]で「標準画質へ切換」を選び、[決定]を押す**
ハイビジョン画質 おまかせダビング	●未フォーマットの RAM -R -R DL は、ダビングする画質を選択できます。 **[▲][▼]で「ハイビジョン画質へ切換」を選び、[決定]を押す**

リスト登録時の便利機能

詳細ダビング

リスト登録画面上で

1 [▲][▼]で番組や写真を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す（→ 下記へ）

項目	説明
リスト全消去	リストに登録されている番組や写真をすべて消去します。
追加	選んだ項目の上に新しい項目を追加します。 [▲][▼]([◀][▶])で追加する番組や写真を選び、[決定]を押してください。
消去	選んだ項目を消去します。
移動	選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。 [▲][▼]で移動先を選び、[決定]を押してください。 （「写真」ではできません）
リスト項目の入れ替え	リスト登録画面上で **① [▲][▼]で番組や写真を選び、[決定]を押す** **② [▲][▼]([◀][▶])で新たに登録したい番組や写真を選び、[決定] を押す**
登録されたリストや設定を一度に取り消す すべて取消し	リスト登録画面上で **① [▲][▼][◀][▶]で「すべて取消し」を選び、[決定]を押す** **② [◀][▶] で「はい」を選び、[決定]を押す** ●設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。 ・ダビング元で番組や写真の記録、消去などをしたとき ・ディスクトレイを開ける、電源を切る、SDカードを取り出したとき

番組をダビングする（つづき）

詳細ダビング

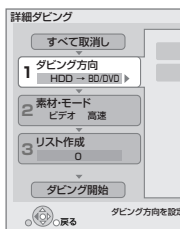
ダビング方向：

HDD → BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) → HDD

準備 ●ダビング可能なディスクを入れる。
●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。（➔78）

1 停止中に、 を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定を押す

基本操作 ①選び ②決定する

4 項目を選び、[▶]を押す（➔右記へ）

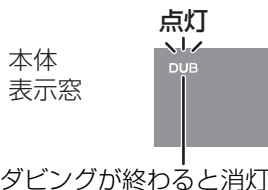
5 「ダビング開始」を選び、決定を押す

6 「はい」を選び、決定を押す

本体表示窓

ダビングが終わると消灯

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビング中にテレビの視聴やHDDの録画・再生をするには

（高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ）

決定 を押して確認画面を消したあと、視聴や録画・再生の操作をする

●[画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

例）

チャンネルが表示されたら録画や再生ができます。

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

●ファイナライズ中は中止できません。
（➔109「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？」）

何から何にダビング？

1 ダビング方向

ダビング素材の設定／録画モードの設定

2 素材・モード

●録画モードについて（➔98）

ダビングする番組を選ぶ

3 リスト作成

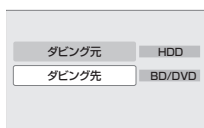
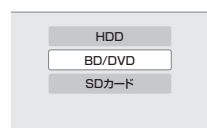
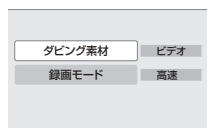
ファイナライズ

4 詳細設定

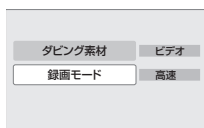
（-R(V) -R(AVCREC) -R DL(V) -R DL(AVCREC) -RW(V) へダビングするときのみ）

画面表示の例) ダビング元に「HDD」、ダビング先に「BD/DVD」を選んだとき

「ダビング元」を選び、決定を押す

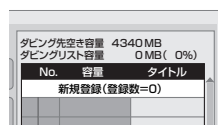
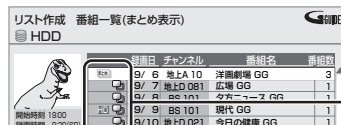
ダビング元を選び、決定を押す

「ダビング先」を選び、決定を押す

ダビング先を選び、決定を押す

「ダビング素材」を選び、決定を押す

「ビデオ」を選び、決定を押す

「録画モード」を選び、決定を押す

録画するモードを選び、決定を押す

●ディスクによって選べる録画モードは異なります。
(➜103「高速でダビングできないのはどんな場合？」)

表示マーク(➜130)

「新規登録」を選び、決定を押す

番組を選び、一時停止を押す

●☑が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
●挿入されているディスクにダビングできる番組のみ明るく表示します。

選択を取り消すには
番組を選び、[❚❚ 一時停止]を押す

すべてを選んだあと、決定を押す

ダビングの便利な機能(➜55)

●高速モードで BD-RE BD-R にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。
●高速モードで -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングする場合、▶▶◎ 表示のある番組のみ登録できます。
● RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。
初期設定「HG～HEのディスク記録音声」(➜92)が「固定」のとき、HG、HX、HEモードの番組を高速モードでダビングできません。

「ファイナライズ」を選び、決定を押す

「入」または「切」を選び、決定を押す

●「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ(➜126)を行います。記録や編集をすることはできなくなります。

[◀]を押す
(➜56 手順4へ戻る)

お知らせ

●**ダビングリスト容量について**(ダビング先に記録される容量)
・1倍速の場合は、録画モードによって変化します。
・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。
●当社製DVDビデオカメラで撮影した映像をHDDにダビングすると、撮影した日付単位で1番組になります。
●1 倍速でダビングを開始すると、約 2 分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。
●HDD やディスクの番組を SD カードにダビングすることはできません。

番組をダビングする(つづき)

ファイナライズ後のディスク(DVD ビデオ)をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

ダビング方向: DVD-V (ファイナライズ後の -R(V) -R DL(V) -RW(V)、+R、+ R DL、+RW) ➡ HDD

トップメニュー画面の操作もそのまま記録されます。

ダビング中、不要な番組などはスキップ(➜43)で飛び越すことができます。

準備
- ディスクを入れる。

お知らせ
- **市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- ダビングを開始すると、約2分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

ダビングを実行中に中止 / 終了するには
[戻る] を3秒以上押す

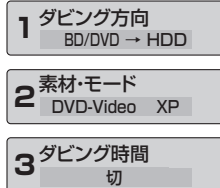
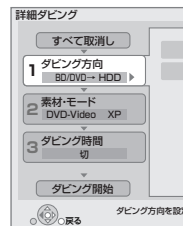
1 停止中に、 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 「詳細ダビング」を選び、[決定]を押す

4 項目を選び、[▶]を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」(➜56)をご覧ください。

1 ダビング方向 BD/DVD → HDD
2 素材・モード DVD-Video XP
3 ダビング時間 切

以下のように設定してください。
- **「ダビング方向」**:「ダビング元」➜「BD/DVD」
- **「素材・モード」**:「ダビング素材」➜「DVD-Video」
  :「録画モード」を選ぶ
  (「高速」「HG」「HX」「HE」「FR」は選べません)
- **「ダビング時間」**:ダビング時間を設定する(➜59)

5 「ダビング開始」を選び、[決定]を押す

6 「はい」を選び、[決定]を押す

終了するまでが 1 番組になります。
(8時間を超える場合は、8時間ごとに 1 番組になります)

- 最初に右記の画面がダビングされます。
- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までHDDにダビングを続けます。

7 ダビングしたい番組の再生を始める

トップメニューが表示された場合は
番組を選び、[決定]を押す

好みの番組を再生するには
① [再生ナビ] を押す
② 番組を選び、[決定] を押す

ディスクの再生が始まらない場合は
① [▶ 再生] を押す
② (トップメニューが表示されたら)
番組を選び、[決定] を押す

月曜ドラマ 01/02
01 第1話 | 02 第2話
03 第3話 | 04 第4話
05 第5話 | 06 第6話
07 第7話 | 08 第8話
◀前ページ 再生に戻る 次ページ▶

ダビング時間の設定

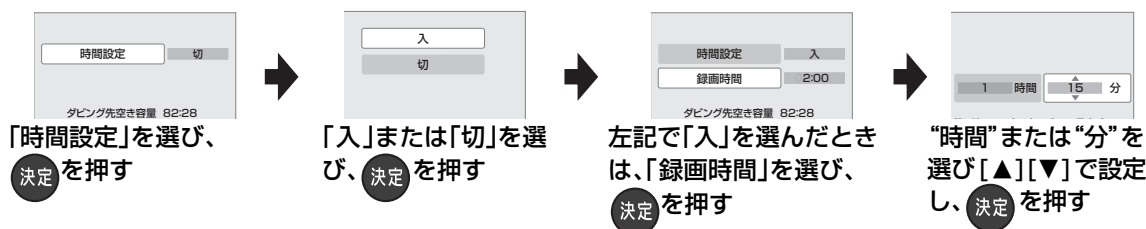
ダビング時間

(58 ページ手順4のあと)

「時間設定」を選び、決定を押す

「入」または「切」を選び、決定を押す

左記で「入」を選んだときは、「録画時間」を選び、決定を押す

"時間"または"分"を選び[▲][▼]で設定し、決定を押す

●再生を始めるまでの操作時間も含むため、ダビングしたい番組より数分長めに設定してください。

「時間設定」を「切」にしたときは
HDD の容量がなくなるまでダビングを続けます。

手順5で ディーガがしゃべる!

SDカードのMPEG2動画をダビングする

当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画をダビングできます。
ダビング方向：SD(MPEG2) ➜ HDD RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

準備
●DVDにダビングする場合、DVD を入れる。
●DVD にダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜78)

お知らせ

●ダビングすると、撮影した日付単位で1番組になります。
●SDカードにあるMPEG2動画をそのまま本機で再生することはできません。
●ダビング中は、録画や再生はできません。

前の画面に戻るには
戻る を押す

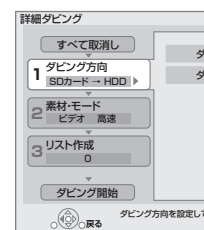
ダビングを実行中に中止するには
戻る を3秒以上押す

(➜109「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる?」)

1 停止中に、SD カードを入れる

2 「ビデオ(MPEG2)を取込」を選び、決定を押す

3 項目を選び、[▶]を押す

●操作方法は「詳細ダビング」(➜56)をご覧ください。

以下のように設定されているかご確認ください。
・**「ダビング方向」**：「ダビング元」➜「SDカード」
・**「素材・モード」**：「ダビング素材」➜「ビデオ」
・録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。

●SDカード内にあるMPEG2動画は、自動的にダビングリストへ登録されます。

4 「ダビング開始」を選び、決定を押す

5 「はい」を選び、決定を押す

ビデオやビデオカメラからダビングする

接続　外部入力

接続時、本機と接続機器の電源を切ってください。

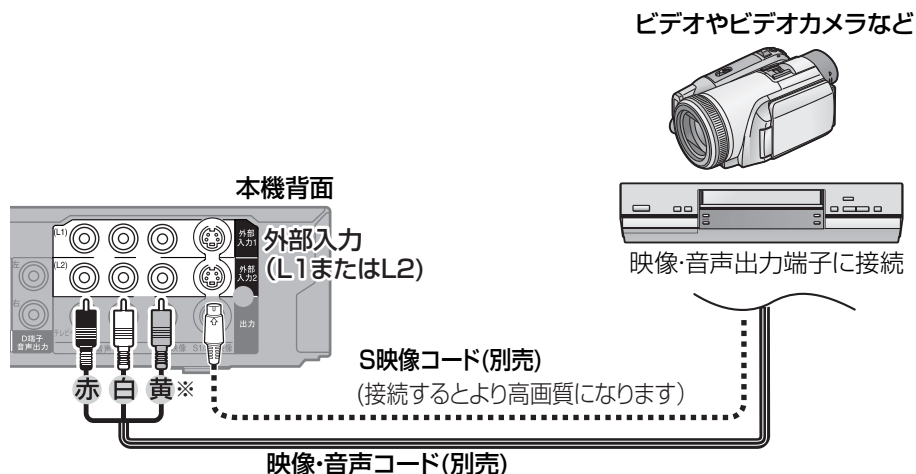
ビデオやビデオカメラなど

本機背面

外部入力
(L1またはL2)

映像･音声出力端子に接続

S映像コード(別売)
(接続するとより高画質になります)

赤 白 黄※

映像･音声コード(別売)

※S映像コードを接続するときは、映像コード(黄)を抜いてください。

二重放送の音声を入力するときは
106ページ「多重音声の記録について」をご覧ください。

外部機器の音声出力端子がモノラルのときは
- ステレオ⟷モノラルの映像･音声コード(別売)をお使いください。

接続した機器を再生してダビング HDD

外部入力(L1)取込機能を使ってダビング
外部入力(L1)取込

BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -RW(VR) -RW(V)
- 外部入力 (L1) 端子に接続したときのみ

お知らせ

- 「外部入力(L1)取込」中は
  - ･予約録画が始まると、ダビングを中断します。
  - ･追っかけ再生、同時録画再生、放送 / 入力切換はできません。
- ディスクにダビング中に停電などが発生した場合は、ダビング中の映像･音声はすべて記録されません。
- RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) へはダビングできません。

- 本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)
- [HDD]を押して、「HDD」を選ぶ。

1 入力切換(リモコン下部)を押して、外部機器を接続した端子(L1、L2)を選ぶ

2 録画モード(ふた内部)を押して、録画モード(➔98)を選ぶ
- 「DR」「HG」「HX」「HE」「FR」は選べません。

3 接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、**(ふた内部)を押す**

録画を一時停止するには

を押す
- もう一度押すと、録画を再開します。

録画を止めるには

を押す

前の画面に戻るには

を押す

ぴったり録画をする(➔27)

- 本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)
- [BD/SD]を押して「BD」を選ぶ。

1 本機の停止中に、**を押す**

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼]で「外部入力(L1)取込」を選び、決定を押す
- 録画準備のため、次の画面が表示されるまでに数十秒かかる場合があります。

4 [◀][▶]で"時間"または"分"を選び、[▲][▼]で録画時間を設定する
- [1]～[10/0]も使えます。

5 接続した機器で再生を始め、[◀][▶]で「録画開始」を選び、決定を押す

録画の残り時間を確認するには(➔27)

画面表示を押す

録画を止めるには

を押す

前の画面に戻るには

戻るを押す

- 録画モードは「FR」になります。
- -R(VR) -R(V) 手順3あるいは記録や編集を約30回行うと記録できなくなる場合があります。
- -R(V) -RW(V) ダビング後にファイナライズ(➔81)を行うと、自動的に約5分ごとのチャプターを作成します。

CATV（ケーブルテレビ）から本機に録画する

本機とホームターミナル / セットトップボックス(以下、CATV と表記)を接続して、CATV で受信した番組を録画することができます。

接続

お知らせ

- Ir システムを使って予約録画をする場合、本機側との予約が重ならないように設定することをお勧めします。
- CATV からコピー制限のある番組を録画する場合、「1 回だけ録画可能」な番組として録画されます。
- **BD-RE** **BD-R** 外部入力端子(「L1」、「L2」)に接続した CATV からコピー制限のある番組を録画する場合、著作権保護の規定があるため、直接録画できません。また、HDD に録画した番組をダビングすることもできません。
  CPRM 対応の **RAM(VR)** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **-RW(VR)** をお使いください。

1 [入力切換](リモコン下部)を押して、CATV を接続した端子(「L1」など)を選び、CATV でチャンネルを選ぶ

2 (ふた内部)を押して、録画モード(➔98)を選ぶ

3 (ふた内部)を押す

録画を一時停止するには

を押す

- もう一度押すと、録画を再開します。

録画を止めるには

を押す

- 本機の予約録画が始まると、録画は中断されます。

1 CATV 側の設定をする

- 「リモコン種別」の「DVD レコーダー(1、2…)」を本機が、動作する番号に合わせてください。

2 本機の設定をする

連動予約のとき

① [HDD] を押して、「HDD」を選ぶ
② [入力切換] (リモコン下部)を押して、接続した外部入力端子(「L1」または「L2」)を選ぶ
③ [録画モード] を押して、録画モードを選ぶ(➔98)
④ 本機の電源を切る

タイマー予約のとき

- 本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に"ACCEPT"が表示されます。
- 登録後、予約内容を確認してください。

予約時刻になると、録画が実行されます。

- タイマー予約は、本機の予約一覧に登録されます。(➔38)
  連動予約は登録されません。
- 本機が動作中に予約を行うと正しく登録されない場合があります。
- お使いの機器によっては、タイマー予約ができない場合があります。

連動予約時のみ

- 本機の予約録画が始まると、録画は中断されます。
- 録画中に本機の操作を行うと、中断する場合があります。
- 番組の先頭部分が録画されない場合があります。録画開始時間を多少早めに設定しておくことをお勧めします。

- CATV 側で予約設定したあと、「時間指定予約」で予約してください。(➔37)
  - 「放送種別」は「外部入力」に設定してください。
  - 「チャンネル」は「L1」または「L2」に設定してください。

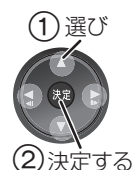
ハイビジョンビデオカメラの動画の再生・取り込み

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影し、ハイビジョン動画(AVCHD) が記録されたディスク・SD カードの再生や取り込みができます。

- AVCHD:
  ・AVCHD の動画が記録された SD RAM -R -R DL -RW、+R、+R DL、+RW(RAM 以外はファイナライズしたディスクのみ)
  ・他機器でハイビジョンムービーの動画を記録した BD-RE BD-R
- ハイビジョンムービーの動画とハイビジョン画質の番組が混在したディスクの場合、**初期設定**「ハイビジョンムービー優先モード」を「入」にしてください。(➜92)

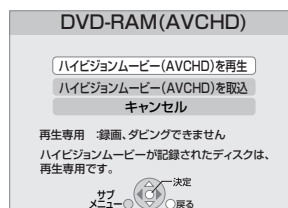
ハイビジョン動画(AVCHD)を再生する

お知らせ

- ディスクによっては複数のタイトルを連続再生できません。[**再生ナビ**] を押して、タイトルを選んで再生してください。
- 再生中に、部分削除など編集された映像のつなぎ目で数秒間画像が静止することがあります。
- SD 録画中は、再生できません。

1 ディスクまたは SD カードを入れる

2 「ハイビジョンムービー(AVCHD) を再生」を選び、決定 を押す

例) RAM

DVD-RAM(AVCHD)
ハイビジョンムービー(AVCHD)を再生
ハイビジョンムービー(AVCHD)を取込
キャンセル
再生専用 :録画、ダビングできません
ハイビジョンムービーが記録されたディスクは、再生専用です。
サブメニュー 決定 戻る

例) SD

- 再生するディスクや SD カードのトップメニューが、
  ・作成されている場合　:トップメニュー画面を表示
  ・作成されていない場合　:再生ナビ画面を表示※
  ※撮影した機器によっては、再生ナビ画面を表示できない場合があります。

3 タイトルを選び、決定 を押す

トップメニューを表示させるには
[**再生ナビ**] を押す

トップメニューや再生ナビが表示されないときは
「ダイレクト再生」(➜44)を使って再生してください。

再生中のいろいろな操作(➜43 ～ 45)

ハイビジョン動画(AVCHD)を取り込む

ダビング方向：AVCHD (AVCHD が記録されたディスク) ➡ HDD
SD (AVCHD が記録された SD カード) ➡ HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)

お知らせ

- 取り込み中は録画、再生または予約録画の実行はできません。
- RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW には取り込めません。
- 256以上のシーンが含まれているタイトルは取り込めません。
- 取り込んだ動画は、再生ナビのチャンネル欄に「AVCHD」と表示されます。
- ハイビジョンビデオカメラでの撮影状態によっては、同じ日に撮影されたシーンでも、別々のタイトル(日付に「-1」、「-2」などを表示)となる場合があります。
  詳しくは、撮影した機器の取扱説明書をご覧ください。

取り込みを中止するには
[戻る]を3秒以上押す

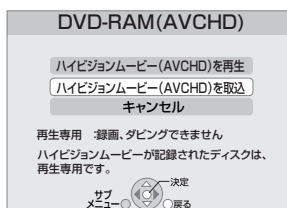
ディスクに取り込んだ動画を他の機器で再生するには

- SDカードから直接取り込んだDVDの場合は、機器がそのディスクのAVCREC方式に対応している必要があります。
- 他の機器で再生できない場合は、一度HDD に取り込んだあと、詳細ダビング(➜56)で録画モードを「XP」～「EP」、「FR」にしてディスクにダビングしてください。ただし、画質は標準画質になります。

1 ディスクまたは SD カードを入れる

2 「ハイビジョンムービー(AVCHD) を取込」を選び、[決定]を押す

例) RAM

DVD-RAM(AVCHD)
ハイビジョンムービー(AVCHD)を再生
ハイビジョンムービー(AVCHD)を取込
キャンセル
再生専用　:録画、ダビングできません
ハイビジョンムービーが記録されたディスクは、再生専用です。
サブメニュー　決定　戻る

例) SD

3 SD カードから取り込む場合:
「HDD へ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、[決定]を押す

4 タイトルを選び、[❚❚ 一時停止]を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返します。
- 撮影した日付単位でタイトルとして表示されます。

選択を取り消すには
タイトルを選び、[❚❚ 一時停止] を押す

5 すべてを選んだあと、[決定]を押す

6 「ダビング開始」を選び、[決定]を押す

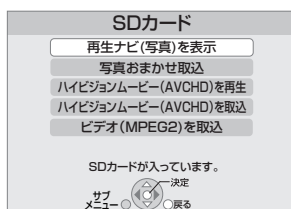
- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

写真(JPEG)を再生する

HDD BD-RE RAM CD SD

- CD パソコンなどで写真(JPEG)を記録したCD-R、CD-RWが再生できます。

準備
- ディスクまたはカードを入れる。
- [HDD] または [BD/SD] を押して、ドライブを選ぶ。

SD
停止中にSDカードを入れると、下記画面が表示されます。
「再生ナビ(写真)を表示」を選び、[決定]を押すと、右記の手順3に進むことができます。

- 表示される項目は SD カードに記録されている内容によって異なります。

お知らせ
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯が表示される場合があります。
- RAM 他の機器で記録した写真の場合、「日付別一覧」に表示されない場合があります。そのときは、「アルバム一覧」を表示してください。
- 録画中やダビング中は写真の再生はできません。

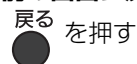
再生を止めるには

を押す
- 止めた写真の位置を一時的に記憶します。ただし、以下の場合は解除されます。
  - ・CD SD 電源を切る、または取り出したとき
  - ・BD-RE RAM 取り出したとき

前の画面に戻るには

戻る を押す

再生ナビ画面を消すには

を押す

AVCHD の動画が記録されたディスクの写真を再生するには

[操作一覧]を押して、「写真を見る」を選ぶ
(➜ 右記手順 2 へ)
- 再生のみできます。編集はできません。

1 停止中に、再生ナビを押す

HDD BD-RE RAM

「写真」が表示されないときは
[赤] を押す

表示方法を切り換えるには
本機では、SD カードから写真を取り込んだ場合、日付別にまとめて表示します。この中から好きな写真をアルバムにまとめて表示することができます。
① [サブ メニュー] を押す
② 「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定] を押す

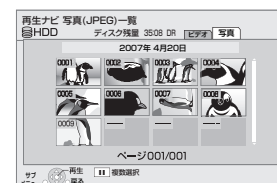
SD CD「写真(JPEG)一覧」が表示されます。(➜ 手順 3 へ)

2 日付またはアルバムを選び、決定を押す

例) HDD

- [決定] の代わりに [▶ 再生] を押すとスライドショーが始まります。

3 写真を選び、決定を押す

例) HDD

写真再生のいろいろな機能

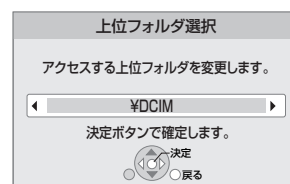
フォルダの切り換え
（本機で表示されるフォルダ構造例➜127）

BD-RE **RAM** （「アルバム一覧」表示時に、上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合のみ）

1 「アルバム一覧」画面で、サブメニュー(S)を押す

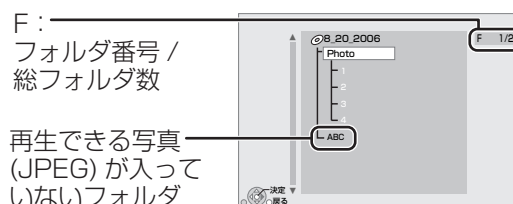
2 [▲][▼]で「上位フォルダ選択」を選び、(決定) を押す

3 [◀][▶]でフォルダを選び、(決定) を押す

上位フォルダ選択
アクセスする上位フォルダを変更します。
¥DCIM
決定ボタンで確定します。
決定
戻る

CD

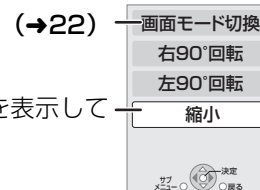
1 「写真 (JPEG) 一覧」画面で、サブメニュー(S)を押す

2 [▲][▼] で「フォルダ選択」を選び、(決定) を押す

3 [▲][▼][◀][▶]でフォルダを選び、(決定) を押す

☞ **メニュー画面に戻るには**
[戻る] を押す

画像の回転、縮小
●スライドショー再生中はできません

1 写真を再生中に、サブメニュー(S)を押す

●ビエラリンク (HDMI)(➜82)をお使いの場合は、「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

2 [▲][▼]で項目を選び、(決定) を押す

画素数の小さい写真を表示しているときのみ

☞ **回転を元に戻すには**
[サブ メニュー] を押して逆方向の回転を選び、[決定] を押す

☞ **縮小を元に戻すには**
[サブ メニュー] を押して「拡大」を選び、[決定] を押す

お知らせ

●以下の場合、写真の回転の情報は保持されません。
・**CD** の写真
・プロテクトがかかったディスクやカード
・他の機器での再生時
・写真のダビング時
●再生ナビ画面表示中にSDカードを取り出すと、回転の情報が正しく保持されない場合があります。
●縮小の情報は保持されません。

写真情報の表示

写真を再生中に、[画面表示](ふた内部)を2回押す

☞ **情報表示を消すには**
[画面表示] を押す

例) **HDD**

フォルダ- 写真No.	115-0001		
撮影日	2008/ 4/ 1	枚数	1/10

情報がない場合「----/--/--」と表示されます。

再生中に前後の写真を見る

[◀][▶]を押す

写真（JPEG）を再生する

写真

写真再生のいろいろな機能 (つづき)

<table>
<tr><td rowspan="5">写真を連続して再生(スライドショー)</td><td colspan="3">HDD BD-RE RAM :「日付別一覧」または「アルバム一覧」
SD CD :「写真 (JPEG) 一覧」
で操作します。
1 HDD BD-RE RAM [▲][▼][◀][▶]で日付またはアルバムを選ぶ
2 サブメニュー(S)を押す
HDD BD-RE RAM [サブ メニュー]の代わりに[▶再生]を押してもスライドショー再生が始まります。
3 [▲][▼]で「スライドショー開始」を選び、(決定)を押す</td></tr>
<tr><td colspan="2">スライドショーの設定を変更する</td><td>上記手順 2 のあと
① [▲][▼]で「スライドショー設定」を選び、[決定] を押す
② [▲][▼] で設定する項目を選ぶ(➜ 下記へ)
③ 設定終了後、[▲][▼][◀][▶]で「確定」を選び、[決定] を押す</td></tr>
<tr><td></td><td>表示間隔
表示間隔</td><td>[◀][▶]で表示間隔を選ぶ
画素数が大きい写真は、次の写真表示までが長くなったり、設定を変更しても、短くならない場合があります。</td></tr>
<tr><td></td><td>写真の表示方法の設定
表示変化</td><td>スライドショー再生中の写真の切り換わりかたを設定します。
[◀][▶]で「ランダム」または「フェード」を選ぶ
●ランダム :順不同にいろいろな表示方法で、写真を切り換えます。
●フェード :フェードインしながら写真を表示し、フェードアウトして次の写真に切り換えます。</td></tr>
<tr><td></td><td>リピート再生
リピート再生</td><td>[◀][▶]で「入」または「切」を選ぶ</td></tr>
</table>

スライドショーを終了するには

戻る を押す

写真(JPEG)を消去する

HDD BD-RE RAM SD

消去すると記録内容が消え、元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

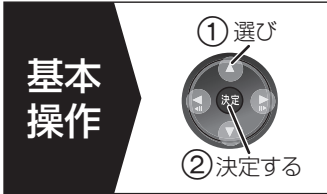
準備 ●[HDD] または [BD/SD] を押して、ドライブを選ぶ。

1 停止中に、 **を押す**

2「消去する」を選び、決定 を押す(➜ 下記へ)

「写真」が表示されないときは
[赤] を押す

例)HDD

[サブ メニュー] を押すと、内容確認やプロテクト解除などが行えます。

<table>
<tr><td rowspan="2">写真を消去</td><td>日付単位・
アルバム単位</td><td>3 日付またはアルバムを選び、一時停止 を押す
● ☑ が表示されます。操作を繰り返します。
選択を取り消すには
日付などを選び、[❚❚一時停止] を押す
4 消去 を押す
5「消去」を選び、決定 を押す</td></tr>
<tr><td>写真単位</td><td>3 HDD BD-RE RAM
日付またはアルバムを選び、決定 を押す
4 写真を選び、一時停止 を押す
● ☑ が表示されます。操作を繰り返します。
選択を取り消すには
写真を選び、[❚❚一時停止] を押す
5 決定 を押す
6「消去」を選び、決定 を押す</td></tr>
</table>

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

写真(JPEG)を編集する

HDD BD-RE RAM SD

●写真単位、日付単位またはアルバム単位で編集することができます。
●CD-RやCD-RWに記録された写真は編集できません。

準備 ●[HDD] または [BD/SD] を押して、ドライブを選ぶ。

日付単位またはアルバム単位で編集する

HDD BD-RE RAM

基本操作 ①選び ②決定する

1 停止中に、[再生ナビ]を押す

HDD BD-RE RAM

☞**「写真」が表示されないときは**
[赤] を押す

☞**表示方法を切り換えるには**
① [サブ メニュー]を押す
② 「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定] を押す

2 日付またはアルバムを選び、[サブメニュー]を押す

☞**複数の日付またはアルバムを選択するには**
(「この日付の写真消去」「アルバム消去」「プロテクト設定 / 解除」のみ可能)
日付またはアルバムを選び、[❚❚ 一時停止] を押す操作を繰り返す
● ☑ が表示されます。
もう一度 [❚❚ 一時停止] を押すと解除されます。

3 項目を選び、[決定]を押す(➔右記へ)

この項目を選んだときは、さらに項目を選んで、[決定] を押してください。

☞**前の画面に戻るには**

[戻る] を押す

☞**画面を消すには**

[再生ナビ] を押す

既存のアルバムに写真をコピー
既存アルバムにコピー

新しいアルバムを作成し写真をコピー
新規アルバムにコピー

日付またはアルバム内の写真をすべてHDDまたはBD-REやDVD-RAMへコピー
ディスクへ一括コピー
HDD
HDDへ一括コピー
BD-RE RAM

消去
この日付の写真消去
アルバム消去

日付を変更
日付を変更
●日付別一覧のときのみ

アルバム名を付ける
アルバム名編集
●アルバム一覧のときのみ

誤消去防止の設定/解除
プロテクト設定 / 解除
●アルバム一覧のときのみ

選択した日付またはアルバムを既存のアルバムにコピーします。

4 「コピー開始」を選び、決定 を押す

5 コピー先のアルバムを選び、決定 を押す

- ●プロテクト設定されたアルバムにはコピーできません。

選択した日付またはアルバムを新しいアルバムにコピーします。

4 「コピー開始」を選び、決定 を押す

5 （コピー終了後）

「はい」または「いいえ」を選び、決定 を押す

「はい」のときには

アルバム名を付けます。(➜86)

「いいえ」のときには

アルバムの 1 枚目の写真の撮影日が、自動的にアルバム名になります。
(撮影日情報がない場合は、「撮影 :---- 年 -- 月 -- 日」になります)

「コピー開始」を選び、決定 を押す

コピー先について

●「日付別一覧」「アルバム一覧」の写真はコピー先でもそれぞれ「日付別一覧」「アルバム一覧」にコピーされます。

消去すると記録内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

「消去」を選び、決定 を押す

● BD-RE RAM 日付やアルバム内にDCF規格以外のファイルがある場合や下位フォルダがある場合は、その日付やアルバム自体は消去されません。

4 年月日を選び、[▲][▼] で設定する

5 決定 を押す

●変更元の日付は残ります。不要な場合は、消去してください。
●変更した日付が、既存の日付の場合、その日付に写真を移動します。

文字入力については(➜86)

●入力したアルバム名は、他の機器では表示されないことがあります。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 を押す

●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
●プロテクトの設定は、他の機器では解除されることがあります。

お知らせ

●コピー中や、「日付を変更」を実行中は予約録画は実行されません。
●上位フォルダに「既存アルバムにコピー」、「新規アルバムにコピー」を実行することはできません。

写真(JPEG)を編集する(つづき)

写真単位で編集する

HDD BD-RE RAM SD

1 停止中に、 **を押す**

HDD BD-RE RAM

写真が表示されないときは
[赤] を押す

表示方法を切り換えるには
① [サブ メニュー] を押す
② 「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定] を押す

SD 「写真(JPEG)一覧」が表示されます。
(➜ 手順 3 へ)

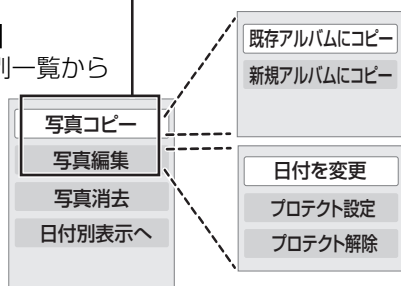
2 日付またはアルバムを選び、決定を押す

3 写真を選び、サブメニューを押す

複数の写真を選択するには
写真を選び、[❚❚ 一時停止] を押す操作を繰り返す
● ☑ が表示されます。
もう一度 [❚❚ 一時停止] を押すと解除されます。

4 項目を選び、決定を押す(➜右記へ)

この項目を選んだときは、さらに項目を選んで、[決定] を押してください。

例) HDD
日付別一覧から

項目	内容
既存のアルバムに写真をコピー 既存アルバムにコピー HDD BD-RE RAM	選択した写真を既存のアルバムにコピーします。 **操作方法は(➜70)**
新しいアルバムを作成し写真をコピー 新規アルバムにコピー HDD BD-RE RAM	選択した写真を新しいアルバムにコピーします。 **操作方法は(➜70)**
日付を変更 日付を変更 HDD BD-RE RAM ●日付別一覧のときのみ	●変更した日付が、既存の日付の場合、その日付に写真を移動します。 ●変更した日付が、新規の日付の場合、新しい日付を作成し、写真を移動します。 **操作方法は(➜70)**
消去 写真消去	**操作方法は(➜70)**
誤消去防止の設定 / 解除 プロテクト設定 / 解除	**操作方法は(➜70)**
プリンターや写真店でプリントする枚数の設定 DPOF プリント設定 SD	カードに残量がない場合は設定できません。 **[◀][▶] で枚数を選び、決定を押す** ● が表示されます。 ●設定は他の機器で表示されない場合があります。 ●設定すると、他の機器での設定は解除されます。 **設定を解除するには** 「0枚」に設定する

前の画面に戻るには
 を押す

画面を消すには
 を押す

お知らせ
●コピー中や、「日付を変更」を実行中は予約録画は実行されません。

SDカードの写真(JPEG)を取り込む

SD ➔ HDD

取り込んだSDカードの情報を保持しているため、同じカードから、複数回取り込むと、新たに追加された写真(JPEG)のみを取り込みます。

お知らせ

- 同じ写真をもう一度取り込みたい場合は、「詳細ダビング」(➔74)を行ってください。
- SDカードの情報は、カード30枚分と1枚のカードにつき写真12000枚分を保持します。それ以上になると古い情報から削除します。
- プリント枚数の設定(DPOF)は取り込みされません。
- HDDの容量や、ファイルやフォルダの数(➔136)が最大数になった場合は、途中で取り込みを中止します。
- 取り込み中は予約録画は実行されません。

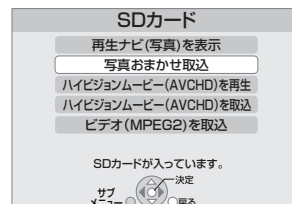
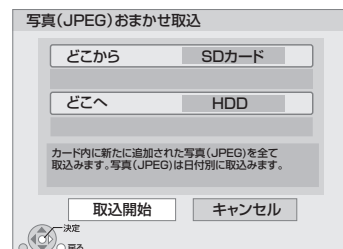
前の画面に戻るには

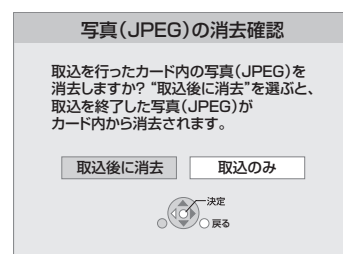
戻る を押す

取り込みを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

1 停止中に、SDカードを入れる

2 「写真おまかせ取込」を選び、決定を押す

3 「取込開始」を選び、決定を押す

- カードの誤消去防止設定(プロテクト)を
  していた場合　:取り込みを始めます
  していない場合:手順4へ

4 「取込後に消去」または「取込のみ」を選び、決定を押す

取込後に消去:取り込みの終わった写真をSDカードから消去します。(プロテクト設定された写真は消去しません)

取込のみ:写真は消去しません。

- 写真は、撮影日時に基づいて日付別に分類されます。撮影日時のデータがない写真は作成された日を使用して分類されます。
- 再生ナビの「日付別一覧」で、新たに追加された写真のある日付には、NEW を表示します。

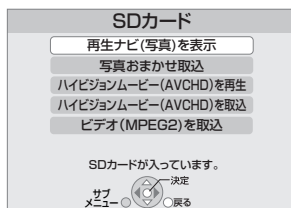
写真(JPEG)をダビングする

HDD BD-RE RAM SD

●CD-RやCD-RWに記録された写真はダビングできません。

SD

停止中にSDカードを入れると、下記画面が表示されます。

[戻る]を押して、画面を消してください。

●表示される項目はＳＤカードに記録されている内容によって異なります。

お知らせ

●ダビング先の容量や、ファイルやフォルダの数(➜136)が最大数になった場合は、途中でダビングを中止します。
●(アルバム単位のダビングの場合)ダビング元のアルバム名が入力されていないとき、ダビング先ではアルバム名の番号が変わることがあります。ダビング前にアルバム名を入力することをお勧めします。
(➜70「アルバム名編集」)
●プリント枚数の設定(DPOF)はダビングされません。
●SD からダビングする場合、写真は撮影日時に基づいて日付別に分類されます。撮影日時のデータがない写真は、作成された日を使用して分類されます。
●ダビング中は予約録画は実行されません。

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

詳細ダビング

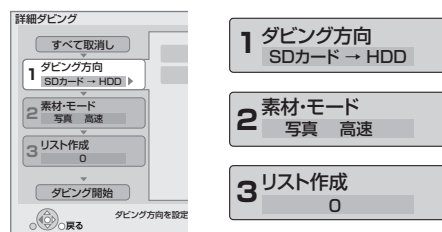
ダビング方向：HDD➡BD-RE RAM SD、BD-RE RAM➡HDD SD、SD➡HDD BD-RE RAM

準備 ●BD-RE、DVD-RAMまたはSDカードを入れる。

1 停止中に、 **を押す**

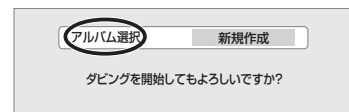
2 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定を押す

4 項目を選び、[▶]を押す(➜右ページへ)

5 「ダビング開始」を選び、決定を押す

●HDD➡BD-RE RAM、BD-RE RAM➡HDD

[写真単位(アルバム)のダビングの場合]

別のアルバムをダビング先に指定できます。

① 「アルバム選択」を選び、[決定]を押す
② アルバムを選び、[決定]を押す

6 「はい」を選び、決定を押す

ダビング先について

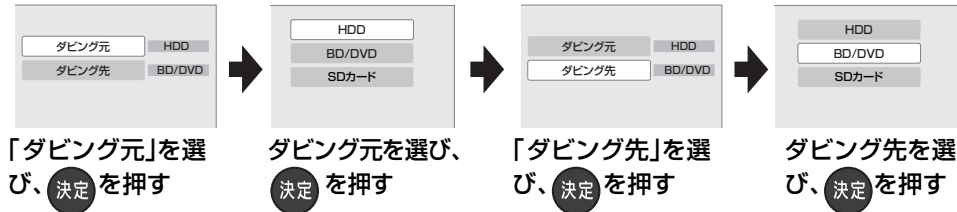
●HDD➡BD-RE RAM、BD-RE RAM➡HDD
・[写真単位(日付)、日付単位のダビングの場合]
ダビング先：日付別一覧
・[写真単位(アルバム)、アルバム単位のダビングの場合]
ダビング先：アルバム一覧

●SD➡HDD BD-RE RAM
ダビング先：日付別一覧

画面表示の例)ダビング元に「HDD」、ダビング先に「BD/DVD」を選び、写真をダビングするとき

何から何にダビング？
1 ダビング方向

「ダビング元」を選び、決定を押す → ダビング元を選び、決定を押す → 「ダビング先」を選び、決定を押す → ダビング先を選び、決定を押す

ダビング素材の設定
2 素材・モード

「ダビング素材」を選び、決定を押す → 「写真」を選び、決定を押す

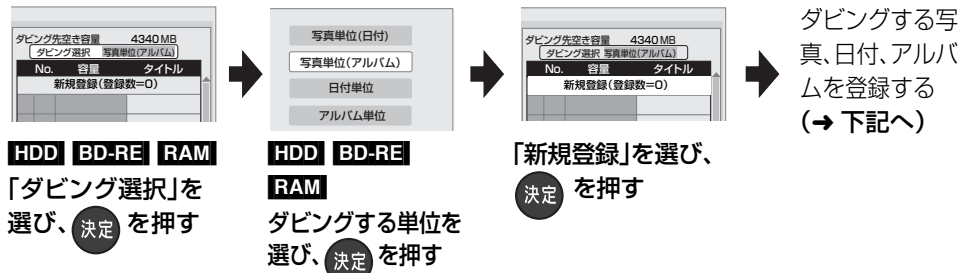
●録画モードは自動的に「高速」になり、変更できません。

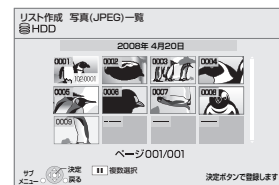
ダビングする写真を選ぶ
3 リスト作成

HDD BD-RE RAM
「ダビング選択」を選び、決定を押す

HDD BD-RE RAM
ダビングする単位を選び、決定を押す

「新規登録」を選び、決定を押す

ダビングする写真、日付、アルバムを登録する
(➜ 下記へ)

● SD からダビングする場合は、「ダビング選択」はできません。写真単位で登録します。

写真単位(日付 / アルバム)で登録するときは

写真を選び、一時停止を押す

●☑が表示されます。操作を繰り返します。
すべてを選んだあと、決定を押す

HDD BD-RE RAM 別の日付 / アルバムの写真を選ぶには

① [サブ メニュー]を押す
② 「日付選択」または「アルバム選択」を選び、[決定]を押す
・BD-RE RAM 上位フォルダを切り換えるには(➜ 下記)
③ [▲][▼][◀][▶]で日付またはアルバムを選び、[決定]を押す

HDD BD-RE RAM 日付単位 / アルバム単位で登録するときは

リスト作成 日付別一覧
HDD
001 2008年 8月19日 枚数 19
002 2008年 4月20日 枚数 9
ページ01/01
決定 戻る ‖ 複数選択 決定ボタンで登録します

日付またはアルバムを選び、一時停止を押す

●☑が表示されます。操作を繰り返します。
すべてを選んだあと、決定を押す

●別々の日付やアルバムの写真を同じリストに登録することはできません。
●登録後は、ダビングする単位を切り換えることはできません。

ダビングの便利な機能(➜55)

[◀]を押す
(➜74 手順4へ戻る)

上位フォルダを切り換えるには BD-RE RAM(本機で認識できる上位フォルダがある場合のみ) ●アルバム一覧のときのみ	① [サブ メニュー]を押す ② 「上位フォルダ選択」を選び、[決定]を押す ③ [◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す ●上位フォルダの異なるアルバムを同じリストに登録することはできません。

音楽 CD を再生する

CD

音楽CDを入れる

●自動的に再生が始まります。

別の曲を再生するには

[▲][▼]で再生したい曲を選び、[決定]を押す

再生ナビ画面を表示する / 消すには

[再生ナビ]を押す

●再生ナビ画面を消すと、音楽の再生は停止します。

再生中の曲の経過時間/現在の再生位置/演奏時間

再生中の曲（♪が表示されます）

再生ナビ　曲一覧
CD
0.09　4.09
トラック1
曲数 10曲/総演奏時間 44分24秒

No	曲名	演奏時間
01	トラック1	4分 9秒
02	トラック2	3分58秒
03	トラック3	3分56秒
04	トラック4	4分53秒
05	トラック5	4分52秒
06	トラック6	4分51秒
07	トラック7	5分 4秒
08	トラック8	4分45秒
09	トラック9	4分 5秒
10	トラック10	3分55秒

再生 戻る　青 写真を表示

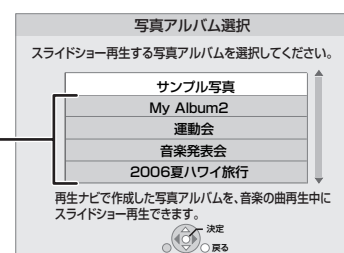
お知らせ

●ダビング中は再生できません。

●**初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➜94)が「入」の場合、再生中に、約10分以上本機の操作を行わなかったときは、写真のスライドショー画面が表示されます。([戻る] を押すと、元の画面に戻ります)

再生中のいろいろな操作

操作	方法	補足
停止	**[停止]を押す**	
一時停止	**[一時停止]を押す**	●もう一度押す、または [▶ 再生] を押すと、再生を再開します。
早送り・早戻し	**[◀◀ サーチ/スロー]または[▶▶ サーチ/スロー]を押す**	●[▶ 再生] で通常再生に戻ります。 ●音声は出ません。
スキップ	再生中または一時停止中に **[⏮ スキップ] または [スキップ ⏭] を押す**	●押した回数だけ曲を飛び越します。
リピート ランダム	**1 [再生設定](ふた内部)を押す** **2 [▲][▼]で「再生」を選び、[▶]を押す** **3 [▲][▼]で「リピート」または「ランダム」を選び、[▶]を押す** **4 [▲][▼]で項目を選ぶ** **リピート**:繰り返し再生の方法を選びます。 ●**切** ●**全曲**:選んだアルバムなどの全曲 ●**1 曲**:選んだ曲のみ **ランダム**:選んだアルバムなどの全曲を、順不同に再生します。 ●**切** ●**入**	
リ. マスター	音声圧縮処理によって欠落したデジタル信号の高音域部分を復元することで、より豊かな音質を楽しめます。 ●音声がひずむ場合、「切」にしてください。 ●再生する内容によっては、効果が現れない場合があります。 **1 [再生設定](ふた内部)を押す** **2 [▲][▼]で「音声」を選び、[▶]を押す** **3 [▲][▼]で「音質効果」を選び、[▶]を押す** **4 [▲][▼]で項目を選ぶ** **リ. マスター標準** **リ. マスター強** **切** ●「サラウンド標準」、「サラウンド強」は表示されますが働きません。 ●HDMI出力や光デジタル出力時は、**初期設定**「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(➜93) (ただし、光デジタル端子に接続時は、2 チャンネルの音声になります)	

写真のスライドショーの表示	**音楽再生中に、青を押す** ●スライドショーが始まります。 ●写真の表示間隔は一定になり、リピート再生します。 **スライドショーを停止するには** [戻る]を押す (音楽を停止したときも、停止します)	
	表示させる写真の変更	本機では、スライドショーで表示させる写真を、あらかじめ内蔵されているサンプル写真または HDD の「アルバム」の写真から選ぶことができます。 ① **スライドショー再生中に、[サブ メニュー]を押す** ② **[▲][▼]で「写真アルバム選択」を選び、[決定]を押す** ③ **[▲][▼]でアルバムなどを選び、[決定]を押す** 写真アルバム選択 スライドショー再生する写真アルバムを選択してください。 サンプル写真 My Album2 運動会 音楽発表会 2006夏ハワイ旅行 再生ナビで作成した写真アルバムを、音楽の曲再生中にスライドショー再生できます。 決定 戻る HDD の「アルバム」を表示 ●写真が 1 枚もないアルバムは表示されません。
テレビの電源を切って音楽の再生を続ける	ビエラリンク (HDMI) 対応のテレビ (ビエラ) とアンプを接続し、ビエラリンク (HDMI) を使っている場合、連動操作をするためテレビ (ビエラ) の電源を切ると本機の電源も切れます。 ただし、接続したテレビ (ビエラ) がビエラリンク (HDMI)Ver.2 または Ver.3 対応の場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。 **1 音楽再生中に、サブメニュー S を押す** **2 [▲][▼]で「TV のみ電源 OFF」を選び、決定を押す** ●テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。 ●テレビから音声を出力しているときに、この操作を行うと、音が出なくなる場合があります。アンプ側から音声が出るようにしてください。	

フォーマットする

そのままでは
本機で記録できない
場合があります。

フォーマット
すると

本機で記録できる
ようになります。

DVD の場合：
フォーマットすることによって、ディスクの記録方式を設定できます。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。
（番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます）

■ ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。

●デジタル放送を記録した DVD を他の機器で再生する場合は、フォーマットする前に **110 ページ**をご覧ください。

ディスクは？	記録方式は？	フォーマットが必要か？	備考
BD-RE BD-R	―	必要	記録方式の設定はありません。 どの番組でも記録できます。
RAM	VR 方式	― （ディスクによる）	市販のディスクでフォーマット済みの場合は、フォーマットを行わずに記録できます。 ●フォーマットが必要な場合は、「標準画質で記録（VR 方式）」を選んで、フォーマットしてください。
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。	
	AVCREC 方式	必要	「ハイビジョン画質で記録（AVCREC 方式）」
-R -R DL	VR 方式	必要	「標準画質で記録（VR 方式）」
	ビデオ方式	不要	フォーマットせずに記録できます。
	AVCREC 方式	必要	「ハイビジョン画質で記録（AVCREC 方式）」
-RW	VR 方式	必要	「VR 方式」
	ビデオ方式	必要	「ビデオ方式」
	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。	

☞ **それぞれの記録方式の特徴は？（➜10）**

お知らせ

● -R -R DL 記録やフォーマットすると記録方式を変更できません。
● RAM -RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
●本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
●CD-R/RW、記録済みのBD-R、DVD-R、DVD-R DL はフォーマットできません。
● HDD フォーマットは、**初期設定**「HDD のフォーマット」（**➜93**）で行ってください。

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-R DL** **-RW** **SD**

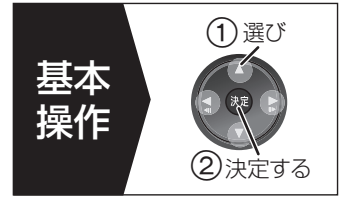
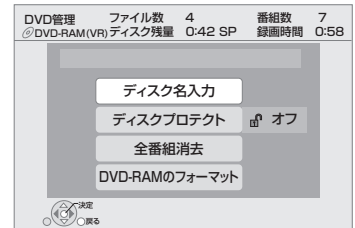
 ●ディスクまたはSDカードを入れる。

1 [BD/SD] を押して、「BD」または「SD」を選ぶ

2 停止中に、 **を押す**

3 「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

4 「BD管理」、「DVD管理」または「カード管理」を選び、(決定)を押す

5 フォーマットの項目を選び、(決定)を押す
(➜下記へ)

例) **RAM**

BD-RE
BD-RE のフォーマット

BD-R
●未使用のディスクのみ

BD-R のフォーマット

6 「はい」を選び、(決定)を押す

7 「実行」を選び、(決定)を押す

DVD-RAM
DVD-RAM のフォーマット

6 記録方式を選び、(決定)を押す

7 「はい」を選び、(決定)を押す

8 「実行」を選び、(決定)を押す

DVD-R
DVD-R DL
●未使用のディスクのみ

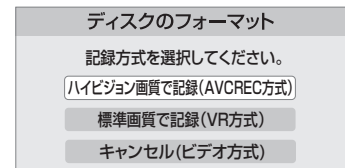
DVD-R のフォーマット

ディスクのフォーマット

記録方式を選択してください。

ハイビジョン画質で記録(AVCREC方式)

標準画質で記録(VR方式)

キャンセル(ビデオ方式)

6 記録方式を選び、(決定)を押す

7 「はい」を選び、(決定)を押す

8 「実行」を選び、(決定)を押す

●フォーマットせずに記録した場合、記録方式はビデオ方式になります。

DVD-RW
DVD-RW のフォーマット

6 記録方式を選び、(決定)を押す

7 「実行」を選び、(決定)を押す

SD カード
カードのフォーマット

6 「はい」を選び、(決定)を押す

7 「実行」を選び、(決定)を押す

お願い

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。

お知らせ

●フォーマットには通常は数分(**RAM** 最大約70分)かかります。
RAM **-RW(VR)** 2分以上かかる場合のみ [**戻る**] を押すと中止できます。

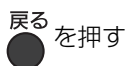
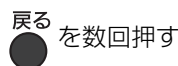
●ディスクに汚れや傷があると、フォーマットに時間がかかったり、できない場合があります。

●**SD** 「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」については、42 ページの「お知らせ」をご覧ください。

前の画面に戻るには

 を押す

画面を消すには

 を数回押す

ディスク名入力/ディスクプロテクト/全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW
（ファイナライズしたディスクではできません）

準備 ●ディスクを入れる。

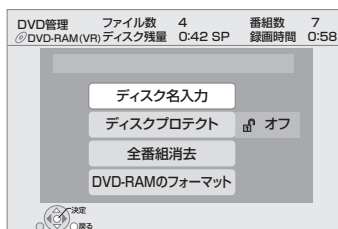
1 を押して、「BD」を選ぶ

2 停止中に、 を押す

3 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

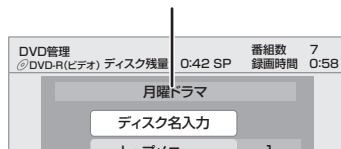
4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、決定を押す

5 操作したい項目を選び、決定を押す
（➜下記へ）

例）RAM

ディスクに名前を付ける
ディスク名入力
BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

文字入力については（➜86）

● -R -R DL 未使用の場合、ディスク名を入力すると、ビデオ方式になります。
VR方式や AVCREC 方式で記録したい場合は、先にフォーマットしてください。（➜78）

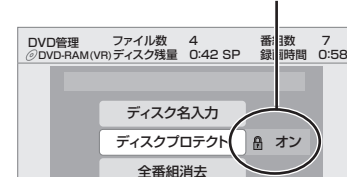
入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。

-R(V) -R DL(V) -RW(V)
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

● BD-R -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) ファイナライズ後は、ディスク名を表示することはできなくなります。

誤消去防止の設定/解除
ディスクプロテクト
BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

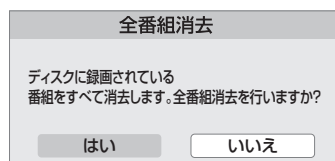
ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

6 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

プロテクト設定すると「🔒 オン」が表示

全番組の消去
全番組消去
BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

実行すると元に戻すことはできません。

例）RAM

全番組消去
ディスクに録画されている番組をすべて消去します。全番組消去を行いますか?
はい　いいえ

6 「はい」を選び、決定を押す

7 「実行」を選び、決定を押す

お知らせ
●全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
●プロテクトを設定した番組がある場合は、消去できません。
● BD-RE RAM 写真は消去されません。
● BD-R -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC)
消去しても残量は増えません。

前の画面に戻るには
戻る を押す

画面を消すには
戻る を数回押す

他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)

本機で記録したディスク	他機器との互換性	他機器での再生
ビデオ方式	高	ファイナライズすると → DVD プレーヤーなどで再生できます。ファイナライズ後、記録状態によっては他の機器で再生できない場合があります。
VR方式		→ ディスクと VR 方式の再生に対応しているか確認してください。
AVCREC方式	低	ファイナライズすると → 再生するディスクの AVCREC 方式に対応している必要があります。対応機器には が付いています。・対応機器以外で使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。 対応機器で再生できないときは (➜92「HG ～ HE のディスク記録音声」)

BD-RE RAM ファイナライズは不要です。

80ページ手順１～５のあとに操作します。

メニュー画面の背景の設定

トップメニュー

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

6 お好みの背景を選び、決定を押す

●トップメニュー内に表示される画像(サムネイル)は変更できます。(**➜48「サムネイル変更」**)

ファイナライズ後の表示は…
01
サムネイル(静止画) 番組名

トップメニュー一覧
1 2 3

再生の始まりかたの設定

ファーストプレイ選択

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生の始めかたを設定できます。

6「トップメニュー」または「タイトル１」を選び、決定を押す

トップメニュー:番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル１　:先頭の番組から再生する

ファーストプレイ選択
トップメニュー
タイトル1

他のBD/DVD機器で再生できるようにする

他のDVD機器再生(ファイナライズ)

-R -R DL -RW

他のBD機器再生(ファイナライズ)

BD-R

6「はい」を選び、決定を押す

7「実行」を選び、決定を押す

●ファイナライズは、数分から最大約60分かかります。(実行中は中止できません)
●高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。(最大約4倍)

他のDVD機器再生(ファイナライズ)
ファイナライズを行うと、他のDVD機器で再生できるようになります。
ファイナライズ後は再生専用となり、録画や編集等ができなくなります。
ファイナライズを行いますか?
はい いいえ

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

ファイナライズすると…

●再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
・-RW(V) フォーマット(**➜78**)すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
・-RW(VR)「ファイナライズ解除」(**➜ 下記**)を行うと、記録や編集ができます。

お知らせ

●本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。

ファイナライズの解除

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。
●-RW(V) は解除できません。
●本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

6「はい」を選び、決定を押す

7「実行」を選び、決定を押す

前の画面に戻るには
戻る を押す

画面を消すには
戻る を数回押す

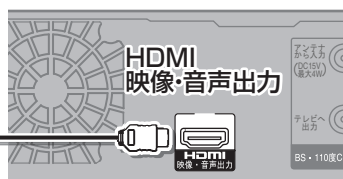
ビエラリンク (HDMI) を使う

ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは

- 本機と HDMI ケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
  ※すべての操作ができるものではありません。
- ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク (HDMI) に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機はビエラリンク (HDMI)Ver.3 に対応しています。
  ビエラリンク (HDMI)Ver.3 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。(2007 年 12 月現在)

接続

本機とビエラリンク (HDMI) に対応した当社製テレビ(ビエラ)をHDMIケーブルで接続する(➜準備編 8)

- 当社製HDMIケーブルを推奨します。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
  品番:RP-CDHG10(1.0 m)、RP-CDHG15(1.5 m)、RP-CDHG20(2.0 m)、RP-CDHG30(3.0 m)など

☞ **アンプと接続する場合は**
(➜準備編 11)

設定

① **初期設定「ビエラリンク制御」(➜95)を「入」にする**(お買い上げ時の設定は「入」)

② **初期設定「ビエラリンク録画待機」(➜95)を「入」にする**
- **初期設定**「クイックスタート」(**➜91**)は自動的に「入」になり、本機の電源「入」に伴う連動操作をすばやく行えます。
  (待機時消費電力は増えます)

③ **接続した機器側(テレビなど)で、ビエラリンク (HDMI) が働くように設定する**

④ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

☞ **ビエラリンク (HDMI) を使わない場合は**
初期設定「ビエラリンク制御」(**➜95**)を「切」にする

ビエラリンク (HDMI) Q & A

Q (質問)	A (回答)
お使いのテレビやアンプがビエラリンク(HDMI)対応かわからないときは？	機器にビエラリンク (HDMI)のロゴマーク(➜右記)が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。 VIERA Link
テレビ(ビエラ)側から録画(「見ている番組を録画」など)や録画予約、番組キープをしたとき	
録画モードや録画先は？	●録画(「見ている番組を録画」など)： ・本機であらかじめ設定された録画モードでHDDに録画します。 ●録画予約 / 番組キープ： ・デジタル放送：HDDに「DR」モードで録画 ・アナログ放送：HDDに「SP」モードで録画 ●録画モードや録画先を変更して予約したい場合は、本機の「操作一覧」から予約してください。
録画予約の登録の方法は？	●本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に“ACCEPT”が表示されます。 ●本機の予約一覧画面で予約内容を確認できます。
録画予約を取り消すときは？	●「探して毎回予約」で予約した場合は、テレビ側の予約も取り消してください。
録画ができないときは？	●すでに本機が「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。 ●本機に契約されたB-CASカードが挿入されていないとき。
ビエラリンク(HDMI)が働かなくなった場合は？	●設定を確かめてください。**[➜125「ビエラリンク (HDMI) が働かない」]**

ビエラリンク (HDMI) のバージョンでの違い

本機と接続したテレビ(ビエラ)のビエラリンク (HDMI) のバージョンによって、できる機能とできない機能があります。

●テレビやアンプのバージョンについては、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

接続したテレビ / 機能	ビエラリンク (HDMI) に対応	ビエラリンク (HDMI) Ver.2 に対応	ビエラリンク (HDMI) Ver.3 に対応
自動的にテレビの電源を入れ、入力を切り換える	○	○	○
自動的に本機の電源を切る	○	○	○
テレビのリモコンで本機の操作	○	○	○
テレビの電源を切って音楽の再生を続ける ●ビエラリンク (HDMI) 対応のアンプと接続時	×	○	○
自動的に適したサウンドにする (オートサウンド連携) ●ビエラリンク (HDMI)Ver.3 対応のアンプと接続時	×	×	○
番組の視聴を一時停止する (番組キープ)	×	×	○
テレビから設置情報を取り込む	×	○	○

ビエラリンク (HDMI) を使う（つづき）

表示マークについて

（本機のリモコン）:本機のリモコンで操作できます。
（テレビのリモコン）:テレビのリモコンで操作できます。

自動的にテレビの電源を入れ、入力を切り換える

●テレビの電源が待機状態のときのみ

（本機のリモコン）

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現われます。

本機電源入時							
本機電源切時							

自動的に本機の電源を切る

（本機のリモコン）（テレビのリモコン）

リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。
（ダビング、ファイナライズ、消去、**[録画●]** を押して録画などの実行中は切れません）
ビエラリンク (HDMI) に対応したアンプとHDMIケーブルで接続している場合は、アンプの電源も切れます。

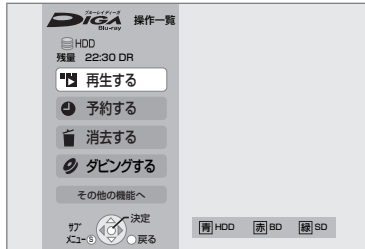
テレビのリモコンで本機の操作

（テレビのリモコン）

テレビの操作はテレビの取扱説明書をご覧ください。

1 テレビのリモコンを使って、ディーガの「操作一覧」を表示させる

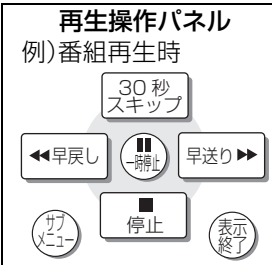
●テレビによって、ディーガの**「操作一覧」**を表示させる方法や画面は異なります。

例）

ビエラ を押す → 「ディーガの操作一覧」を選び、決定する

●自動的に本機の電源も入ります。

操作一覧画面について（➜132）

2 テレビのリモコンで操作したい項目を選び、[決定] を押す

●**[青] [赤] [緑]** を押すと、ドライブの切り換えができます。

「再生操作パネル」を使って操作する

「再生操作パネル」表示中はテレビのリモコンで早送り・早戻し（サーチ）、停止などの操作ができます。

[サブ メニュー] を押す

●「再生操作パネル」が表示されます。
●**[▲] [▼] [◄] [►] [決定] [戻る] [サブ メニュー]** で操作することができます。

●音楽再生時は「再生操作パネル」は表示されません。画面表示に従って操作してください。

音楽の再生を止める

[戻る] を数回押す
テレビのリモコンにディーガの**停止ボタン**がある場合は、ディーガに向けて**停止ボタン**を押して再生を止めることができます。

テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

（本機のリモコン）（テレビのリモコン）

操作方法（➜77）

テレビのリモコンで操作できるボタンは？

[▲] [▼] [◄] [►] [決定] [戻る] [サブ メニュー] と色ボタン
数字ボタンなどの上記以外のボタンを使って操作するときは、本機のリモコンを使用してください。

自動的に適したサウンドにする（オートサウンド連携） 本機のリモコン テレビのリモコン	ビエラリンク（HDMI）Ver.3 対応のビエラとアンプと接続している場合、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。 ●以下の場合に働きます。 ・デジタル放送の番組を視聴中または再生中（RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) を除く） ・BD-V DVD-V CD を再生中 ●他の機器で記録したディスクでは働きません。 **設定を有効にするには** ●**初期設定**「オートサウンド連携」（**➔95**）を「入」にする ●接続したテレビでは以下の設定が必要です。 ・テレビの音声がアンプから出るようにする ・サウンドを番組情報に応じて自動的に切り換えるモードにする ［操作例：**［サウンド］**を押し、「オート」（自動的に切り換えるモード）にする］ 詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。

番組の視聴を一時停止する（番組キープ）

テレビのリモコン

ビエラリンク（HDMI）Ver.3 対応のビエラと接続している場合、視聴中の番組を一時停止して、あとから続きを視聴することができます。

テレビの操作はテレビの取扱説明書をご覧ください。

1 視聴を一時停止したいとき

テレビのリモコンを使って、「番組キープ」を実行する

●テレビによって、「番組キープ」を実行させる方法は異なります。

例）

番組

を押す

「番組キープ●」が表示

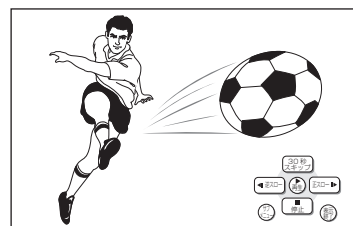
●テレビの入力は、HDMI 入力に切り換わります。

●番組キープ中は、番組を HDD に一時的に記録します。（番組キープ終了後は削除されます）

2 続きを見るとき

「再生操作パネル」表示中に、［決定］（再生）を押す

●一時停止したところから再生が始まります。

●**［▲］［▼］［◀］［▶］［決定］［戻る］［サブ メニュー］**で操作することができます。

「再生操作パネル」が表示されていないときは

［サブ メニュー］を押す

番組キープを終了するには

① 「再生操作パネル」表示中に、**［▼］**（停止）を押す

② **［◀］［▶］**で「はい」を選び、**［決定］**を押す

お知らせ

●チャンネルや入力の切り換え、または電源を切った場合、番組キープは終了し、一時的に記録した番組も削除されます。

●以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできます。

・予約録画開始時刻になったとき

・番組キープが８時間を超えたとき、または HDD の容量がなくなったとき

●本機が番組を録画できない状態のときは、番組キープを実行することはできません。

●本機に放送会社と契約した B-CAS カードが挿入されていない場合、番組キープすることはできません。

●早送り再生中に、再生位置が現在放送中の場面に追いつくと通常再生に戻ります。

●**初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」（**➔94**）が「入」の場合、一時停止中に、約１０分以上操作を行わなかったときは、スクリーンセーバーが表示されます。（**［戻る］**を押すと、元の画面に戻ります）

上記以外の機能については、接続した機器（テレビなど）の取扱説明書をご覧ください。

文字入力

HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

録画した番組などに名前を付けることができます。
（ファイナライズしたディスクや AVCHD が記録されたディスクでは文字入力できません）

1 入力画面を表示する

予約番組の番組名（➜37「番組名入力」）
記録済みの番組の番組名（➜48「番組名編集」）
ディスク名（➜80「ディスク名入力」）
写真のアルバム名（➜70「アルバム名編集」）

2 青（かな）、赤（カナ）、緑（英数）、黄（記号）で文字の種類を選び、決定を押す

●漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。

3 入力する文字を選び、決定を押す

☞ **ひらがなを入力するには**
[▶▶]（確定）を押す

☞ **ひらがなを漢字変換するには**
① [▶ 再生]（変換）を押す
●変換候補選択画面が表示されます。
② 変換したい漢字を選び、[決定]を押す
●[|◀◀]または[▶▶|]で前後のページを表示します。
●[戻る]を押すと、入力画面に戻ります。

☞ **よく使う語句の登録 / 呼び出し**（➜右記）

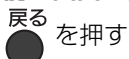
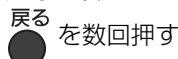
☞ **消去するには**
[❚❚ 一時停止]（消去）を押す

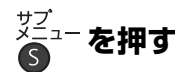
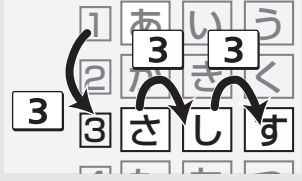
●この手順を繰り返し、文字を入力します。

4 入力が終わったら、■停止（終了）を押す

5 「保存」を選び、決定を押す

●番組一覧などのそれぞれの画面に戻ります。

☞ **前の画面に戻るには**
戻る を押す

☞ **途中で終わるには**
戻る を数回押す
（入力した文字は保存されません）

よく使う語句の登録	**登録できる最大語句数**：20 **登録できる文字数**（1個あたり）： 英数　先頭から20文字 その他　先頭から10文字 **1 語句を入力する** **2 ▶▶|（語句登録）を押す** **3 「登録」を選び、決定を押す**
登録した語句の呼び出し	**1 |◀◀（語句一覧）を押す** **2 語句を選び、決定を押す**
登録した語句の消去	**1 |◀◀（語句一覧）を押す** **2 消去する語句を選び、サブメニュー S を押す** **3 「語句消去」を選び、決定を押す** **4 「消去」を選び、決定を押す**

数字ボタン[1]～[10/0]、[12*]でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合
1 [3]を押す
●「さ」行に移動します。
2 [3]を2回押し、[決定]を押す
●「す」が文字変換表示欄に表示されます。

入力できる文字数

	種類	英数	その他
HDD	番組名	64	32
	写真のアルバム名	36	18
RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	番組名	64	32
	写真のアルバム名（RAM(VR)のみ）	36	18
	ディスク名	64	32
-R(V) -R DL(V) -RW(V)	番組名	44	22
	ディスク名	40	20
BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)	番組名※	254	127
	写真のアルバム名（BD-RE RAM(AVCREC)のみ）	36	18
	ディスク名	254	127

※ 予約番組の番組名　英数：64 文字　その他：32 文字

お知らせ

●入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
●入力または表示可能な漢字コードは、JIS第１水準、JIS第2水準のみです。
●BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)
文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

いろいろな情報を見る(メール/情報)

放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

メール/情報の基本操作

1 停止中に、[操作一覧]を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「メール / 情報」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼]で項目を選び、[決定]を押す

前の画面に戻るには

[戻る]を押す

画面を消すには

[戻る]を数回押す

放送メール	放送メールには、放送局からのお知らせ(最大31通まで保存)や、本機の機能向上のためのダウンロード情報(最新の1通のみ保存)などがあります。 **[▲][▼]で確認したいメールを選び、[決定]を押す** ●ダウンロード情報が届いたときは、画面の下部にダウンロード予約ボタンが表示されます。予約を「する」または「しない」を選んでください。 「する」を選んだ場合、メールに記載されているダウンロード開始時刻の約5分前には、電源を切っておいてください。 ※ダウンロード予約の設定が「自動」の場合は、ダウンロード予約ボタンは表示されず、自動的にダウンロードが行われます。 **ダウンロード予約の設定については(➜準備編 32)** ●ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。 ●メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。 ●メールの送信や返信はできません。
購入記録	購入した有料番組を確認できます。 **累計金額をリセット(0円に戻す)するには** ① [11# / 取消し]を押して、リセット画面を表示させる ② [◀]で「はい」を選び、[決定]を押す
購入記録送信結果	有料番組の購入情報が正しく送信されているかどうか確認します。 ●前回の送信結果として、送信失敗のために再送信をうながす旨が表示される場合があります。その場合は「送信」を選び、[決定]を押すと再送信できます。 最新の送信記録 ― 購入記録送信結果 番組の購入記録を送信しました。 送信 前回の送信結果 ― カスタマーセンターとの通信に成功しました。
双方向通信一覧	データ放送で電話回線を利用した履歴などを確認します。
B-CASカード	契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CASカードの番号が必要な場合に使用します。
ID表示	本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。 **その他の情報を見るには** ●[青]: 本機のソフト情報を表示 ●[赤]: データ放送時のルート証明書情報を表示
ボード	110度CSデジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。 ① **[▲][▼]で「CS1ボード」または「CS2ボード」を選び、[決定]を押す** ② **[▲][▼]で確認したい情報を選び、[決定]を押す** ボード CS1ボード CS2ボード
お好みページ	データ放送で、「お好みページ」の登録を行うと登録されます。今後、このようなデータ放送が徐々に増えてくる予定です。(2008年 2月現在) ただし、ページによっては本機で登録や表示ができないものがあります。 **[▲][▼]でタイトルを選び、[決定]を押す** ●登録内容に従った動作が行われます。例えば、指定されたチャンネルに切り換わったりします。 **お好みページを削除するには** ① [サブ メニュー]を押す ② 「削除」を選び、[決定] を押す ●データ放送からの指示により自動で消去してもよい場合は、「消去許可設定」で「許可」を選んだあと、「更新」を選び、[決定]を押します。

放送設定を変える(放送設定)

必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

放送設定の基本操作

1 停止中に、**を押す**

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼]で「放送設定」を選び、決定を押す

4 [▲][▼]でメニューを選び、決定を押す

5 [▲][▼]で設定項目を選び、決定を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [◀][▶]で設定内容を変更する

放送設定
かんたん設置設定
放送設置
デジタル放送・再生
ダウンロード
放送設定リセット
決定
戻る

前の画面に戻るには
戻る を押す

画面を消すには
戻る を数回押す

お知らせ

●操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
かんたん設置設定	かんたん設置設定(➜準備編 21)	→[決定]を押して、さらに設定します。
放送設置	チャンネル設定(➜準備編 34～36)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上アナログ	
	地上デジタル	
	BS	
	CS1	
	CS2	
	番組表設定(➜準備編 27)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	Gガイド地域設定	▶札幌～沖縄
	番組表受信設定	BS768:(放送局からの案内がない限り、変更しないでください)
	Gガイド受信確認	Gガイド受信スケジュールを確認できます。
	地域設定(➜準備編 32)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	県域設定	▶東北海道～沖縄県
	郵便番号	ーーー - ーーーー(郵便番号)
	地域設定消去	▶はい ▶<u>いいえ</u>
	受信設定(➜準備編 28～29)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上デジタル	→[決定]を押して、さらに設定します。
	アッテネーター	▶オン ▶<u>オフ</u>
	物理チャンネル選択 物理チャンネル(➜準備編 28)を指定してアンテナレベルを確認します。	▶物理チャンネル入力 ーー CH
	衛星	→[決定]を押して、さらに設定します。
	アンテナ電源	▶<u>オン</u> ▶オフ 「オン」にした場合、テレビ側の衛星アンテナ電源も「入(オン)」にしてください。
	アンテナ出力 本機のBS・110度CSアンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。	→[決定]を3秒以上押して、さらに設定します。 ▶<u>オン</u>:常に信号を出力します。(通常は「オン」のまま変更しないでください) ▶オフ:本機の電源「切」時に信号を出力しないため、テレビなどで、BS・110度CSデジタル放送を視聴できません。
	トランスポンダ選択	BS-1～BS-15、CS-2～CS-24
	衛星周波数	ーー.ーーーー GHz (放送局からの案内がない限り、変更しないでください)

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
放送設置(つづき)	電話設定(➜準備編 33)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	回線設定	▶自動 ▶プッシュ ▶ダイヤル 20 ▶ダイヤル 10
	トーン検出 「回線設定」(➜上記)が「自動」以外のときに設定できます。	▶する ▶しない
	内線設定	ーーーーーーーー(内線番号)
	電話テスト	ーー
	発信者番号通知	▶指定なし ▶通知する ▶通知しない
	電話会社設定	ーーーーーーーー(電話会社番号)
	マイラインプラス 「電話会社設定」(➜上記)を設定したときのみ設定できます。	▶解除する ▶解除しない
	B-CASカードテスト(➜準備編 32)	ーー
デジタル放送・再生	字幕の設定 デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど(文字スーパー)を表示させるための設定です。 録画モード「DR」以外で録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。	→[決定]を押して、さらに設定します。 字幕の設定 字幕 オン オフ 字幕言語 日本語 英語 文字スーパー オン オフ 文字スーパー言語 日本語 英語 ●放送に設定した内容が含まれていない場合は設定通りに表示されません。 ●強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。 ●地上アナログ放送の文字放送(字幕)は見られません。
	字幕	▶オン ▶オフ
	字幕言語	▶日本語 ▶英語
	文字スーパー	▶オン ▶オフ
	文字スーパー言語	▶日本語 ▶英語

リモコンの数字ボタンに割り当てられた放送局(2008年 2月現在)

●地上アナログ放送(➜準備編 38)
●地上デジタル放送(➜準備編 40)

● BSデジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHKハイビジョン
4	141	BS日テレ
5	151	BS朝日
6	161	BS-i
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ
9	191	WOWOW
10	200	スター・チャンネル
11	211	BS11 デジタル
12	222	TwellV

● CS1(スカパー!e2)

番号	チャンネル	放送局名
1	001	e2 メイト
2		
3		
4		
5	055	ショップチャンネル
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

●CS2(スカパー!e2)

番号	チャンネル	放送局名
1	100	e2 プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	CS映画
4	147	CS 日本番組ガイド
5		
6	160	C-TBSウェルカム
7	177	ショップチャンネル
8	258	フジテレビ739
9	194	インターローカルテレビ
10	101	宝塚プロモチャンネル
11	290	SKY・STAGE
12	238	スター・クラシック

●放送局名やチャンネル番号は、実際の表示と異なる場合があります。

放送設定を変える（放送設定）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
デジタル放送・再生（つづき）	**制限項目設定** ●視聴制限のある番組の視聴できる年齢や購入金額の上限を設定できます。 ●上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。 ●年齢制限を超える番組は、番組表（Gガイド）などで「･･･」と表示されます。	→**[決定]**を押して、さらに設定します。 暗証番号登録 0～9 番号入力　# 1文字削除　戻る 視聴制限を利用するには暗証番号登録が必要です。 暗証番号を入力してください。 ― ― ― ― **画面の指示に従って[1]～[10/0]を押し、暗証番号（4けた）を入力する** ●10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。 ●初めて入力するときは番号を2回入力し、登録します。暗証番号は、忘れないでください。 お知らせ ●**暗証番号は自由にお決めいただけます。もし忘れた場合は、契約されている各委託放送事業者にお問い合わせください。** ●暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。
	視聴可能年齢	▶**無制限**　▶**4才～19才（1才刻み）**
	一番組限度額	▶**<u>無制限</u>**　▶**100円**　▶**500円**　▶**1000円**　▶**1500円** ▶**2000円**　▶**2500円**　▶**3000円**
	暗証番号変更	●「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は残ります。
	暗証番号取消し	●「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は「無制限」に戻ります。
	設定した年齢や購入金額を超える番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。 視聴制限があります。 暗証番号を入力してください。 ― ― ― ―	●暗証番号を入力すると、番組が映ります。 ●「視聴可能年齢」の場合は、一度暗証番号を入力すると、電源を「切」にするまで見ることができます。
	選局対象 デジタル放送で**[チャンネル∧,∨]**を押して順送りできるチャンネルを設定できます。	▶**設定チャンネル**：リモコンの**[1]**～**[12＊]**に設定した13～36までのチャンネル ▶**テレビ**：テレビ放送（映像＋音声） ▶**ラジオ**：ラジオ放送（音声） ▶**データ**：データ放送 ▶**<u>すべて</u>**：受信できるすべてのチャンネル
ダウンロード	**ダウンロード予約（➜準備編 32）** デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。	▶**<u>自動</u>**：電源「切」時に、自動的にダウンロードします。 ▶**手動**：情報が届いた場合、メールで知らせます。 **（➜87「放送メール」）**
放送設定リセット	**設定項目リセット** **放送設定**「アンテナ電源」「アンテナ出力」（**➜88**）と「電話設定」（**➜89**）をお買い上げ時の設定に戻します。	▶**はい**　▶**<u>いいえ</u>**
	個人情報リセット 時刻設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。 また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールや購入記録、データ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。 廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。	→**[決定]**を3秒以上押して、さらに設定します。 ▶**はい**　▶**<u>いいえ</u>** お知らせ ●双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。 ●HDDに録画された番組などは、この操作では消去されません。消去するには、**初期設定**「HDDのフォーマット」（**➜93**）を行ってください。

本機の設定を変える(初期設定)

必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

初期設定の基本操作

1 停止中に、 **を押す**

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼]でメニューを選び、決定 を押す

5 [▲][▼]で設定項目を選び、決定 を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [▲][▼][◀][▶]で設定内容を選び、決定 を押す

初期設定
設置
HDD/ディスク
映像
音声
画面設定
テレビ/機器の接続
決定
戻る

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

お知らせ

●操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
設置	**自動電源〔切〕** 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	▶2時間 ▶6時間 ▶切 時間を設定すると、本機の動作(録画やダビングなど)が終了してから 2時間後または6時間後に、電源が切れます。
	リモコンモード(➜準備編 31)	▶リモコン1 ▶リモコン2 ▶リモコン3
	ワイドモード(➜準備編 22) テレビのS映像入力端子に合わせて出力を設定します。	▶S1 ▶S1/S2:「S1」または「S2」のとき ▶切:「S」、またはテレビ側の、ワイドテレビの画面設定の切り換え機能を作動させたくないとき
	時刻合わせ(➜準備編 30)	▶(年/月/日/時/分) ▶自動時刻チャンネル
	音声ガイドの出力 「おまかせダビング」などの実行時に、音声で操作ガイダンスを行います。	▶入:本書の ディーガがしゃべる! マーク部で働きます。 ▶切
	クイックスタート 電源「切」状態からの起動を高速化します。 (映像端子または S 端子接続時) 例: 番組表(Gガイド)を約1 秒で表示します。 ●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。 以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」になります。 ●「ビエラリンク録画待機」(➜95):「入」	▶入 ▶切 「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 ●待機時消費電力が増えます。 ●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ(1週間に一度程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に"PLEASE WAIT"と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。) ●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。
	初期設定リセット 設定をお買い上げ時の設定に戻します。 ただし、以下の設定は戻りません。 · 時刻 · DVD-Video の視聴制限 · BD-Video の視聴可能年齢	▶する ▶しない 本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定(リモコン1)に戻ります。リモコンが働かなくなった場合は(本体表示窓に"U30"と表示)、リモコンモードを変更してください。(➜115)

本機の設定を変える(初期設定)(つづき)

<table>
<tr><th>メニュー</th><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)</th></tr>
<tr><td rowspan="17">HDD／ディスク</td><td>BD-Video/DVD-Video 再生設定</td><td colspan="2">→[決定]を押して、さらに設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DVD-Video の視聴制限
DVDビデオの視聴制限ができます。
●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1] ～ [10/0]で暗証番号(4けた)を入力してください。
●暗証番号は忘れないでください。※</td><td colspan="2">▶ レベル8 すべて視聴可 :すべての DVD ビデオが視聴可
▶ レベル7～1 :制限レベルの記録されている DVD ビデオ(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可
▶ レベル0 すべて視聴不可 :すべての DVD ビデオが視聴不可</td></tr>
<tr><td colspan="2">▶ ロック解除 ▶ 暗証番号変更 ▶ レベル変更 ▶ 一時解除</td></tr>
<tr><td rowspan="2">BD-Video の視聴可能年齢
BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。
●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1] ～ [10/0]で暗証番号(4けた)を入力してください。
●暗証番号は忘れないでください。※</td><td colspan="2">▶ 無制限 :すべての BD ビデオが視聴可
▶254 歳～0 歳 :年齢制限の記録されているBDビデオ(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可</td></tr>
<tr><td colspan="2">▶ ロック解除 ▶ 暗証番号変更 ▶ 視聴可能年齢変更 ▶ 一時解除</td></tr>
<tr><td>音声言語
再生時の音声を選びます。</td><td>▶ 日本語 ▶ 英語
▶ オリジナル(ディスクの最優先言語で再生)
▶ その他＊＊＊＊</td><td rowspan="3">＊には [1]～[10/0] で言語番号(➜131)を入力

選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。</td></tr>
<tr><td>字幕言語
再生時の字幕言語を選びます。</td><td>▶ オート:
「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。
▶ 日本語 ▶ 英語 ▶ その他＊＊＊＊</td></tr>
<tr><td>メニュー言語
テレビ画面に表示される言語を選びます。</td><td>▶ 日本語 ▶ 英語 ▶ その他＊＊＊＊</td></tr>
<tr><td>ハイビジョンムービー優先モード
BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) ハイビジョン画質の番組と他機器でダビングしたハイビジョンムービーの動画が混在したディスクで再生する動画を設定します。</td><td colspan="2">▶ 入: ハイビジョンムービーの動画を再生
▶ 切: ハイビジョン画質の番組を再生</td></tr>
<tr><td>記録設定</td><td colspan="2">→[決定]を押して、さらに設定します。</td></tr>
<tr><td>EP時の記録時間
録画モードがEP時の最大記録時間を選びます。</td><td colspan="2">▶ 6時間 :4.7 GBディスクに6時間記録
▶ 8時間 :4.7 GBディスクに8時間記録</td></tr>
<tr><td>高速ダビング用録画
-R(V) -R DL(V) -RW(V) 高速ダビングできるようになります。ただし制限があります。(➜ 右記)
「切」にすると、右記の制限はかかりませんが、上記ディスクへの高速ダビングはできません。

●以下の場合に有効
・地上アナログ放送や外部入力から記録
・ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビングするとき</td><td colspan="2">▶ 入:高速ダビング対応にする
→[決定]を押して、さらに「はい」を選びます。
●記録される番組は以下の設定に従い記録されます。
・画面サイズ:「ビデオ方式の記録アスペクト」(➜下記)
・二重放送の音声:「二重放送音声記録」(➜94)
●放送受信中の音声は切り換えできません。
・「二重放送音声記録」(➜94)で設定した音声が出力されます。
▶ 切</td></tr>
<tr><td>ビデオ方式の記録アスペクト
記録時のアスペクトの設定をします。
以下の記録時に有効
● -R(V) -R DL(V) -RW(V) への記録時
●「高速ダビング用録画」(➜上記)が有効なとき</td><td colspan="2">▶ オート :番組の記録開始時のアスペクトに従って記録します。
▶ 4:3
▶ 16:9

●録画モード「EP」、「FR(EPモード相当の画質)」での記録時は、設定にかかわらず4:3で記録されます。</td></tr>
<tr><td>DVDの高速ダビング速度
高速モードでのダビング速度を設定します。
(RAM 5X、 -R 8X以上の高速記録対応ディスクの場合など)</td><td colspan="2">▶ 最高速モード
▶ 静音モード :ダビング時の動作音が小さくなります。
ただし、ダビングの所要時間は長くなります。</td></tr>
<tr><td>HG ～ HE のディスク記録音声
BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) ディスクに「HG」「HX」「HE」モードで記録する場合の音声を設定します。ブルーレイディスクや AVCREC 方式の対応機器で再生できない場合、「固定」にして記録してください。再生できるようになる場合があります。</td><td colspan="2">▶ オート :ステレオ / サラウンド / 二重放送音声がそのまま記録されます。高速ダビングができます。
(「オート」は当社の拡張方式です。他の機器では再生できない場合があります。)
▶ 固定 :サラウンド放送はステレオ音声で記録されます。
二重放送の音声は、「二重放送音声記録」(➜94)に従って、主音声または副音声のどちらか一方のみ記録します。
ダビングは1倍速になります。(高速でダビングできません)</td></tr>
</table>

※ 暗証番号は共通です。

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
HDD／ディスク（つづき）	**HDD設定**	→[**決定**]を押して、さらに設定します。
	HDD 管理	→[**決定**]を 3 秒以上押して、さらに設定します。
	全番組消去 番組をすべて消去します。（ディーガがしゃべる!）	▶**はい**　→[**決定**]を押して、さらに「実行」を選びます。 ▶**いいえ**
	HDD のフォーマット HDD の初期化を行います。（ディーガがしゃべる!）	▶**はい**　→[**決定**]を押して、さらに「実行」を選びます。 ▶**いいえ**
映像	**スチルモード** 一時停止中の画像の表示方法が選べます。	▶**オート** ▶**フィールド**：動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるとき ▶**フレーム**　：「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいとき
	シームレス再生 部分消去した部分などの再生する状態が選べます。 （DRモードの番組やAVCHDの動画には、この設定は無効）	▶**入**：なめらかに再生（早送り中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります。） ▶**切**：精度よく再生（つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります）
	HDノイズフィルター ざらつきが少なく柔らかい画像にします。 「D端子出力解像度」（➔95）が「D3」「D4」のとき有効	▶**入** ▶**切**
音声	**音声のダイナミックレンジ圧縮** BD-V DVD-V 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	▶**入**（ドルビーデジタルの音声のみ有効） ▶**切**
	デジタル出力	→[**決定**]を押して、さらに設定します。
	Dolby Digital 出力信号を、接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM”に処理して出力するかを設定します。 ●HDMI端子の音声出力時に接続機器が対応していない項目が選ばれると、接続機器の仕様により設定どおり出力されない場合があります。（例：テレビと HDMI 端子で接続した場合、本機の HDMI 音声出力はダウンミックス 2 ch に制限されます） ●正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。	▶Bitstream：左記ロゴがある機器に接続 ▶PCM　　　：左記ロゴがない機器に接続※ ※　「PCM」に設定した場合、以下の音声になります。 ●接続端子が ・光デジタル端子のとき：ダウンミックス 2 ch の PCM 音声 ・HDMI 端子のとき　　：LPCM で収録された音声では最大 7.1 ch、それ以外は最大 5.1 ch の PCM 音声 ●音声が ・ドルビーデジタルプラス / ドルビーTrueHD のとき ：ドルビーデジタルとしてデコードした PCM 音声 ・DTS-HD のとき　　：DTSとしてデコードしたPCM音声
	Dolby Digital Plus/ TrueHD	
	DTS	
	DTS-HD	
	AAC	▶**Bitstream**：AACをデコードできる機器に接続 ▶PCM　　　：AACをデコードできない機器に接続※
	BD ビデオ副音声・操作音 （副音声を含む BD-V ） BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。	▶**入**：サンプリング周波数は 48 kHz に変換されます。 上記で「Bitstream」を選ぶと、副音声を含むBDビデオ再生時は、ドルビーデジタルの音声に変換されます。 ▶**切**：オリジナルの音声方式を出力するとき

- **ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS-HD ハイレゾリューションオーディオ、DTS-HD マスターオーディオの場合：**
  それぞれの音声のデコードに対応した機器と HDMI 接続し、「Bitstream」に設定した場合に出力されます。ただし、副音声を含む BD ビデオ再生時に、「BD ビデオ副音声・操作音」を「入」、「Dolby Digital」を「Bitstream」に設定していると、ドルビーデジタルの Bitstream に変換されて出力されます。
  以下の場合、ドルビーデジタルプラスやドルビーTrueHD はドルビーデジタルの Bitstream、DTS-HD は DTS の Bitstream としてそれぞれ出力されます。
  ・非対応機器と接続　　・光デジタル端子で接続　　・複数の機器に HDMI 接続し、機器側に制約がある

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
音声（つづき）	**PCMダウンサンプリング変換** サンプリング周波数96 kHzまたは88.2 kHzで収録された音声を48 kHzまたは44.1 kHzに変換する（「入」）かしない（「切」）かを選びます。	▶**入**：96 kHzまたは88.2 kHzに非対応の機器に接続 ▶**切**：96 kHzまたは88.2 kHzに対応した機器に接続 以下の場合、設定にかかわらず48 kHzまたは44.1 kHz に変換されます。 ・「BD ビデオ副音声・操作音」（➜93）が「入」のとき BD-V ・176.4 kHz 以上の信号 BD-V ・著作権保護処理がされているディスク
	二重放送音声記録 以下の場合、両音声を記録できません。記録する音声を選びます。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) への記録 ●「高速ダビング用録画」（➜92）が有効なとき ●「XP時の記録音声モード」（➜下記）を「LPCM」にして、録画モード「XP」での記録 ● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)「HG ～ HE のディスク記録音声」（➜92）を「固定」にして、HG、HX、HE モードの番組をダビング、または「HG」「HX」「HE」モードで記録	▶**主音声** ▶**副音声**
	XP時の記録音声モード 録画モードが「XP」での記録時、音声を選びます。	▶Dolby Digital ▶LPCM： ・画質は少し下がります。 ・「XP」以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」（➜上記）であらかじめ選んでください。
	外部入力の音声 外部入力（L1 またはL2）からの録画時、音声の種別を選びます。	▶**ステレオ** ▶**二重音声**：二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」（➜上記）で音声をあらかじめ選んでください。（「高速ダビング用録画」（➜92）が「入」のときは、選んだ音声のみ記録）
画面設定	**画面表示動作〔オート〕** 操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。	▶入 ▶切
	地上アナログ時のブルーバック 地上アナログ放送の受信信号が弱いとき、画面背景を表示しないようにします。	▶入 ▶切
	テレビ画面の焼き付き低減機能 テレビ画面の焼き付きを低減するための設定です。通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。 「入」に設定すると、以下のような動作を行います。 ●次の状態のときに10分以上操作を行わないと、自動的に画面を切り換えます。 ・再生ナビ、番組表、操作一覧、予約確認、おまかせダビング、消去ナビ：画面を消去 ・写真再生中（スライドショーは除く）：再生ナビ画面に戻る ・音楽再生中：写真のスライドショー画面を表示 ・番組キープ一時停止中：スクリーンセーバーを表示 ●黒帯部分を明るくします。 [D 端子または HDMI 端子と接続して、「D端子出力解像度」（➜95）が「D3」「D4」のときや「HDMI出力解像度」（➜95）が「480p」以外のとき]	▶入 ▶切
	本体表示窓の明るさ 本体表示窓の明るさを調節します。	▶**常時 明**　▶**常時 暗** ▶**オート**：再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。 ・電源「切」時の消費電力の節電になります。 **（電源「切」時の消費電力➜134）**
	SD カード LED 制御 SD カードスロットの上にあるランプの点灯方法を設定します。	▶**常時点灯** ▶**常時消灯** ▶**カード入点灯**：電源「入」時に、SD カードを入れると点灯します。

メニュー	設定項目		設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
テレビ/機器の接続	**TVアスペクト** 接続したテレビに合わせて設定します。		▶**4:3**　:4:3 標準テレビ ▶**<u>16:9</u>**　:ワイドテレビ ▶**16:9フル** :ワイドテレビで、左右の黒帯をなくして表示
	HDMI接続		→[**決定**]を押して、さらに設定します。
	HDMI映像優先モード		▶**<u>入</u>** ▶**切**:アンプなどの機器とHDMI端子と接続し、テレビとD端子と接続するとき(アンプと接続する前に設定してください)
	HDMI出力解像度 接続した機器が対応している項目には、画面上に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、本体の[**■停止**]と[**▶ 再生**]を5秒以上押したままにしてください。「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。		▶**<u>オート</u>**　:1080i、480pの順で接続した機器に適した解像度を自動で選択します。 ▶**480p** ▶**1080i** ▶**720p**　:720pの映像以外は、1080iで出力されます。 アンプと接続する場合、接続するアンプが設定した解像度に対応していないときは、正しく出力できません。その場合は、本機とテレビをHDMI端子と接続し、アンプとはHDMI以外の端子と接続してください。
	HDMI RGB出力レンジ RGB入力のみに対応した機器(DVI機器など)との接続時に有効		▶**<u>スタンダード</u>** ▶**エンハンス**　:映像の黒白が鮮明でないとき
	HDMI音声出力		▶**<u>入</u>** ▶**切**:テレビとHDMI端子と接続し、HDMI非対応のアンプなどと光デジタル音声端子と接続するとき
	ビエラリンク設定		→[**決定**]を押して、さらに設定します。
	ビエラリンク制御 ビエラリンク (HDMI) に対応した機器と HDMI 端子と接続時、連動操作の設定をします。		▶**<u>入</u>** ▶**切**:ビエラリンク (HDMI) を使わないとき
	ビエラリンク録画待機 ビエラの電源が「入」のときに、本機がすぐに録画できる状態に設定します。 ●「ビエラリンク制御」(**➜上記**)が「入」時に有効		▶**入** ▶**<u>切</u>** 「入」に設定すると、「クイックスタート」(**➜91**)は自動的に「入」になります。
	オートサウンド連携 ビエラリンク (HDMI)Ver. 3 に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えるかどうかの設定をします。		▶**<u>入</u>** ▶**切**
	D端子出力解像度(➜準備編 22)		▶D1　▶D2　▶<u>D3</u>　▶D4 ●「D4」に設定すると、720pの映像以外は、1080iで出力されます。 ●設定を変更して映像が乱れた場合は、本体の[**■ 停止**]と[**▶ 再生**]を5秒以上押したままにしてください。「D1」に設定されます。
	TVアスペクト(4:3)の設定 4:3テレビに接続時、16:9映像の映しかたを選びます。	**DVD-Videoの16:9 映像**	▶**<u>パン & スキャン</u>**:左右の切れた映像で再生 (パン & スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生) ▶**レターボックス**:上下に帯のある映像で再生
		録画ディスクの16:9 映像	▶**スルー**　:録画された映像のままで再生 ▶**パン & スキャン** :左右の切れた映像で再生 ▶**<u>レターボックス</u>** :上下に帯のある映像で再生 HDD DR モードの番組は、レターボックスで再生します。

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
テレビ／機器の接続（つづき）	**スピーカー設定** スピーカーの出力設定により、理想的な音空間を作ります。 （アンプと HDMI 端子で接続時のみ）	▶ マルチチャンネル：スピーカーを 3 本以上接続するとき ▶ 2チャンネル：スピーカーを 2 本接続するときやドルビープロロジックデコーダーに接続するとき

「マルチチャンネル」を選んだ場合
- 「デジタル出力」（➜93）の各項目を「PCM」にした場合のみ有効です。
- 接続しているアンプ側で遅延効果の設定ができないときは、接続したスピーカーに応じて、以下の設定を行ってください。

スピーカーの有無とサイズの設定（Ⓐ）

① **[▲][▼][◀][▶]で項目（Ⓐ）を選び、[決定]を押す**

② **[▲][▼]で内容を変更し、[決定]を押す**

- サブウーハーを「なし」にすると、フロントスピーカーは自動的に「大」になります。（この場合、100 Hz 以下の低音を再生できるフロントスピーカーを接続することをお勧めします）

サラウンド（LS）の場合の表示例　大　小　なし

スピーカーが100 Hz以下の出力を
　できるとき　：**大**
　できないとき：**小**

音声出力の遅延効果の設定（Ⓑ）

サラウンド音声を楽しむには、すべてのスピーカー（サブウーハーは除く）を、下記のように円状に置くのが理想です。置けない場合は、この設定により音声出力に遅延効果を与え、仮想的に理想の視聴位置を実現します。

① **[▲][▼][◀][▶]で項目（Ⓑ）を選び、[決定]を押す**

② **[▲][▼]で内容を変更し、[決定]を押す**

5.1chスピーカーの設置　**7.1chスピーカーの設置**

設定値　距離Aまたは距離B≧距離C：0.0 ms
　　　　距離Aまたは距離B<距離C：下記

距離（AとC）の差	設定値
約　34 cm	1.0 ms
約　68 cm	2.0 ms
約 102 cm	3.0 ms
約 136 cm	4.0 ms
約 170 cm	5.0 ms

距離（BとC）の差	設定値
約 170 cm	5.0 ms
約 340 cm	10.0 ms
約 510 cm	15.0 ms

設定終了後、**[▲][▼][◀][▶]で「終了」を選び、[決定]を押す**

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

BD ビデオ※ 	**映画や音楽など、ハイビジョン画質・最大 7.1ch 音声に対応する市販ソフト** ●本機では右記のマーク(リージョンコード)が表示されたディスクを再生できます。 ●本機では BONUSVIEW™ 対応のディスクを再生できます。(➜42) 「A」または「A」を含むもの 例)
DVD ビデオ 	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。 「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたもの 例) ●番号は国により違います。
CD 	●**音楽や音声が記録された市販ソフト**(CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む) ●**写真(JPEG)が記録された CD-R や CD-RW**
+R +R DL(片面2層) +RW	**他の DVD レコーダーで録画されたディスク** ●録画した機器でファイナライズ(➜126)を行ったディスクのみ再生できます。
他機器でハイビジョンムービーの動画(AVCHD) が記録されたディスク	**以下のディスクが再生できます。** ●**BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW** ●BD-RE、BD-R、DVD-RAM 以外は、録画した機器でファイナライズ(➜126)を行ったディスクのみ再生できます。 ●**ハイビジョンムービーの動画とハイビジョン画質の番組が混在したディスクについて** 本機では、再生のみできます。再生前に、**初期設定**「ハイビジョンムービー優先モード」(➜92)を「入」にしてください。

※ ● ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS-HD それぞれに対応したデコーダーを搭載したアンプと HDMI 端子で接続し、**初期設定**「デジタル出力」(➜93)を「Bitstream」、「BD ビデオ副音声·操作音」(➜93)を「切」にすると、それぞれの音声を楽しむことができます。
● ソフトのすべての機能をお楽しみいただくために、SD カードを必要とする場合があります。
● BD-J アプリケーション(➜127)が実行されている場合、本機の操作が遅くなる場合があります。故障ではありません。
● 2 枚組の BD-V を再生している場合、1 枚目の再生が終わっても、再生画面が表示され続けることがあります。

記録状態によって再生できない場合があります。
●ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクのジャケットなどをご覧ください。
●CD-DA 規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

8 cm ディスクについて
本機では、BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW の 8 cm ディスクに記録や編集はできません。
再生や HDD へのダビングのみ可能です。

「RAM 2」マークのついた DVD-RAM ディスク(6X 以上の 高速記録対応)**について**
本機では、記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

●カートリッジ付きの DVD-RAM(TYPE1)
●3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズ(➜126)されていないDVD-R(ビデオ方式)、DVD-R DL(ビデオ方式)、DVD-RW(ビデオ方式)
●PAL方式で記録されたディスク
●リージョンコード**「A」を含まない**BDビデオ
●リージョン番号**「2」「ALL」以外**のDVDビデオ
●BD-RE(Ver.1.0)
●HD DVD ●DVD-ROM ●CD-ROM ●CDV ●DVDオーディオ
●CD-G ●Photo-CD ●CVD ●SVCD ● ビデオCD
●SACD ●MV-Disc ●PD ●DVD-RW(片面 2 層) など

録画モードについて

録画モード	特徴	記録できる放送 / 入力	記録できる画質	記録できるディスク	画質と記録時間
DR	**ハイビジョンモード** 放送そのままの画質で記録	地上･BS･CS デジタル放送	放送画質 （ハイビジョン画質）	HDD BD-RE BD-R	高画質 ↕ 長時間
HG HX HE	**ハイビジョン長時間モード** 放送データを圧縮※して、ハイビジョン画質で長時間記録 ディスクにもハイビジョン画質で記録 ※ MPEG-4 AVC/H.264 エンコード		ハイビジョン画質	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)	
XP SP LP EP	**標準画質モード** 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	地上･BS･CS デジタル放送 地上 アナログ放送 外部入力	標準画質	HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW	高画質 ↕ 長時間
FR	**自動調整モード** ディスクの残量に合わせてXP ～ EP の中で画質を自動調整して記録				―

録画モード	DR	HG•HX•HE	XP ～ EP	FR
ハイビジョン画質の映像は？	放送そのままのハイビジョン画質	放送の画質を変換したハイビジョン画質	標準画質	
サラウンドの番組の音声は？	放送そのままのサラウンド音声	放送の音声方式を変換したサラウンド音声※1	ステレオ音声	
複数の音声が含まれている番組は？	複数の音声をすべて記録	音声は 1 つだけ記録※2		
複数の映像が含まれている番組は？	複数の映像をすべて記録	映像は 1 つだけ記録※2		
字幕情報が含まれている番組は？	再生時、字幕表示の入 / 切ができる	再生時、字幕表示の入 / 切はできない※2		

※ 1　**初期設定**「HG ～ HE のディスク記録音声」(➜**92**)が「固定」で BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) に記録する場合、ステレオ音声になります。

※ 2　記録したい映像や音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合：
- **録画時**　：「信号切換」(➜**23**)で選ぶ
- **予約録画時**　：「信号設定」(➜**34**)で選ぶ
- **ダビング時**　：「信号切換」(➜**46**)で選んだあと、「再生中番組の保存」(➜**53**)を行う

録画モードと記録時間の目安

記録できる最大番組数

- HDD ：499
  （長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）
- RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)：99
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)：200

録画モード ＼ ディスク			内蔵HDD (250 GB)	BD-RE、BD-R 1層(25 GB)	BD-RE、BD-R 片面2層(50 GB)
DR	BS デジタル	HD放送 (<24 Mbps)	約22時間30分	約2時間10分	約4時間20分
DR	BS デジタル	SD放送 (<12 Mbps)	約45時間	約4時間20分	約8時間40分
DR	地上デジタル	HD放送 (<17 Mbps)	約31時間30分	約3時間	約6時間
HG			約40時間	約4時間	約8時間
HX			約63時間	約6時間	約12時間
HE			約94時間 30分	約9時間	約18時間
XP			約55時間	約5時間15分	約10時間30分
SP			約111時間	約10時間30分	約21時間
LP			約222時間	約21時間	約42時間
EP			約443時間（約333時間）	約42時間（約31時間30分）	約84時間（約63時間）

録画モード ＼ ディスク	DVD-RAM 片面(4.7 GB)	DVD-RAM 両面(9.4 GB)	DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (片面2層) (8.5 GB)	DVD-RW (4.7 GB)
HG	約42分	約1時間24分	約42分	約1時間20分	—
HX	約1時間5分	約2時間10分	約1時間5分	約2時間	—
HE	約1時間40分	約3時間20分	約1時間40分	約3時間	—
XP	約1時間	約2時間	約1時間	約1時間45分	約1時間
SP	約2時間	約4時間	約2時間	約3時間35分	約2時間
LP	約4時間	約8時間	約4時間	約7時間10分	約4時間
EP	約8時間（約6時間）	約16時間（約12時間）	約8時間（約6時間）	約14時間20分（約10時間45分）	約8時間（約6時間）

- HDD 写真を記録している場合、記録できる時間は少なくなります。
- RAM 両面ディスクの場合、連続記録･再生はできません。
- EP モードは**初期設定**「EP時の記録時間」(**➔92**)の設定で記録時間は異なります。[()内の時間は EP(6 時間)のとき]
  ･「6時間」の方が高音質です。
  ･ RAM(VR) EP(8時間)モードで記録した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6時間)モードで記録してください。

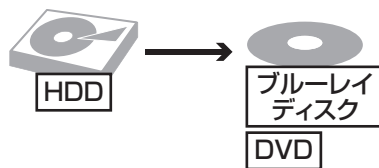
上記の表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。(HDD RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL では、特にその差が著しくなります)残量に余裕がある状態で記録してください。
- DRモードの録画時間は放送(転送レート)によって異なるため、残量表示は、地上デジタル放送(17 Mbps時)またはBSデジタル HD 放送(24 Mbps 時)として計算されています。そのため、実際の残量と異なる場合があります。
- HG、HX、HE モードで録画した場合、番組の内容によっては DR モードで録画するよりも使用容量が大きくなることがあります。

画質と記録時間について
スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード(例:HE や EP)で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR や XP など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

ダビングについて

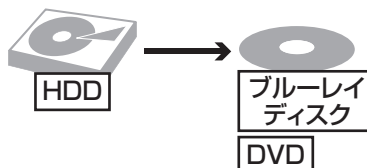
再生中番組の保存

HDDで再生中の番組を、ディスクへダビングすることができます。

ダビングできる方向

操作方法は ➜53

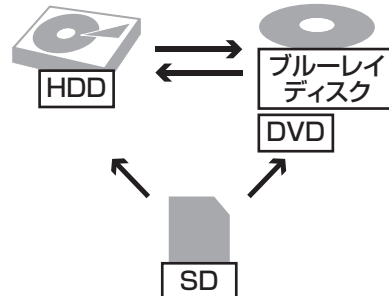
おまかせダビング

難しい設定なしに、HDDの番組をダビングできます。

ダビングできる方向

操作方法は ➜18

詳細ダビング

お好みの設定で番組のダビングができます。

ダビングできる方向

SD MPEG2動画はブルーレイディスクにダビングできません。

操作方法は ➜56 ～ 59

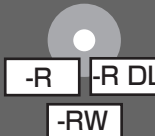
ハイビジョンムービー(AVCHD)を取込

ディスクやSDカードからハイビジョン動画(AVCHD)を取り込むことができます。

ダビングできる方向

BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW、+R、+R DL、+RW ➜ HDD

SD ➜ HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)

操作方法は ➜65

お勧めのダビング方法は？

1 回のダビングで複数の番組をダビング	簡単に	おまかせダビング
	好みの設定で	詳細ダビング
複数の映像や音声を含んだ DR モードの番組をダビング		再生中番組の保存
ダビング中に録画や再生をする	1 番組のみ	再生中番組の保存 高速でダビング中のときに、HDD の録画や再生ができます。
	複数番組	詳細ダビング
ディスクの残量に合わせてダビング		詳細ダビング 録画モードを「FR」にしてダビングしてください。 ● RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にはできません。 ●ダビングする番組数によっては、ディスク残量ぴったりにならないことがあります。

ダビング方向について

どこからダビング？	ディスクの記録方式は？	どこへダビング？	ディスクの記録方式は？	可能なダビング方法は？
HDD	ー	BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW	記録方式にかかわらず DVDの場合、デジタル放送は、CPRM 対応のディスクを準備してください。	再生中番組の保存 (➔53) おまかせダビング (➔18) 詳細ダビング (➔56)
BD-RE BD-R	ー	HDD	ー	詳細ダビング (➔56)
RAM	VR方式 AVCREC方式	HDD	ー	詳細ダビング (➔56)
-R -R DL -RW	VR方式 AVCREC方式（-RW を除く）	HDD	ー	詳細ダビング (➔56)
-R -R DL -RW	ビデオ方式（ファイナライズ前）	ダビングできません		
-R -R DL -RW	ビデオ方式（ファイナライズ後）	HDD	ー	詳細ダビング (➔58)
SD (MPEG2)	ー	HDD	ー	詳細ダビング (➔59)
SD (MPEG2)	ー	BD-RE BD-R	ー	ダビングできません
SD (MPEG2)	ー	RAM -R -R DL -RW	VR方式	詳細ダビング (➔59)
SD (MPEG2)	ー	RAM -R -R DL -RW	ビデオ方式 AVCREC方式	ダビングできません

●ダビング方向、ディスクや記録方式によっては、高速でダビングできない場合があります。
(➔103「高速でダビングできないのはどんな場合？」)

ダビングについて(つづき)

ダビング速度について

本機では、ダビングする番組、ディスク、設定によって、高速でダビングできる場合と1倍速でのダビングになる場合があります。

	高速ダビング	1倍速ダビング
特徴	ダビングする番組の記録時間よりも短い時間で、画質(録画モード)を変えずにダビングします。	ダビングする番組の記録時間と同じ時間、またはそれ以上の時間をかけてダビングします。ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。
「サムネイル変更」の保持	○	×
「チャプターマーク」の保持	○※1	○※1
ダビング中の録画・再生	○(HDD の番組のみ)※2	×

※1 チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数(ディスクあたり:999個/1番組あたり: RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) 99 個、BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) 100 個)を越えると、越えた分は保持されません。

※2 おまかせダビング中やファイナライズを含むダビング中、SDカードのMPEG2動画をダビング中、AVCHD 動画の取込中はできません。
- ・追っかけ再生などはできません。
- ・写真の再生はできません。

高速でのダビング所要時間の目安(最高速時/JEITA測定基準によるダビング時間と倍速表示値を示す)

HDD 録画モード	HDD 録画時間	2X高速記録対応 BD-RE(片面2層) 所要時間	倍速	2X高速記録対応 BD-RE(1層) 所要時間	倍速	4X高速記録対応 BD-R(片面2層) 所要時間	倍速	4X高速記録対応 BD-R(1層) 所要時間	倍速
DR※	1時間	約15分	約4倍	約15分	約4倍	約7分30秒	約8倍	約7分30秒	約8倍
HG		約12分	約5倍	約12分	約5倍	約6分	約10倍	約6分	約10倍
HX		約7分30秒	約8倍	約7分30秒	約8倍	約3分45秒	約16倍	約3分45秒	約16倍
HE		約6分	約10倍	約6分	約10倍	約2分35秒	約23倍	約2分35秒	約23倍

※ 地上デジタル(約17 Mbps)の場合

HDD 録画モード	HDD 録画時間	5X高速記録対応 DVD-RAM 所要時間	倍速	16X高速記録対応 DVD-R 所要時間	倍速	4X高速記録対応 DVD-R DL(片面2層) 所要時間	倍速	4X高速記録対応 DVD-RW 所要時間	倍速
HG	1時間	約14分	約4倍	約8分30秒	約7倍	約18分30秒	約3倍	—	—
HX		約10分	約6倍	約6分	約10倍	約12分	約5倍	—	—
HE		約6分40秒	約9倍	約3分45秒	約16倍	約8分35秒	約7倍	—	—
XP		約12分	約5倍	約5分46秒	約10倍	約15分	約4倍	約15分	約4倍
SP		約6分	約10倍	約2分30秒	約24倍	約7分30秒	約8倍	約7分30秒	約8倍
LP		約3分	約20倍	約1分22秒	約44倍	約3分45秒	約16倍	約3分45秒	約16倍
EP(6時間)		約2分	約30倍	約1分	約60倍	約2分24秒	約25倍	約2分24秒	約25倍
EP(8時間)		約1分20秒	約45倍	約45秒	約80倍	約1分53秒	約32倍	約1分53秒	約32倍

- HDDに録画した 1 時間番組を、表に記載の高速記録対応ディスクに高速ダビングした場合の最速値です。
  ディスクの書き込み位置や特性などの条件により時間や速度が変わります。
- ディスクの倍速表示にかかわらず、DVD-R は最大12X、DVD-RWは最大4X にしかなりません。
- HGモードでは、4.7 GBの RAM(AVCREC) -R(AVCREC) へ最大約42分までしか記録できません。上記は、比較のため算出したものです。
- ダビング中にHDDの録画や再生をすると、最高速度にならないことがあります。

高速でダビングできないのはどんな場合？	**以下の場合、1倍速でのダビングになります。** ●「DR」「HG」「HX」「HE」モード以外の番組を BD-RE BD-R にダビング時 ●DR モードの番組を DVD にダビング時 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) に以下のダビング時 ・**初期設定**「高速ダビング用録画」(➔92)を「切」にして、HDDに記録した番組を含むダビング ・部分消去を繰り返した番組 ・HDD内の SDカードからダビングした MPEG2動画の番組 ●詳細ダビングで「録画モード」を「高速」以外にする ● RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW に以下の番組をダビング時 ・HG、HX、HE モードの番組 ・HDD に取り込んだ AVCHD 動画の番組 ● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) から HDD にダビング時 ●ディスクに取り込んだ AVCHD 動画の番組を HDD にダビング時 ●**初期設定**「HG ～ HE のディスク記録音声」(➔92)が「固定」で、HG、HX、HE モードの番組を BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にダビング時
高速記録対応ディスク(RAM 5X、-R 8X以上など)に高速ダビングする場合	動作音が気になるときは、**初期設定**「DVDの高速ダビング速度」(➔92)を「静音モード」にしてください。ただし、ダビングにかかる所要時間は長くなります。
-R(V) -R DL(V) -RW(V) に1倍速でダビングする場合	1 倍速で番組を HDD に一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。 以下の場合、ダビングできません。HDD の不要な番組を消去(➔17)してからダビングしてください。 ●HDD の残量が少ないとき(使用するディスクによっては、HDD の残量が SP モードで最大４時間必要な場合があります) ●HDD 内の番組数とダビングする番組数の合計が 499 を超えるとき

SD カードについて

本機で使えるカードは？		SD メモリーカード 8 MB ～ 2 GB SDHC メモリーカード 4 GB ～ 16 GB miniSD メモリーカード microSD メモリーカード ●本書では上記カードのことを「SDカード」と記載しています。 ●miniSDカード、microSDカードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
何ができるか？	**動画** MPEG2 AVCHD	●当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画を HDD RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) にダビングできます。(➜59) SD カードから MPEG2 動画を直接再生することはできません。 ●当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画（AVCHD）の再生や HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) への取り込みができます。(➜64)
	写真 JPEG	●デジタルカメラなどで撮影した写真の再生(➜66)やダビング(➜74)ができます。

使用可能なSDカードについて

●4 GB以上のメモリーカードは、SDHCロゴのある（SD 規格準拠）カードのみ使用できます。
●使用可能領域は、表示容量より少なくなります。
●**最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
http://panasonic.jp/support/bd/
●SDカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。
また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。
このようなときは本機でフォーマットしてください。(➜79)
●本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。
●**本機で記録したSDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDメモリーカードのみに対応した機器では使用できません。**

■カードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。
廃棄/譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、カードの内容を誤って消去することを防げます。

記録の制限について

ワイド放送など16:9映像の記録

- **初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」のとき
  - アナログ放送や外部入力から録画する
  - ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）からHDDにダビングする
- -R(V) -R DL(V) -RW(V) への記録時

初期設定「ビデオ方式の記録アスペクト」（➜92）の設定に従って記録されます

デジタル放送の4:3映像の記録

左右の黒帯のついた16:9映像として記録されます。

標準画質でのデジタル放送の記録

放送によっては、「DR」モードよりも他の録画モードで記録するほうが、容量が大きくなる場合があります。

音声多重放送の記録

設定やディスクによって、記録できる音声は異なります。**（詳しくは ➜106）**

ハイビジョン画質やサラウンド音声の記録

録画モードによって、記録できる内容は異なります。**（詳しくは ➜98）**

デジタル放送の録画とダビング

- 10～2、表示のある番組

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。
HDDに録画した番組のコピー制限が「ダビング10」の場合は10を、「1回だけ録画可能」の場合は を表示します。（ディスクに録画した場合は、 が表示され番組のダビングはできません）

ブルーレイディスクの場合：

市販されているディスクはそのまま使用できます。

DVDの場合：

- **記録するディスクは、著作権保護技術を持ったCPRMに対応している必要があります。**

パッケージに
CPRM対応 の記載のある
ディスクを準備してください。
（デジタル放送録画用と記載されている場合もあります）

10～2 の数字はダビングできる残り回数を表しています。
2 の番組をダビングすると、ダビングの残り回数は1回になり、 が表示されます。
の番組をディスクへダビングすると、HDDの番組は消去されます。（複製はできません）

・プロテクト（**➜48**）を設定した番組はダビングできません。
・ディスクからHDDへの移動はできません。
・当社製のブルーレイディスクやCPRM対応のDVDのご使用をお勧めします。

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

CATVなどからの録画とダビング

外部入力（L1、L2）で接続したCATVなどから本機に録画する場合：
- コピー制限のある番組は、著作権保護の規定により BD-RE BD-R には直接録画やダビングはできません。当社製のCPRM対応のDVDをVR方式でフォーマットしてお使いになることをお勧めします。

多重音声の記録について

海外映画やスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ番組や複数の音声を含んだ番組があります。
このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

多重音声の種類

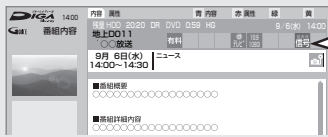
現在、主に放送されている多重音声には以下の種類があります。

- デジタル放送のマルチ音声：複数の音声が含まれる
- デジタル放送の二重音声
- アナログ放送の二重音声

（デジタル放送の二重音声・アナログ放送の二重音声）1つの音声の中に主音声と副音声が含まれる

こんにちは　Hello

録画する放送の音声を見分けるには…

番組表（Gガイド）の番組内容画面で、表示されるマークを確認してください。

信号 :マルチ音声

主+副 :二重音声

番組を視聴中のときは、
[音声]を押して、音声を切り換えて確認することもできます。

例えば、日本語と英語の二ヵ国語放送を記録する場合

	記録先	デジタル放送のマルチ音声	デジタル放送の二重音声	アナログ放送の二重音声
両方の音声を記録するには	HDD ブルーレイディスク	DR モードを選ぶ	録画モードにかかわらず両方の音声が記録されます※	**「高速ダビング用録画」（➜92）**を「切」にして記録する
（こんにちは　Hello）	DVD	両方の音声を記録することはできません。 ●記録する音声を選ぶには **（➜ 下記）**	RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) を使う※	RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) を使う ●予約時は、**「高速ダビング用録画」（➜92）**を「切」にしてください。
片方の音声のみ記録するには	HDD ブルーレイディスク	HG、HX、HE、XP、SP、LP、EP、FR モードを選ぶ	— （両方の音声を記録します※）	**「高速ダビング用録画」（➜92）**を「入」にして記録する
（こんにちは） ●記録する音声を選ぶには **（➜ 下記）**	DVD	RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) を使う	— （両方の音声を記録します※）	-R(V) -R DL(V) -RW(V) を使う

		デジタル放送のマルチ音声	アナログ放送の二重音声
記録する音声を選ぶには	録画時	●**直接録画の場合** 「信号切換」**（➜23）**の「音声」 ●**予約録画の場合** 予約時の「信号設定」**（➜34）**の「音声」	「二重放送音声記録」**（➜94）** ●**外部入力から二重音声を録画する場合** ・外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力するように設定 ・録画前に、「外部入力の音声」**（➜94）**で「二重音声」を選ぶ
	ダビング時	**再生設定**「信号切換」**（➜46）**の「音声」で音声を選び、「再生中番組の保存」**（➜53）**でダビング	

※ BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) **初期設定**「HG ～ HE のディスク記録音声」**（➜92）**が「固定」の場合、「二重放送音声記録」**（➜94）**で選ばれた音声のみ記録します。

同時操作について

番組の録画中・ダビング中にできる操作

（○：できる　×：できない）

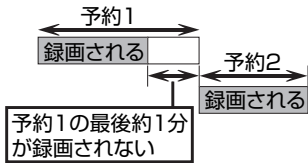
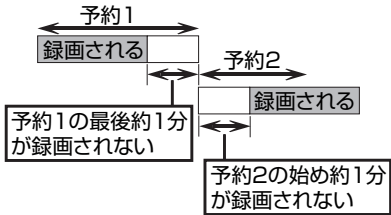
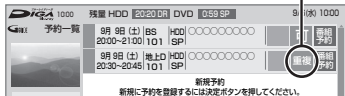
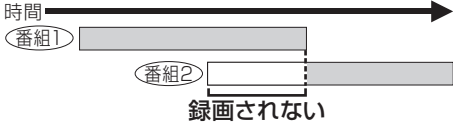
	HDD の再生	ディスクの再生	SD カードの再生	ダビング	編集	写真の再生	音楽の再生
DR モードで HDD に録画中	○	○※1	×	×	○	×	○
HG、HX、HE モードで HDD に録画中	○	○※1※2	×	×	○	×	○
デジタル放送を XP ～ EP、FR モードで HDD に録画中	○	○※1※2	×	×	○	×	○
アナログ放送を XP ～ EP、FR モードで HDD に録画中	○	○※1※2	×	×	○	×	○
ディスクに予約録画中	○	×	×	×	○※3	×	×
おまかせダビング中	×	×	×	×	×	×	×
1 倍速でダビング中	×	×	×	×	×	×	×
高速でダビング中（ファイナライズあり）	×	×	×	×	×	×	×
高速でダビング中（ファイナライズなし）	○	×	×	×	○※3	×	×

●「外部入力（L1）取込」中は同時操作はできません。

※1　市販の映画などが記録された BD ビデオは再生できません。
※2　AVCHD のディスクは再生できません。
※3　ディスクの編集はできません。

他の操作を実行中の予約録画の動作

（○：実行する　×：実行しない）

他の操作	予約録画の実行	他の操作	予約録画の実行
録画中	○※1	外部入力（L1）取込中	○※1
再生中（番組・写真）	○※2	AVCHD 取込中	×
番組の編集の処理を実行中	○	写真おまかせ取込中	×
写真の編集の処理を実行中	×	写真のダビング中	×
おまかせダビング中	×	フォーマット中	×
番組を高速でダビング中（ファイナライズあり）	×	ファイナライズ中	×
番組を高速でダビング中（ファイナライズなし）	○	番組キープ中	○※1
番組を 1 倍速でダビング中	×		

※1　実行中の操作は終了します。
※2　ディスク再生中に、ディスクへの予約録画が始まるときや、BD ビデオ再生中のときは、再生は終了します。

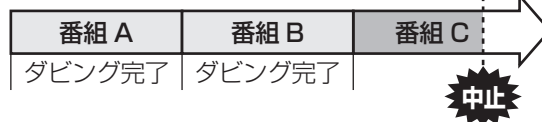
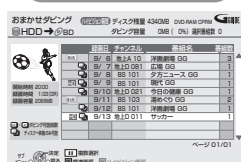
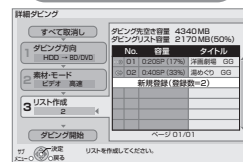
●各操作の実行前の画面に予約録画に関するメッセージが表示されますので、ご確認ください。
●予約録画が実行されなかった場合、それぞれの操作終了時点から予約録画が始まります。

Q＆A(よくあるご質問)

予約録画に関する質問

<table>
<tr><th>Q(質問)</th><th>A(回答)</th></tr>
<tr><td>予約録画待機中に録画や再生はできる？</td><td>できます。
ただし、以下の場合は、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。
●録画中　:予約録画の開始時刻になったとき
●ディスク再生中　:ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき
●BD ビデオ再生中　:予約録画の開始時刻になったとき</td></tr>
<tr><td>電源を入れたまま予約時間になった場合は？</td><td>電源の切/入にかかわらず、予約録画は始まります。
終了後も電源は入ったままになりますが、予約録画中に電源を切ることはできます。(録画に影響はありません)</td></tr>
<tr><td>前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合、どうなる？</td><td>●前の予約の終わりの約1分が録画されません。
予約1
録画される
予約2
録画される
予約1の最後約1分が録画されない
次の予約先が「BD」の場合は、次の予約(「BD」)の始めも、約 1 分が録画されません。
予約1
録画される
予約2
録画される
予約1の最後約1分が録画されない
予約2の始め約1分が録画されない
●前の予約の録画中に、予約の終わりの約 1 分前になると、前の予約のチャンネルから次の予約のチャンネルに切り換わります。</td></tr>
<tr><td>「新番組おまかせ録画」の予約を取り消すとどうなる？</td><td>取り消した新番組が、再び自動で予約されることはありません。ただし、「新番組おまかせ録画の設定」をいったん「切」にして再び「入」にした場合に、再び予約されることがあります。</td></tr>
<tr><td>予約時刻が重なっている番組はどうなる？</td><td>予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。
予約一覧で「重複」が表示
開始時刻の早い1番組のみ録画されます。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。
時間
番組1
番組2
録画されない</td></tr>
</table>

ダビングに関する質問

Q(質問)	A(回答)
ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？	例)番組A·B·Cの順にダビングして 番組Cの途中で中止した場合 番組 A / 番組 B / 番組 C ダビング完了 / ダビング完了 / 中止 高速 番組A·Bのみダビングされます。 番組 C はダビングされません。 1 倍速 番組A·Bと番組Cの途中までがダビングされます。 ただし ●HDDからディスクへのダビングで、番組Cがコピー制限のある番組 ·番組Cはダビング(移動)されず、HDDに残ります。 ●HDDから -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビング ·HDDに一時的に複製中: 番組A·B·Cはダビングされません。 ·ディスクに高速ダビング中: 番組 C はダビングされません。 BD-R -R -R DL 番組Cの中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。
複数の番組を組み合わせてダビングする場合、順番はどうなる？	おまかせダビング 画面の上から順にダビング (登録した順にダビングはされません) 詳細ダビング 「No.」の順にダビング ●お好みの順にダビングしたい場合は、「詳細ダビング」で1つずつ番組を登録してください。
複数の番組をダビングしたあと、再生するには？	[**再生ナビ**] を押して番組を選んで再生してください。
市販の BDビデオからダビングできるか？	できません。
市販のDVDビデオからダビングできるか？	市販されているほとんどのDVD ビデオは、ダビング禁止処理がされています。その場合、ダビングできません。
ディスクに高速でダビングしたいときは？	●デジタル放送は、以下のようにダビングすると高速ダビングすることができます。 ·DR モードの番組: BD-RE BD-R にダビング ·HG、HX、HE モードの番組: BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にダビング [**初期設定**「HG ~ HE のディスク記録音声」(➜92)が「オート」時] ·XP ~ EP、FR モードの番組: RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) にダビング ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) アナログ放送は、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にしてHDDに録画すると、ディスクに高速ダビングできます。

Q＆A（よくあるご質問）（つづき）

その他の質問

	Q（質問）	A（回答）	ページ
ディスク	CD-RやCD-RWは使えるか？	●CD-DAや写真（JPEG）が記録されたディスクの再生ができます。 ●本機では記録できません。	97 —
ディスク	海外で買ったBDビデオやDVDビデオは再生できるか?	●映像方式がNTSCであれば再生できます。 ●それぞれのリージョンコード/番号が以下の場合なら再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。 ・BD-V リージョンコードが「A」を含む ・DVD-V リージョン番号が「ALL」または「2」を含む	— 97
ディスク	リージョンコード / 番号がないBD ビデオや DVDビデオは再生できるか?	●リージョンコード/番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。これらがない（規格を満たしていない）場合は再生できません。	—
写真	番組の一部分をキャプチャーして静止画として写真にすることはできるか？	●本機ではできません。	—

デジタル放送を記録したDVDを他の機器で再生するには?

著作権保護のため、デジタル放送を記録するには、記録するディスクや記録方式などに条件があります。
そのため、そのディスクもすべての機器で再生できるわけではありません。
お使いの機器が以下の①～③に対応しているかご確認ください。

再生機器

① 記録したディスクの再生に対応していますか?

に対応している必要があります。

② 記録したディスクの記録方式の再生に対応していますか?

それぞれのディスクの
VR方式　AVCREC方式（-RWは除く）に対応している必要があります。

③ CPRM（デジタル放送の記録などに使われる著作権保護技術）に対応していますか?

CPRMに対応している必要があります。

例えば

デジタル放送を DVD-R に VR方式 で記録した場合

DVD-RのVR方式の再生に対応している必要があります。
・機器によっては、DVD-Rの再生には対応していても VR方式の再生には対応していない場合があります。
その場合は、再生できません。

・再生する機器が対応しているかは、その機器の説明書をご覧ください。
・-R(VR) 2005年7月以降に発売された当社製DVDレコーダーで再生できます。（2008年2月現在）
当社製のDVDプレーヤーなどでは、以下の機器で再生できます。（2008年2月現在）
DVD-S50/DVD-LX87/DVD-LX88/DVD-LX97/DVD-LS80/DVD-LS81/DVD-LS91/NV-VP70

受信できるテレビ放送について

B-CASカードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。

放送の種類 本書での表示	特徴	本機で利用できるサービス（用語については➜126）
地上デジタル 地上デジタル	UHF帯の電波を使って行う放送で、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。 高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。（2008年２月現在） **本機では、ワンセグ放送（携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送）は受信できません。**	テレビ番組ガイド（EPG） 字幕放送 双方向サービス
BSデジタル BS デジタル	放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。 ●BS日テレ、BS朝日、BS-i、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。 ●WOWOWなどの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。 ●本機では、BSアナログ放送はご覧いただけませんが、より多くのチャンネルをご覧いただけるBSデジタル放送をお楽しみいただけます。	テレビ番組ガイド（EPG） 字幕放送 双方向サービス
110度CS デジタル CS デジタル	通信衛星（Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。 ●110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー!e2」への加入申し込みと契約が必要です。 「スカパー!e2」には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあります。 **お問い合わせ先** 「スカパー!e2」カスタマーセンター **0570-08-1212**（ナビダイヤル）（携帯電話・PHSの方は、**045-276-7777**） 受付時間　10:00～20:00（年中無休） 「スカパー!e2」公式ホームページ　**http://www.e2sptv.jp/**	テレビ番組ガイド（EPG） 字幕放送 双方向サービス
地上アナログ 地上アナログ	従来からのVHF/UHF放送のことです。（2008年２月現在） 地上アナログ放送は、2011年7月に終了することが国の方針として決定されています。 地上アナログ放送終了後は、地上アナログ放送に関する機能は、お使いいただけません。 本機では、地上アナログ放送の電波のすきまで送られてくる文字放送（字幕）は、ご覧いただけません。	テレビ番組ガイド（EPG） ●BSデジタル放送受信の環境が必要です。（➜**準備編 26**）

BSアナログ放送のWOWOWはBSデジタル放送のチャンネルの一部として、「スカパー!」は「スカパー!e2」として110度CS デジタル放送で、お楽しみいただけます。すでにご契約されていた場合は、再契約が必要になり、専用デコーダーなどは不要になります。（放送内容は異なりますので、再契約をされる場合は内容をご確認ください）

デジタル放送には、3種類の放送があります。

テレビ放送

従来からのテレビ放送です。

ラジオ放送　本機では記録できません

音楽など音声を主とした放送です。

データ放送　本機では視聴のみできます

お住まいの地域の生活情報やクイズなどの放送です。（天気予報やニュースなど）

●ラジオ放送は、現在実施されていません。（2008年2月現在）
●データ放送は、録画や再生時に表示できません。

取り扱いについて

■録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画·編集ができなかった場合の内容の補償、録画·編集した内容(データ)の損失、および直接·間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合(HDD 以外の修理を行った場合も)においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の設置場所

●ビデオなどの熱源となるものの上に置かない。
●温度変化が起きやすい場所に設置しない。
●「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。
●「つゆつき」が発生しやすい状況
·急激な温度変化が起きたとき(暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど)
·湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
·梅雨の時期
●「つゆつき」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで(約2～3時間)、**電源を切ったまま放置してください。**

本機の移動

① 電源を切る(本体表示窓から"BYE"が消えるまで待つ)
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ HDDの回転が完全に止まってから(2分程度待ってから)、振動や衝撃を与えないように動かす
(電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています)

お手入れ

本体

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
●汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画/再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画·再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー(別売)(**➜準備編 裏表紙**)でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。
●クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

本機を廃棄/譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)が記録されています。
廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、**放送設定**「個人情報リセット」を実行し、記録された情報を消去してください。(**➜90**)
●本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

本機が操作を受けつけなくなったときは…

●各種安全装置が働いていることがあります。
① **本体の[電源 ⏻/I]を押し、電源を切る**
●切れない場合は、約3秒間押し続けると強制的に切れます。(または、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)
② **本体の[電源 ⏻/I]を押し、電源を入れる**
上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

HDD（ハードディスク）

HDD は振動･衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。
特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画･再生中の内容が損なわれる可能性があります。

HDD は一時的な保管場所です

HDD は、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

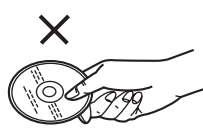
HDD に異常を感じた場合はすぐにダビング(バックアップ)を…

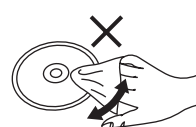
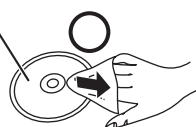
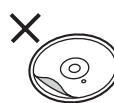
HDD 内に不具合個所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、HDD 全体が使えなくなってしまう恐れがあります。
このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

●**HDD が故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。**

HDD は自動的に休止状態になります	通電中、HDD は高速で回転しています。省電力のため、ディスクが入っていない状態で約 30 分以上操作しないと HDD の回転を止め、休止します。HDD を休止状態にするために、お使いにならないときは、ディスクを取り出しておくことをお勧めします。 ●**初期設定**「ビエラリンク録画待機」(➜95)が「入」の場合、休止状態になりません。 ●起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。
本機から HDD の動作音が聞こえますが故障ではありません	HDD の品質維持のため、自動的に内部点検を行っています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。 ●HDD が休止状態になるとき ●電源切 / 入時 ●番組表(G ガイド)データを受信中 ●オンエアーダウンロード中 ●予約録画終了時または午前 4 時ごろ(1 週間に一度程度)の、本機全体の自動再起動時 ●録画モード変換時 ●**初期設定**「ビエラリンク録画待機」(➜95)の「入」時

ディスク カード

持ちかた

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

破損や機器の故障防止のために	**次のことを必ずお守りください。** ●落としたり、激しい振動を与えたりしない。 ●お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。 ●**ディスク** ･シールやラベルをはらない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります) ･印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。 ･傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。 ･以下のディスクを使わない。 - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク - ハート型など、特殊な形のディスク ●**カード** ･カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
保管場所	**次のような場所に置いたり保管したりしない** ●ほこりの多いところ ●高温になるところ ●温度差が激しいところ ●湿度の高いところ ●湯気や油煙の出るところ ●冷暖房機器に近いところ ●直射日光のあたるところ ●静電気･電磁波の発生するところ(大切な記録内容が損傷する可能性があります) 使用後はケースに収めてください。

こんな表示が出たら

	表示文字（数字は例）	調べるところ・原因・対策	ページ
本体表示窓	D	●番組データなど放送情報を受信中です。 ●録画モード変換の処理中です。	— —
	TEL	●購入記録の送信など電話回線使用中です。	—
	61PCT	●高速ダビング中やファイナライズ中などの進捗状況です。（例：61 パーセント）	—
	A 1	●現在選んでいる地上アナログ放送のチャンネルです。（例：1 チャンネル）	—
	BS 101	●現在選んでいる BS デジタル放送のチャンネルです。（例：101 チャンネル）	—
	B-CAS OUT	●B-CASカードが正しく挿入されていません。正しく挿入してください。	—
	C1 001	●現在選んでいる CS1 放送のチャンネルです。（例：001 チャンネル）	—
	C2 100	●現在選んでいる CS2 放送のチャンネルです。（例：100 チャンネル）	—
	D 011	●現在選んでいる地上デジタル放送のチャンネルです。（例：011 チャンネル）	—
	DL 1/5	●ダウンロード実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。 （1/5などはダウンロードの進捗状況です）	—
	HARD ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	HDMI ONLY	● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) ディスクによっては、著作権保護の規定により、アナログでの出力を禁止している場合があります。その場合は、HDMI 端子のみ映像出力が可能です。	—
	JPEG	●写真（JPEG）再生中です。	—
	L1	●現在、外部入力が選ばれています。（例：L1）	—
	NAVI	●再生ナビや消去ナビ画面を表示中です。	—
	NoFINALIZE	● -R(V) -R(AVCREC) -R DL(V) -R DL(AVCREC) -RW(V) （未ファイナライズのディスクのみ） HDD の録画や再生中などに、**[開/閉▲]** を押したときに表示されます。ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。	—
	NoREAD	●ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。 ●レンズクリーナー（別売）（**➜準備編 裏表紙**）の作業が終了したときに、表示されることがあります。**[開/閉▲]** を押してクリーナーを取り出してください。	— —
	NoREC	●以下の場合、**[録画●]** を押しても、録画はできません。 ・データ放送やラジオ放送、または録画中の番組を視聴中 ・外部入力に接続した機器でコピー禁止のディスクなどを再生中	—
	PLEASE WAIT	●終了処理中です。“BYE” が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。	— —
	PROG FULL	●「新番組おまかせ録画」以外の予約が 64 件登録されています。不要な予約を消してください。	38
	SLIDE	●写真のスライドショー再生中です。	—

	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
本体表示窓	U30 2 1～3のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 U30 2　表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を2秒以上押したままにしてください。	—
	U50	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか確認してください。	—
	U59	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	—
	U61	●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。故障ではありません。表示が消えれば使えます。	—
	U72 U73	●HDMI接続時に異常が発生しました。 ・接続機器がHDMIに対応していません。 ・HDMIケーブルが破損しています。 ・HDMIロゴの付いたケーブルをお使いください。	—
	U76	●HDMI端子と接続した機器が、著作権保護に対応していないため、著作権保護された BD-RE BD-R BD-V DVD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) は再生できません。	—
	U77	●お使いの BD-RE BD-R BD-V DVD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) は著作権情報が不正なため映像は出力されません。	—
	U88	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。故障ではありません。表示が消えれば使えます。	—
	F99	●本機が正常に動作しません。本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	F00 H00 (数字の 00は例です)	●異常が発生しました。("F"または"H"以降の数字は、本機の状態によって変わります) 電源を一度、切 / 入してください。	—
	UNFORMAT	●フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。	78
	UNSUPPORT	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。本機に対応したディスクをお使いください。	8、10、97

上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。
上記に紹介している操作をしても表示が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口(➜141)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などとお知らせください。

ディスクの取り出し時 -R(V) -R(AVCREC) -R DL(V) -R DL(AVCREC) -RW(V) (未ファイナライズのディスクのみ)

停止中に、[開/閉▲]を押して記録済みディスクを取り出そうとすると、ファイナライズの誘導画面を表示します。ファイナライズを行うと、他のDVD機器で再生できるようになりますが、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

他のDVD機器再生(ファイナライズ)

このディスクは他のDVD機器で再生できる処理を行うことができます。処理を行うと記録や編集はできなくなります。処理には約○分かかります。処理を開始してもよろしいですか?

● 録画ボタンを押すと処理を開始します。

▲ 開/閉ボタンを押すと処理を終了します。

この動作を行わないで終了した場合、本機以外で再生できません。

☞ファイナライズを行う場合

[録画●]を押す

●ファイナライズが実行されます。

☞ファイナライズを行わない場合

[開/閉▲]を押す

●ディスクトレイが開きます。

HDD の録画や再生中などは、ファイナライズを行わずにディスクトレイが開きます。本体表示窓には、下記の表示が出ます。

NoFINALIZE

● -R(V) -R DL(V) -RW(V) ファイナライズ後のディスクのトップメニュー画面の背景色や再生方法を設定したい場合は、ファイナライズを実行する前に、DVD管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。(➜81)

こんな表示が出たら（つづき）

	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
テレビ画面	(ディスクなどが)いっぱいで記録できません。 番組数がいっぱいで記録できません。 ダビング先の容量が足りません。	●HDD BD-RE RAM -RW SD 不要な番組、写真を消去してください。 ●新しいディスクやSDカードを使ってください。	17、69 —
	録画を正常に終了できませんでした。	●録画禁止の番組のため、録画できません。 ●ディスクの残量がなくなっていませんか。 ●最大番組数を超えていませんか。	— — 99
	チャンネルを設定してください。	●ガイドチャンネルが正しく設定されていないため、Gコード®予約ができません。	準備編 36
	⃠この操作は現在できません。	●ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。 （例：BD ドライブ選択中に [録画モード] を押した場合）	—
	再生できません。	●非対応のディスクが入っています。	97
	本機では再生できません。	●非対応の画像を再生しようとしています。 ●本体表示窓の"SD"が点滅していないことを確認して、SDカードを入れ直してください。	136 —
	フォルダがありません。	●本機で対応したフォルダがありません。	127
	データを取得中です	●デジタル放送からデータを取得中です。	—
	B-CASカードを正しく挿入してください。	●B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。B-CASカードを正しく挿入してください。	準備編 15
	アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。	—
	受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。	●アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。	準備編 28
	受信できません。 B-CASカード、アンテナ設定、もしくはこのチャンネルの契約をご確認ください。	●正しく受信できない番組を録画しようとしています。 ●アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局している場合は正しく受信できません。 ●有料放送の場合は、購入してから録画してください。 ●契約したB-CASカードを挿入していますか。	— 準備編 28 24 —
	現在、このチャンネルは放送を休止しています。	●放送を休止しているチャンネルを選んでいます。	—
	番組データがありません。決定ボタンで取得します。	●地上デジタル放送の番組表(Gガイド)データがありません。番組表(Gガイド)で取得したい番組を選んで[決定]を押すと、受信可能なチャンネルであれば数分で受信します。	—
	購入できません。電話の接続・設定を確認のうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	●B-CASカードの記録容量を超えている場合など、購入記録が送信できません。電話回線の接続や設定を確認してください。	準備編 14、 準備編 33
	現在、受信できません。	●受信するための送信データに異常が発生しています。	—
	視聴できません。視聴するには決定ボタンを押してください。	●有料番組の購入をしていません。 [決定]で、再度購入操作が行えます。	—
	データを送信します。よろしいですか？	●データ放送の指示により、データをサービスセンターに送信します。	—
	降雨対応放送に切り替わりました。	●雨の影響により、衛星電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り替えました。画質、音質が少し悪くなり、番組情報が表示できない場合もあります。	—
	緊急警報放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	●緊急警報放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。	—

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜141)にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- ●周期的なディスクの回転音
  (ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
- ●電源切/入およびHDDの休止時の音。休止中の反応が遅い。
- ●気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
- ●早送り･早戻し時の映像の乱れ
- ●BS/CS放送の一時的な休止による受信障害

本機が操作を受けつけなくなったときは…

●各種安全装置が働いていることがあります。

① **本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切る**
　●切れない場合は、約３秒間押し続けると強制的に切れます。(または、電源コードをコンセントから抜き、約１分後再びコンセントに差し込む)

② **本体の[電源 ⏻/I]を押し、電源を入れる**

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	電源が入らない	●電源コードがコンセントから外れていませんか。 ●予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、**初期設定**「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。 ●停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の[**電源⏻/I**]を押し、電源を入れてください。	— — —
	自動的に電源が切れた	●**初期設定**「自動電源〔切〕」が「2時間」または「6 時間」になっていませんか。 ●各種安全装置が働いていることがあります。本体の[**電源⏻/I**]を押し、電源を入れてください。 ●ビエラリンク(HDMI)をお使いのときは、テレビの電源が切れると本機の電源も自動的に切れます。ビエラリンク (HDMI)を使用しない場合は、**初期設定**「ビエラリンク制御」を「切」にしてください。	91 — 95
	自動的に電源が入る	●ビエラリンク (HDMI)をお使いのときは、テレビの番組表から予約が登録されると、本機の電源が自動的に入ります。ビエラリンク (HDMI) を使用しない場合は、**初期設定**「ビエラリンク制御」を「切」にしてください。	95
表示	表示が出ない 表示が暗い	●**初期設定**「本体表示窓の明るさ」で明るさを変えてください。 「オート」の場合は、電源「切」時は本体表示窓は消灯します。	94
	“0：00”が点滅している	●停電や電源コードをコンセントから抜いたあとなどに、点滅します。 時刻を合わせてください。 デジタル放送が受信できる場合は、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。	準備編 30
	“録画”が点滅している	●以下の場合に点滅します。 ･予約録画の開始時刻の約 1 分 30 秒前から開始時刻までの間 ･デジタル放送録画時、アンテナ抜けや電波が弱くて正常に録画できないとき ･録画や予約録画時に B-CAS カードが抜けているとき ･予約録画時に、HDD の残量がないとき	—
	残量表示が使用した量と違う	●残量表示は実際より増減することがあります。録画モード「DR」で録画した場合は特にばらつきが大きくなります。 ● -R -R DL 記録や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。	— —
	残量表示が画面によって異なる	●DR モード選択時の残量は、番組表や予約確認画面などでは、放送に合わせて17 Mbpsまたは24 Mbpsの転送レートで残量計算しますが、再生ナビ画面などでは、24 Mbps の転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。	—

診断コードについて

本機では、機器の状態を 16 けたの数字で表示することができます。
お問い合わせのときに、お聞きすることがあります。その場合、下記操作を行って16 けたの数字を表示してください。

① **[操作一覧]**を押す
② **[▲][▼]**で「その他の機能へ」を選び、**[決定]**を押す
③ **[▲][▼]**で「診断コード」を選び、**[決定]**を押す

例)

16 けたの数字をお伝えください。

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
テレビ画面や映像	**本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった**	●分配器を使っていませんか。市販のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●アンテナ線が劣化していませんか。お買い上げの販売店にご相談ください。 ●以下の場合は、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。 ・かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき ・**放送設定**「アンテナ電源」を「オン」にしているとき ●アンテナ線と HDMI ケーブルなどの距離を離してください。 ●**放送設定**「アンテナ出力」が「オフ」の場合、本機の電源「切」時にBS・110度CSアンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどで BS・110 度 CS デジタル放送を視聴できません。通常は「オン」のまま変更しないでください。	— — 準備編 19 88 — 88
テレビ画面や映像	**映像が出ない** **映像が乱れる**	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 ●プログレッシブ非対応テレビとD端子で接続し、プログレッシブ映像を出力する設定をしていませんか。本体の **[■ 停止]** と **[▶ 再生]** を同時に5秒以上押し、設定を解除してください。 ●HDMI端子の接続状態に合わせて、**初期設定**「HDMI映像優先モード」を設定してください。 ・HDMI 端子でテレビと接続:「入」 ・D 端子でテレビと接続し、HDMI 端子でアンプなどと接続:「切」 ●HDMI ケーブルによっては、接続の向きが決められているものがあります。向きを逆にして接続してみてください。 ●接続したテレビに複数のHDMI入力端子がある場合、他のHDMI入力端子に接続してみてください。 ●テレビのハイビジョン方式(MUSE)の端子に接続すると、音声が乱れたり、映らないことがあります。 ●コンポーネント(色差)ビデオ入力端子が1080iの信号のみに対応しているテレビの場合、D端子ピンケーブルで接続すると、DVDビデオの映像を正常に再生できません。映像(または S 映像)・音声コードで接続してください。 ●HDCP(不正コピー防止技術)に対応したDVIデジタル入力端子付の機器(パソコンのディスプレイなど)に DVI/HDMI 変換ケーブルを使用して接続したときは、機器によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。(音声は出力されません) ●テレビによっては、再生などの操作時に画面にノイズが出る場合があります。 ●HDMI接続で4台以上の機器をつなぐと映像が映らなくなることがあります。接続台数を減らしてください。	準備編 4~16 — 95 — — — — — — —
テレビ画面や映像	**表示していた画面が消える**	●**初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。	94
テレビ画面や映像	**横縦比4:3の画像が左右に引き伸ばされる** **画面サイズがおかしい**	●**初期設定**の以下の設定を確認してください。 ・「TV アスペクト」 ・「ワイドモード」 ・「TVアスペクト(4:3)の設定」 ●D端子で接続している場合、**再生設定**「映像」メニューの「プログレッシブ」を「切」にしてください。効果がない場合や「切」にできない場合は、**初期設定**「D端子出力解像度」を「D1」に、または「HDMI映像優先モード」を「切」に設定してください。	 95 91 95 47、95
テレビ画面や映像	**記録した番組の映像が縦に引き伸ばされる**	●4:3映像で記録された可能性があります。 **初期設定**「TVアスペクト」を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。 ●4:3のテレビにD端子またはHDMI端子で接続し、16:9映像を出力する場合、縦に引き伸ばされます。テレビのアスペクト設定で調整してください。また、調整ができない場合、**初期設定**「D 端子出力解像度 」を「D2」、「HDMI 出力解像度」を「480p」に設定してください。	 95 95
テレビ画面や映像	**テレビの左右に黒帯が表示される**	●**初期設定**「TVアスペクト」を「16:9フル」にするか、「画面モード切換」で「サイドカット」を選んでください。ただし、画像が左右に伸びる場合があります。	22、95
テレビ画面や映像	**映像の左右の端が切れる、** **または色が薄い**	●表示領域の広いテレビは、左右の映像が切れたり、色が薄くなったりします。	—
テレビ画面や映像	**再生時の映像に残像が多い**	●**再生設定**「映像」メニューの「HDオプティマイザー」を「切」にしてください。	47
テレビ画面や映像	**画質を調整しても映像が変わらない**	●映像によっては効果が得られない場合があります。	—
テレビ画面や映像	**ハイビジョン映像で出力されない**	●ディスクによっては著作権保護のため、D端子からの出力が480pに制限される場合があります。	—
テレビ画面や映像	**画面メッセージが出ない**	●**初期設定**「画面表示動作〔オート〕」が「入」になっていますか。	94
テレビ画面や映像	**ブルーバック(青い画面)にならない**	●**初期設定**「地上アナログ時のブルーバック」が「入」になっていますか。	94

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ボタン操作	テレビが操作できない リモコンが働かない	●テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。 ●本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。 ●リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがありませんか。 ●本体とリモコンのリモコンモードが異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を2秒以上押したままにしてください。	準備編 31 準備編 3 — —
	操作できない	●「HDD」、「BD」または「SD」を間違って選んでいませんか。 ●ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部できない操作があります。 ●本体表示窓に"U59"点灯時は本体内部温度が高くなっています。"U59"が消えるまで待ってください。 ●本体表示窓に"DL"が表示された場合は、ダウンロードの実行中です。ダウンロードが終了するまでお待ちください。	— — — —
デジタル放送	BS・110度CSデジタル放送が受信できない 映像や音声が出ない、または映りが悪くなった	●BS・110度CSデジタル放送対応アンテナを使用していますか。従来のBSアンテナではBSデジタル放送を受信できない場合があります。 ●BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナ線や分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。 ●アンテナ線やアンテナプラグが劣化またはショートしていませんか。 ●**放送設定**「受信設定」でアンテナレベルが最大になるように、アンテナを調整してください。 アンテナレベルの表示が白色で映らないときは、位相雑音の多いことが考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。 ●BS・110度CSデジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。このような場合、放送によっては降雨対応放送に切り換わることがありますが、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。 ●放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。	— — — 準備編 29 — —
	地上デジタル放送が受信できない	●お住まいの場所が、地上デジタル放送の放送エリアになっていますか。 受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できません。 ●地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを使用していますか。 現在の地上アナログ放送用UHFアンテナが、視聴地域の特定チャンネルに対応していない場合や、受信方向が異なる場合は、アンテナの増設が必要です。 ●**放送設定**「受信設定」でアンテナレベルが最大になるように、アンテナを調整してください。レベルが低い場合は、「アッテネーター」の設定を変更すると、受信できる場合があります。 ●集合住宅の共聴システムやCATVの場合は、地上デジタル放送対応の有無を共聴システムの管理者やご契約のCATV会社にお問い合わせください。	— — 準備編 28 —
	字幕や文字スーパーが出ない	●字幕や文字スーパーのある番組の場合、**放送設定**「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」を「オン」にしてください。	89
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	●有料放送の視聴には、放送局ごとに受信契約が必要です。 ●契約したB-CASカードを挿入してください。 ●電話回線を正しく接続し、**放送設定**「電話設定」を正しく行ってください。	— — 準備編 14、準備編 33

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
本体	本機底面が熱い	●本機の底面の温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。 移動させるときは、電源コードを抜いて3分以上待ってから移動させてください。	—
	ディスクが取り出せない	●本機の故障が考えられます。 電源「切」状態で、本体の[■停止]と[チャンネル∧]を同時に約5秒以上押すと、ディスクトレイが開きます。(ディスクトレイが開かない場合は、本体の[電源⏻/I]を3秒以上押したあと、再度同様の操作を行ってください) ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。	—
	ディスクのトレイが開くのに時間がかかる	●チャプターマークを作成、削除した場合、取り出し時にディスクの管理情報を更新するため、時間がかかります。	—
	起動が遅い 電源「入」時に、映像や音声の出力に時間がかかる	●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていますか。 ●以下の場合、時間がかかります。 ・HDD が休止状態になっているとき ・RAM 以外のディスクが入っているとき ・時計が設定されていないときや、停電直後または電源コードを差した直後 ・D端子やHDMI端子と接続しているとき	91 —
音声	音が出ない 聞きたい音声が聞こえない 音が小さい、おかしい	●接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。 ●[音声]を押して、正しい音声を選んでください。 ●カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクや二重放送の番組を再生する場合、**再生設定**「音声」メニューの「音質効果」を「切」にしてください。 ●光デジタル端子またはHDMI端子から音声出力時、**初期設定**「デジタル出力」を「Bitstream」にしていると、リ.マスターなどの音質効果が働きません。設定を「PCM」にしてください。(ただし、光デジタル端子に接続時は、2 チャンネルの音声になります) ●HDMI接続で4台以上の機器をつなぐと音声が止まることがあります。接続台数を減らしてください。 ●HDMI 端子の接続状態に合わせて、**初期設定**「HDMI音声出力」を設定してください。 ・HDMI 端子でテレビと接続し、テレビから音声を出力:「入」 ・HDMI 端子でテレビと接続し、光デジタル端子で接続したアンプなどから音声を出力:「切」 ●HDMI 端子で接続している場合、お使いの機器によっては異音が生じる場合があります。 ●HDMI 端子で接続し、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」を「入」にしている場合、副音声を含む BD-V では、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS-HD の音声は、ドルビーデジタルの音声で 48 kHz に変換されて出力されます。「切」にしてください。	93 — 47 93 — 95 — 93
	音声が切り換えられない	●**初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」の場合、地上アナログ放送は音声の切り換えができません。 ●ディスクや設定により記録される音声には制限があるため、再生時に切り換えができなくなる場合があります。 ●光デジタル端子またはHDMI端子でアンプと接続していませんか。**初期設定**「Dolby Digital」「AAC」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか音声コードで接続してください。 ●ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。	92 106 93 —
	ハウリング(ピー)音が出る	●モニター出力付きテレビに接続してディスクなどを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	—
ディスク	記録できない	●ディスクをフォーマットしていますか。 ●ファイナライズ後のディスクは記録できません。 ●誤消去防止(プロテクト)の設定がされていませんか。 ●ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。(不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください) ●カートリッジ付きの BD-RE は、本機では記録できません。 ●-R -R DL 記録後、ディスクの出し入れや電源の切/入を約30回程度繰り返すと、記録や編集ができなくなることがあります。 ●本機以外のDVDレコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。 ●録画/再生用レンズが汚れている場合があります。レンズをクリーニングしてください。	78 — 80 — — — — 112

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
録画	録画できない	●ディスクは［録画●］を押しても、録画できません。	—
予約録画	予約録画ができない	●以下の動作中、予約録画は実行されません。 ・1倍速ダビング、おまかせダビング、ファイナライズを含むダビング ・フォーマット、ダウンロードなど中断できない動作 ●［予約確認］を押して、予約内容を確認してください。 ・「重複」が表示された予約は、番組の一部またはすべてが録画できません。 ・「予約実行切」が表示された予約は、「予約実行入」にしてください。 ●時刻が合っていないと、正しく予約録画されません。 本体表示窓に“0：00”が点滅しているときは、時刻を合わせてください。	107 38 準備編 30
	ディスクに予約録画ができない	●以下の場合、ディスクに予約録画できません。 ・カートリッジ付きの BD-RE ・未フォーマットのディスク ・ -R(V) -R DL(V) -RW(V) のディスク ・ RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) に録画モード「HG」「HX」「HE」で予約 ・ RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) に録画モード「XP」～「EP」、「FR」で予約 ・CPRM 非対応の DVD にデジタル放送を予約 ・誤消去防止(プロテクト)の設定がされたディスク ・ディスクへの予約がすでにある(ディスクへの予約は 1 番組のみ)	—
	BS･110 度 CS デジタル放送の予約録画ができない	●BS･110度CSデジタルアンテナに電源が供給されていますか。電源が供給されていない場合、予約録画は実行されません。個別にBS･110度CSデジタルアンテナを設置している場合、**放送設定**「受信設定」の「アンテナ電源」を「オン」に設定していると、アンテナに電源が供給されます。また分配器を使って本機とテレビにアンテナを接続している場合は、テレビと本機のどちらからでも電源を供給できるように全端子電流通過型の分配器を使用してください。	88、 準備編 5
	番組追従機能が働かない	●G コード® 予約や時間指定予約では働きません。 ●毎週予約をした場合、放送開始時刻または終了時刻に２時間以上の変更があった番組には働きません。 ●毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。 ●アナログ放送では、予約登録後に放送時間が変更になると正しく働きません。	— — — —
	Gコード予約ができない	●ガイドチャンネルが正しく設定されていますか。 ガイドチャンネルが複数のチャンネルに設定されている場合は、不要なほうを削除してください。	準備編 36
	予約録画が終わっても、予約内容が消えない	●毎日･毎週予約のときは予約内容が残ります。 ●予約が正しく終了しなかった場合は、「一部未実行」などのマークが翌々日の午前4時まで表示されます。予約を取り消す操作で取り消すこともできます。	— 38
	録画した番組の一部、またはすべてが消えた	●録画中に停電になったり、電源コードが抜けるなどで電源が切れると、番組が消えたり、ディスクが使えなくなる場合があります。 フォーマット(HDD BD-RE RAM -RW)するか、新しいディスクを使ってください。(当社では、消えた番組や使えなくなったディスクは補償できません) ●「自動更新」を「入」にして予約録画すると、前回録画した番組を自動的に消去し、録画します。	— 28

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生	再生できない	●カートリッジ付きの BD-RE は再生できません。	—
	再生が始まらない、またはすぐに停止する	●他のブルーレイディスクレコーダーやパソコンなどで録画したコピー制限のある番組は、本機のHDDへダビングしても、著作権保護のため再生できません。 ● RAM(VR) EP（8時間）モードで記録した場合、他の機器で再生できないことがあります。この場合は、EP（6時間）モードで記録してください。	— 92
	再生の映像が乱れたり、正しく再生されない	●天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生していませんか。 ●録画モードの異なる番組や、アスペクト比（映像の横縦比）、解像度（480p など）の異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。	— —
	番組の先頭から再生が始まらない	●続き再生メモリー機能が働いています。番組の先頭から見たい場合は、[|◀◀] を数回押して番組の先頭に戻ってください。	—
	映像や音声が一瞬止まる	●シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。 ● -R DL 2層にまたがって記録されている番組を再生すると、層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。	— —
	録画した番組が再生ナビ画面に表示されない	● HDD BD-RE RAM 他の一覧（写真）を表示していませんか。[青] を押してください。	—
	BD ビデオや DVDビデオを再生できない	●視聴制限が設定されている場合、**初期設定**「 DVD-Video の視聴制限」や「BD-Video の視聴可能年齢」を変更してください。	92
	音声言語や字幕言語が切り換えられない	●ディスクに複数の言語が収録されていますか。 ●**再生設定**「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	— 16
	市販ディスクの字幕が出ない	●ディスクに字幕が収録され、**再生設定**「ディスク」メニューの「字幕情報」が「入」になっていますか。	46
	録画した番組の字幕が出ない	●DR モードの番組は、**再生設定**「信号切換」の「字幕」を「オン」にしてください。 ●録画モード「DR」以外で録画する場合、「字幕」を「オン」にして記録しないと、字幕情報は記録されません。	46 23、34
	アングルを切り換えられない	●ディスクに複数のアングルが収録された場所のみ切り換わります。	—
	BD ビデオや DVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。**[開/閉▲]** を押してトレイが開いている状態で BD ドライブを選び、本体の **[▶ 再生]** と **[●録画]** を同時に5秒以上押すと戻ります。（本体表示窓に "INIT" が表示）	—
	自動CM早送りが働かない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。 ●DR モードの番組や外部入力から録画した番組では働きません。 ● HDD ：1番組あたり49回/ ディスク1枚あたり49回まで働きます。	46 — —
	早見再生の映像がなめらかに再生されない	●DR、HG、HX、HE モードの番組や RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) BD-V AVCHD の場合、映像がなめらかに再生されないときがあります。	—
	スロー再生が戻り方向に働かない コマ戻しが正しく働かない	●HG、HX、HEモードの番組やAVCHDを取り込んだ番組、BD-V AVCHD では、スロー再生は戻り方向には働きません。 ● BD-V AVCHD コマ戻しはできません。 ●HG、HX、HE モードの番組や AVCHD を取り込んだ番組でのコマ戻しは、10数コマ単位となります。	— — —
	続き再生メモリー機能が働かない	●記憶した位置は、以下の場合解除されます。（ HDD は解除されません） ・ディスクやSDカードを取り出す ・ CD SD 電源を切る	—
	再生した番組の先頭が見られない	●ビエラリンク (HDMI) の機能により、テレビの電源が「切」状態で、本機のリモコンの **[▶再生]** を押して再生を始めた場合、テレビ画面が表示されるまで、見られません。[|◀◀] を押して番組の先頭に戻ってください。	—
	プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時、映像の一部が二重にぶれて見える	●映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状です。インターレース出力にすれば問題なく再生できます。**初期設定**「D端子出力解像度」を「D1」にしてください。HDMIケーブルでテレビと接続している時は、以下の手順で設定してください。 ① HDMI端子以外の映像端子で接続する ② **初期設定**「HDMI映像優先モード」を「切」にする ③ **初期設定**「D端子出力解像度」を「D1」にする	95 — 95 95
	データ放送の再生ができない	●本機では再生できません。	—

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ダビング	ダビングできない	●録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画した番組を RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にはダビングできません。 ●HDD から -R(V) -R DL(V) -RW(V) へのダビング時、以下の場合ダビングできません。HDDの不要な番組を消去してください。 ・HDDの残量が少ないとき（使用するディスクによっては、HDDの残量がSPモードで最大４時間必要な場合があります） ・HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が499 を超えるとき ●市販やレンタルの BD ソフトはダビングできません。 ●市販やレンタルのDVDソフトの多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。コピー禁止処理された映像はダビングできません。 ●外部入力（「L1」、「L2」）で接続した機器から HDD に記録されたコピー制限のある番組は、著作権保護の規定により、BD-RE BD-R にダビングできません。CPRM 対応の RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) をお使いください。 ●管理情報が含まれるなどの理由により、ダビング先に記録される容量がダビングする番組の合計より少し大きくなり、ダビングできない場合があります。	— — — — — —
	ダビングした番組が消えた	●デジタル放送は、ディスクにダビングすると、HDDの番組は消去されます。	—
	高速モードでダビングできない	● -R(V) -R DL(V) -RW(V) **初期設定**「高速ダビング用録画」が「切」の状態で、HDD に録画した場合は、高速ダビングできません。 ●録画モード「DR」「HG」「HX」「HE」以外で録画した番組は、BD-RE BD-R に高速ダビングできません。 ●録画モード「DR」で録画した番組は、DVD に高速ダビングできません。 ●録画モード「HG」「HX」「HE」で録画した番組は、RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW には高速ダビングできません。また、**初期設定**「HG～HEのディスク記録音声」が「固定」で、BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にダビングする場合、高速でダビングできません。	92 — — 92
	高速モードでのダビングに時間がかかる	●高速記録に対応していないディスクを使っていませんか。 高速記録対応ディスクでも、ディスクの状態によっては最高速にならない場合があります。 ●番組数が多い場合は時間がかかります。	— —
他機器との連携	外部機器からダビングできない	●正しく接続していますか。 ●**[入力切換]**（リモコン下部）で外部機器を接続した外部入力チャンネル「L1」「L2」などを選んでいますか。	60～62 —
	外部機器からダビングすると、黒い帯状のノイズが録画された	●接続した機器がテレビに近いために、テレビからの妨害を受けていることが考えられます。接続した機器をテレビから離してください。	—
	CATVから予約録画ができない	●本機と CATV の設定が正しいか確認してください。 ●「時間指定予約」の場合、「放送種別」や「チャンネル」を接続した端子に合わせてください。 ●外部入力（「L1」、「L2」）で接続した CATV からコピー制限のある番組を予約録画する場合、著作権保護の規定により、BD-RE BD-R に録画できません。	62 — —
	ダビングしたディスクが他の機器で再生できない	●ディスクや記録方式によって、他の機器で再生できない場合があります。	9、81、110

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
編集	番組を消去しても残量が増えない	●BD-R -R -R DL 消去しても増えません。 ●-RW(V) 最後に記録した番組を消去したときのみ、増えます。途中の番組を消去しても増えません。	— —
	編集できない	●HDD 残量がないと、編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去して残量を増やしてください。 ●ファイナライズ済みのディスクは編集できません。	17 —
	部分消去の開始点や終了点が設定できない	●開始点と終了点の間が短い場合や、開始点が終了点の後ろにある場合、すでに設定している区間に重なる場合は設定できません。	—
	プレイリストが作成できない	●本機ではプレイリストの作成はできません。	—
番組表(Gガイド)	番組表(Gガイド)が表示されない 8日分表示されない	●本機を初めてご使用のときや、約1週間以上本機の電源コードを抜いていた場合は、番組表(G ガイド)が表示できていません。 ●本機は、地上アナログ放送の番組表(Gガイド)であっても、衛星アンテナを接続し、BSデジタル放送が受信できる必要があります。 ●**放送設定**「番組表受信設定」が「BS768」に設定されている必要があります。(2008 年2月現在) ●お住まいの地域の受信状態に問題がある場合(電波状態が弱い場合など)は、データが取得できません。ブースター使用で改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。	— — 準備編 27 —
	地上アナログ放送で、映像が受信できるのに番組表(Gガイド)に表示されない放送局がある	●放送局名が正しく設定されていない場合は、表示されません。正しい放送局名を設定してください。 ●**放送設定**「Gガイド地域設定」で設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表(G ガイド)に表示されません。	準備編 36 準備編 27
	番組表(Gガイド)に同じ放送局が 2つ表示される	●現在視聴中の放送局は一番左に追加表示されるため、画面内に同じ放送局が2 つ表示される場合があります。どちらを選んでも問題はありません。	—
	番組表(Gガイド)に"予"が表示されない	●Gコード® 予約や時間指定予約の場合は、予約した番組の放送時間が、番組表の放送時間を含んでいるときのみ表示されます。	—
写真	再生ナビ画面を表示できない	●番組を録画中やダビング中のときはできません。	—
	再生ナビ画面で写真が表示されない	●日付別一覧とアルバム一覧とを間違っていませんか。**[サブ メニュー]**を押して、切り換えてください。 ●パソコンなどで編集した写真は再生できない場合があります。	— —
	編集やフォーマットができない	●カードのプロテクトを解除してください。	104
	カードの内容を読めない	●本機で対応していないフォーマットのカードを入れていませんか。(カードの内容が壊れている場合もあります)本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。 ●本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になっていませんか。 ●本機の電源を入れ直してください。 ●本機では8 MB～2 GBまでのSDカードと4 GB～16 GBのSDHCカードが使用できます。	— 127 — —
	ダビングや消去、プロテクトに時間がかかる	●ファイル数やフォルダの数が多い場合、数時間かかることがあります。 ●ダビングや消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。カードやディスクをフォーマットしてください。	— 78

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ビエラリンク（HDMI）	ビエラリンク（HDMI）が働かない	●本機の電源を「入」にしたときに、本体表示窓に“HDMI”が表示されない場合は、HDMIケーブルの接続を確認してください。 ●**初期設定**「ビエラリンク制御」が「入」になっていますか。 ●接続した機器側のビエラリンク（HDMI）の設定を確認してください。 ●HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにビエラリンク（HDMI）が動作しなくなる場合があります。このときは、以下の操作をしてください。 **1 HDMIケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ（ビエラ）の電源を入れ直す** **2 テレビ（ビエラ）のビエラリンク（HDMI）を制御する設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定する（詳しくはビエラの取扱説明書をご覧ください）** **3 テレビ（ビエラ）の入力を、本機を接続したHDMI入力に切り換えて、本機の画面を表示したあとに、ビエラリンク（HDMI）が動作するか確認する**	準備編 8、 準備編 11 95 — —
	オートサウンド連携が働かない	●**初期設定**「オートサウンド連携」が「入」になっていますか。 ●接続した機器の電源を入れる順番によっては、正しく働かない場合があります。その場合、テレビ（ビエラ）の入力を HDMI 入力以外に切り換えたあと、再び本機を接続した HDMI 入力に切り換えてください。	95 —
	録画や番組キープの実行に時間がかかる	●**初期設定**「ビエラリンク録画待機」が「切」になっている場合、数十秒かかります。「入」に設定してください。	95
その他	SDカードのMPEG2動画が再生できない	●SDカードから直接再生できません。HDDなどにダビングしてから再生してください。	59
	電話機にノイズ（雑音）が入る 電話回線につないでいるときに電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る	●モジュラー分配器を使用すると、一部の電話機やファクシミリでこの症状が出る場合がありますが、市販の自動転換器（パソコン対応用も含む）または電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）で改善される場合があります。 詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーにご相談ください。	—
	ダウンロードができない	●ダウンロードは、本機の電源を「切」にした状態で行われます。	—
	ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買い上げ時の設定値に戻る場合があります。設定をやり直してください。	準備編 21
	放送局や G ガイドのロゴが表示されない 広告が表示されない	●お好みチャンネルでは、放送が受信できない場合やお買い上げの設定直後は表示されません。 ●番組表では、受信状態によって表示されません。	— —

用語解説

ア　アンテナレベル

アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、アンテナを接続したケーブルの長さなどによって影響を受けます。

サ　サムネイル

複数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。(本機では、ファイナライズ後のトップメニューに番組内の1場面が表示されます)

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。
1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

字幕放送

テレビ番組の音声を文字で表示する放送です。放送中に番組からのお知らせを表示する「文字スーパー」という機能もあります。

双方向サービス

視聴者が自宅にいながら、クイズ番組に参加したり、買い物をすることができます。電話回線の接続が必要です。

タ　ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差が小さくなり、小音量でもセリフなどが聞き取りやすくなります。

ダウンミックス

デジタル放送やディスクに収録されたサラウンドの音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオなどをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。

データ放送

お客様のお住まいの地域の天気予報などの情報を選んで画面に表示させることができる放送です。また、テレビ放送やラジオ放送に連動したデータ放送や電話回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスなどが行われます。

デコーダー

DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

デジタルハイビジョン

デジタル放送には、デジタル標準テレビ放送(SD)とデジタルハイビジョン放送(HD)があります。ハイビジョンの有効走査線数は現行テレビ放送の480本の倍以上の1080本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

ドライブ

本機では、ハードディスク(HDD)、ディスク(BD)、SDカード(SD)のことをいいます。
データの読み書きを行います。

ハ　パン & スキャン/レターボックス

BD ビデオ、DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面(画面の横縦比が16:9)を前提に制作されているため、従来のサイズ(横縦比が4:3)のテレビに映し出そうとすると、16:9の映像が4:3に収まらなくなります。
4:3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- **パン & スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。
- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を映し出します。

ファイナライズ

番組を記録したDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。
ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

フィルム/ビデオ素材

一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。(映画の映像などで使われています)
- **ビデオ素材**
  映像情報が30フレーム/秒、60フィールド/秒で記録されているもの。(テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています)

フォーマット

記録前のDVD-RAMなどを録画機器で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。
フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

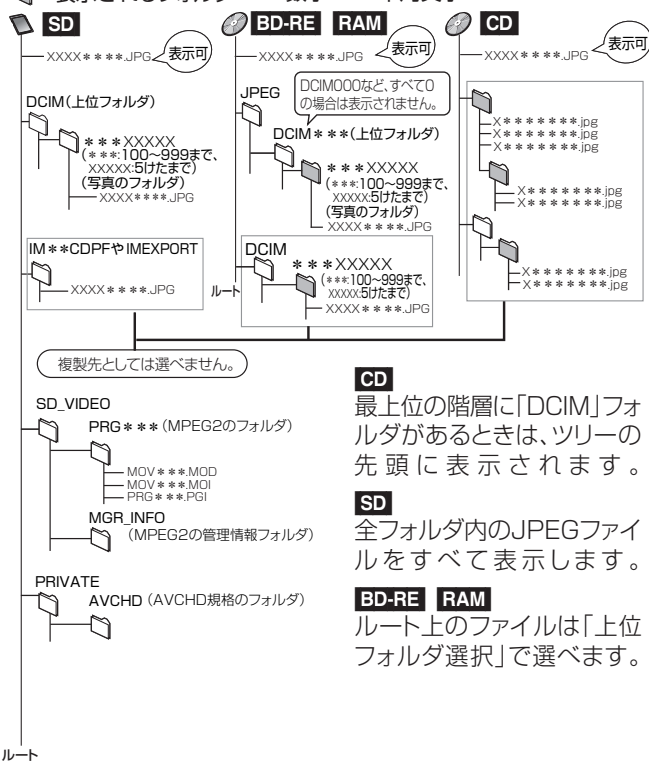
フォルダ
ハードディスクやSDカードなどで、データをまとめて保管するための場所のことです。本機では、写真(JPEG)やMPEG2などの保管場所を表します。

本機で表示されるフォルダ構造例

：表示されるフォルダ　＊：数字　x：半角文字

CD
最上位の階層に「DCIM」フォルダがあるときは、ツリーの先頭に表示されます。

SD
全フォルダ内のJPEGファイルをすべて表示します。

BD-RE **RAM**
ルート上のファイルは「上位フォルダ選択」で選べます。

- フォルダ名やファイル名を本機以外で入力した場合は、正しく表示されなかったり、再生や編集ができなくなることがあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。それ以外の漢字コードは正しく表示されません。

フレーム/フィールド
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム　フィールド　フィールド

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

プログレッシブ (p)/インターレース (i)
インターレース(飛び越し走査)は、画面の表示を奇数段と偶数段の2回に分けて行う従来の映像信号です。
プログレッシブ(順次走査)は、画面の表示を1回で行います。そのため、インターレースに比べてちらつきを抑えた高精細な映像を再現できます。

マ

マルチビュー放送
1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

ヤ

有料放送
チャンネル単位で購入する場合と、番組単位で購入する場合(ペイ・パー・ビュー)があり、それぞれ放送事業者との契約が必要です。ペイ・パー・ビューをご覧になるためには、電話回線の接続とテレビ画面上で購入操作が必要です。

A

AAC（Advanced Audio Coding）
衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング」の略で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

AVCHD
高精細なハイビジョン映像を 8 cmDVD 記録用ディスクやメモリーカード上に撮影記録できるように開発された新しいビデオカメラ記録フォーマット(規格)の名称です。

B

BD - J
BD ビデオには、JAVA アプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションは BD-J と呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、いろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

Bitstream
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1chなどのサラウンド音声信号に戻されます。

BONUSVIEW™
BD ビデオの新しい再生機能で、ディスクに記録された本編以外の副映像などを楽しむことができます。

C

CPRM（Content Protection for Recordable Media）
デジタル放送のコピー制御信号が加えられた番組に対する著作権保護技術のことです。コピー制御信号が加えられた番組は、CPRM に対応した機器とディスクに記録できます。

D

D映像端子
コンポーネント(色差)ビデオ信号と制御信号を1つにまとめた端子で、デジタル放送やDVDプレーヤーなどに対応しています。色信号の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号に分け、それぞれの専用回路で信号処理し、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみいただけます。

Dolby Digital
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2 ch)はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

Dolby Digital Plus
ドルビーデジタルの改良版で、さらなる高音質、5.1ch 以上の多チャンネル、より広いビットレートを実現しています。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。
※ 本機では対応している AV アンプに HDMI 接続し、デジタル出力を「Bitstream」に、BD ビデオ副音声を「切」に設定したときのみ出力できます。

Dolby TrueHD
DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版でスタジオマスターの音声データを完全に再生する高品位な音声方式です。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。
※ 本機では対応している AV アンプに HDMI 接続し、デジタル出力を「Bitstream」に、BD ビデオ副音声を「切」に設定したときのみ出力できます。

DPOF(Digital Print Order Format)
デジタルカメラなどで撮影した静止画を、写真店や家庭用プリンターでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

用語解説（つづき）

DTS（Digital Theater Systems）
映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

DTS - HD
映画館で採用されている DTS をさらに高音質 / 高機能化した音声方式で、下位互換性により従来の AV アンプでも DTS として再生できます。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

※ 本機では対応している AV アンプに HDMI 接続し、デジタル出力を「Bitstream」に、BD ビデオ副音声を「切」に設定したときのみ出力できます。

Ⓔ EPG（Electronic Program Guide）
テレビやパソコン、携帯電話の画面上に番組表を表示するシステムのことです。テレビ電波やインターネットを利用してデータを送信します。本機はテレビ電波を利用した方式に対応しており、番組表（Gガイド）を使って予約録画などができます。

Ⓗ HDD（ハードディスクドライブ）
パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の1つです。表面に磁気体を塗った円盤（ディスク）を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）
HDMIとは、デジタル機器向けのインターフェースです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

Ⓘ Ir システム
セットトップボックスなどから予約録画などの信号を、録画機器のリモコン受信部に送ることで、連動操作をする機能です。

Ⓙ JPEG（Joint Photographic Experts Group）
カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。

デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

Ⓛ LPCM（リニア PCM）
CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

LTH（Low to High）
有機色素系媒体を用いて記録するブルーレイディスクの新規格です。

本機で記録したLTH typeのBD-Rを他の機器で再生する場合、LTH type に対応していないと再生できないときがあります。

Ⓜ MPEG2、MPEG-4 AVC / H. 264
カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。MPEG2はデジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式で、MPEG-4 AVC/H.264 はハイビジョン映像の録画などに使われる圧縮方式です。

Ⓟ PCM（Pulse Code Modulation）
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の1つです。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

Ⓢ S映像出力
映像信号をC（色信号）とY（輝度信号）に分離してテレビに伝えます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類に合わせて信号が出力できます。

- **S1映像信号**
  映像の横縦比が4：3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16：9のサイズに戻して映します。

ディスク内の映像

画面の映像

- **S2映像信号**
  S1の機能に加え、レターボックス（上下に黒帯が入っている映像）のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。

ディスク内の映像

画面の映像

Ⓥ VBR（Variable Bit Rate）
映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

❶ 1080i、720p、480p、480i
映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。テレビ放送は 1 コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送っており、受信する機器側で元の画像に組み立てて表示します。

有効走査線数は、実際の画面を構成する走査線数のことをいいます。インターレース（i＝飛び越し走査）は、1行おきに走査する方式です。プログレッシブ（p＝ 順次走査）は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。

また、1080i、720p、480p、480i の表示は総走査線数にあたる 1125i、750p、525p、525i と表示されることもあります。

表示マーク一覧

●本機は表示マーク（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組内容画面

テレビ放送（映像＋音声）の番組

データ放送の番組

番組内容に関連したデータ放送を行っている番組

ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組

映像や音声などの信号切り換えできる番組

モノラル　モノラル音声の番組

ステレオ放送の番組

5.1ch などのサラウンド放送の番組

著作権が保護されているため「録画禁止」の番組

「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組

アナログの著作権が保護されているためアナログでの「録画禁止」の番組

アナログX出力　アナログ（映像端子、S1/S2映像端子、D端子）出力しない番組（音声も出力されません）

ラジオ　ラジオ放送の番組

番組とは別のデータ放送を行っている番組

ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組

16:9 1080i　番組の映像信号情報
上：画面の横縦比（16:9、4:3）
下：信号方式
（デジタルハイビジョン放送－ 1080i、720p）
（デジタル標準テレビ放送－ 480p、480i）

主+副　二重音声信号で、「主＋副」の音声の番組

有料　有料のデータを含むペイ・パー・ビュー番組

字幕　字幕（日本語/英語）の情報が含まれている番組

20才～　視聴年齢制限がある番組
（表示される年齢は4～20才まであります）

再生ナビ画面

HDDにダビング中の番組やデータが壊れているなど、再生できない番組

書き込み禁止（プロテクト）設定した番組や写真

録画中の番組

本機で録画したコピー制限のある番組
数字はディスクへダビングできる残り回数です。
ダビングするたびに数字は少なくなります。

本機で録画したコピー制限のある番組
HDD からディスクへのダビングは移動のみできます。
ディスクから HDD へのダビングはできません。

「新番組おまかせ録画」で録画された番組

HDD に代替録画された番組

新しく録画してまだ見ていない番組

「写真おまかせ取込」で取り込んでまだ見ていない写真

録画禁止信号により録画できなかった番組
（デジタル放送など）

2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組

プリント枚数（DPOF）が設定された写真

再生中の曲

表示マーク一覧(つづき)

予約一覧画面

マーク	内容
可	全編の録画が可能な番組
変更可	予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組
重複	予約時間が重なっている番組
FULL中断	HDDがいっぱいで録画が中断された番組
未実行	予約録画が実行されなかった番組
購入失敗	番組購入できずに予約録画に失敗したペイ・パー・ビュー番組
不可	HDDの残量が不足していて録画できない番組
コピー×中断	録画禁止信号により録画が中断された番組(デジタル放送など)
一部未実行	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組
選局失敗	追加購入できずに予約録画に失敗したペイ・パー・ビュー番組
予約実行切	予約の実行が「切」になっている番組
代替	予約時にディスクが未挿入などで、HDDに代替録画される番組
月/日迄	毎週予約時の、録画可能な日付(最大 1ヵ月先)。(他の番組の録画や消去など、ディスクの残量によって、日付が変更される場合があります)
警告	引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組
お知らせ	番組表(Gガイド)を使って毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合に表示
探して毎回★	テレビ(ビエラ)側から「探して毎回予約」で予約した番組
検索中	時間変更追従を実行中(時間確認中)
時間指定	Gコード®予約または時間指定予約で予約した番組
番組予約	番組表(Gガイド)を使って予約した番組
番組PPV	番組表(Gガイド)を使って予約したペイ・パー・ビュー番組
シリーズ終了	毎日・毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをお勧めします。
新番組	「新番組おまかせ録画」で自動的に予約された番組
毎週 毎日 月~土 月~金	毎日・毎週予約の番組
曜日指定	曜日指定した毎日・毎週予約のときに表示
毎週更新 毎日更新 月~土更新 月~金更新	毎日・毎週予約で自動更新をする番組(前回録画した内容に上書きして録画します)
●	録画中の番組

ダビング画面

-R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速でダビングできる番組

静止画を含むもの
(静止画部分はダビングされません)

ハイビジョン画質で録画された番組

(数字は10~2)
本機で録画したコピー制限のある番組
数字はディスクへダビングできる残り回数です。
ダビングするたびに数字は少なくなります。

本機で録画したコピー制限のある番組
HDD からディスクへのダビングは移動のみできます。
ディスクから HDD へのダビングはできません。

ダビングすると移動する番組
(詳細ダビング時)

2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組

その他の画面

マーク	説明
	視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組 暗証番号を入力すると視聴可
	メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール（未読メール）(➜87)
	番組表（G ガイド）を使って予約された番組の番組表（G ガイド）上での表示
	１番組限度額の設定より高い金額の番組 暗証番号を入力すると視聴可
	メール一覧画面で、お客様がすでに読まれたメール（既読メール）
新	「新番組おまかせ録画」で予約された番組の番組表（G ガイド）上での表示

言語番号一覧

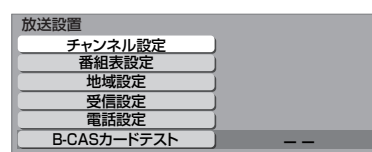
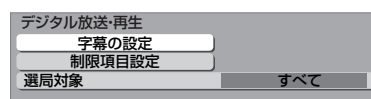
言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ヴォラピュック	8679
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国（朝鮮）語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール（スコットランド）	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
スペイン	6983
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タタール	8484
タミル	8465
タガログ	8476
タジク	8471
チェコ	6783
中国語	9072
チベット	6679
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア（白ロシア）	6669
ベンガル（バングラ）	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マライ（マレー）	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
マダガスカル	7771
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア（レット）	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

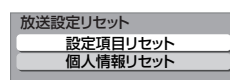
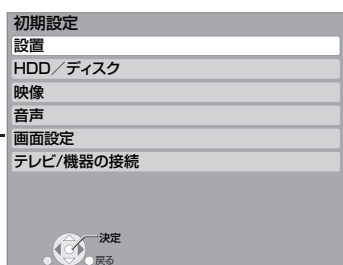
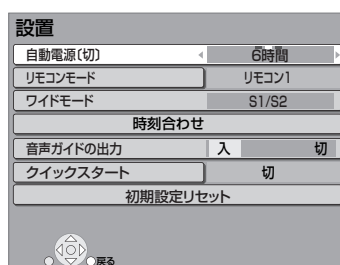
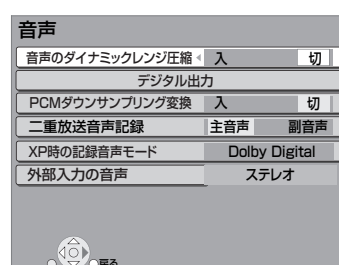
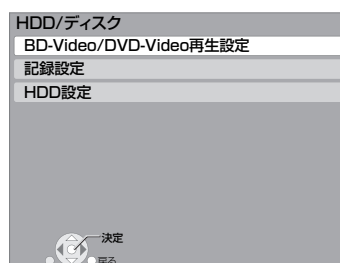
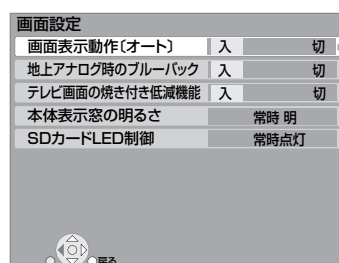
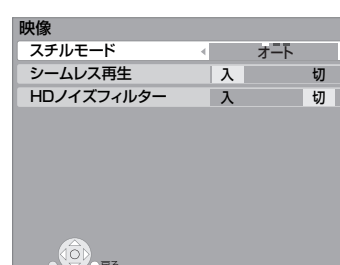
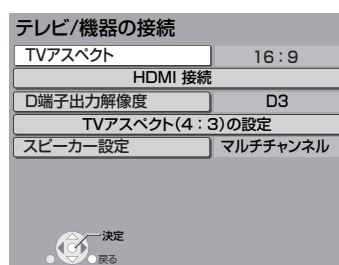
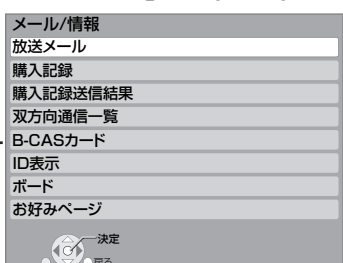
操作一覧

操作一覧画面から本機の各機能の操作を行うことができます。
● ただし、ドライブやディスクの種類、記録状態によって、選択できる項目は異なります。

「放送設定」画面

「かんたん設置設定」画面(➜88)

「放送設置」画面(➜88～89)

「デジタル放送･再生」画面(➜89～90)

「ダウンロード」画面(➜90)

「放送設定リセット」画面(➜90)

「初期設定」画面

「設置」画面(➜91)

「音声」画面(➜93～94)

「HDD/ディスク」画面(➜92～93)

「画面設定」画面(➜94)

「映像」画面(➜93)

「テレビ/機器の接続」画面(➜95～96)

「メール/情報」画面(➜87)

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源　AC 100 V、50/60 Hz
消費電力　動作時：約 35 W
待機時(クイックスタート「切」)：
時刻表示点灯時・約 1.8 W
時刻表示消灯時・約 0.4 W
・地上デジタルアッテネーター：「オン」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源：「オフ」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ出力：「オフ」

待機時(クイックスタート「入」)：
時刻表示点灯時・約 9.7 W
時刻表示消灯時・約 9.1 W
・地上デジタルアッテネーター：「オフ」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源：「オン」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ出力：「オン」

本体

寸法	幅 430 mm×高さ 59 mm×奥行 315 mm (突起部含まず) 幅 430 mm×高さ 59 mm×奥行 324 mm (突起部含む)
本体質量	約 4.0 kg
許容周囲温度	5 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%～80%RH (結露なきこと)
時計	クォーツ制御、24時間、デジタル表示
プログラム数	1ヵ月　64プログラム

テレビジョン方式

映像方式	NTSC方式、有効走査線数 480本、60フィールド デジタルハイビジョン： 地上デジタル放送方式(日本)、 衛星デジタル放送方式(日本)
アンテナ受信入力	**地上アナログ入力** 90 MHz ～ 770 MHz　75 Ω (VHF：1～12 CH、UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH) **地上デジタル入力** 90 MHz ～ 770 MHz　75 Ω (VHF：1～12 CH、UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH) ワンセグ放送は受信できません。 **BS・110度CSデジタル -IF 入力** 1032 MHz～2071 MHz (IF入力周波数) 75 Ω 電源供給　:DC 15 V、最大4 W

入出力端子(映像・音声を除く)

SDメモリーカードスロット	1系統
電話回線(モジュラー)端子	1系統[V.22bis(2400 bps、着呼機能なし)]

映像

記録圧縮方式	MPEG2(Hybrid VBR) MPEG-4 AVC/H.264
映像入力	入力端子　:2系統(ピンジャック) 入力レベル　:1.0 Vp-p　75 Ω
S映像入力	入力端子　:2 系統 Y入力レベル　:1.0 Vp-p　75 Ω C入力レベル　:0.286 Vp-p　75 Ω
映像出力	出力端子　:1系統(ピンジャック) 出力レベル　:1.0 Vp-p　75 Ω
S映像出力	出力端子　:1系統 Y出力レベル　:1.0 Vp-p　75 Ω C出力レベル　:0.286 Vp-p　75 Ω
D端子映像出力(D1/D2/D3/D4端子)	出力端子　:1系統 (480i/480p/1080i/720p) Y出力レベル　:1.0 Vp-p　75 Ω CB/PB出力レベル:0.7 Vp-p　75 Ω CR/PR出力レベル:0.7 Vp-p　75 Ω
HDMI 映像・音声出力	出力端子　:1系統(19ピン typeA端子) HDMI [本機はビエラリンク (HDMI)Ver.3 に対応しています] (480p/1080i/720p)

音声

記録・再生圧縮方式	●Dolby Digital： (XP、SP、LP、EP、FR モード)　2ch記録 (HG、HX、HEモード・デジタル放送記録時) 最大5.1ch記録 ●リニアPCM(XPモードのみ切り換え可)： 2ch記録 ●MPEG2 AAC(DRモード・デジタル放送記録時)： 最大 5.1ch 記録
アナログ入力	入力端子　:2ch入力 2系統(ピンジャック) 基準入力　:309 mVrms 入力レベル： FS：2 Vrms(1 kHz、0 dB) 入力インピーダンス：22 kΩ
アナログ出力	出力端子　:2ch出力 2 系統(ピンジャック) (D端子用音声出力×1を含む) 基準出力　:309 mVrms 出力レベル： FS：2 Vrms(1 kHz、0 dB) 出力インピーダンス：1 kΩ 負荷インピーダンス：10 kΩ
チャンネル数	記録：2ch、[デジタル放送記録時：最大 5.1ch] 再生：2ch HDMI 出力：最大 7.1ch 光デジタル出力：最大 5.1ch (Bitstream)
デジタル出力	光デジタル音声出力端子：1系統 (PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG2 AAC対応)

HDD/BD部

内蔵HDD容量	250 GB
記録可能なディスク※1	●BD-RE(SL:片面 1 層 /DL:片面 2 層) 1-2X SPEED(Ver.2.1 準拠) (1X SPEED Ver.1.0 は非対応) ●BD-R(SL:片面 1 層 /DL:片面 2 層) 1-2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 1-4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 1-2X SPEED LTH type(Ver.1.2 準拠) ●DVD-RAM※2: 2X SPEED(Ver.2.0 準拠) 2-3X SPEED(Ver.2.1 準拠) 2-5X SPEED(Ver.2.2 準拠) ●DVD-R: 1X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-4X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-8X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-16X SPEED(Ver.2.1 準拠) ●DVD-R(DL): 2-4X SPEED(Ver.3.0 準拠) 2-8X SPEED(Ver.3.0 準拠) ●DVD-RW: 1X SPEED(Ver.1.1 準拠) 1-2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 2-4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 2-6X SPEED(Ver.1.2 準拠)
記録方式	●BD-RE: Blu-ray Disc Rewritable Format 準拠 ●BD-R: Blu-ray Disc Recordable Format 準拠 ●DVD-RAM: DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCREC 規格準拠 ●DVD-R、DVD-R DL(片面 2 層): DVDビデオ規格準拠、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCREC 規格準拠 ●DVD-RW: DVDビデオ規格準拠、 DVDビデオレコーディング規格準拠

リージョンコード	DVD :#2 BD :Region A
再生可能なディスク	●BD-RE SL(SL: 片面 1 層): 2X SPEED(Ver.2.1 準拠) 25 GB (1X SPEED Ver.1.0 は非対応) ●BD-RE DL(DL: 片面 2 層): 2X SPEED(Ver.2.1 準拠) 50 GB (1X SPEED Ver.1.0 は非対応) ●BD-R SL(SL: 片面 1 層): 2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 25 GB 4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 25 GB 2X SPEED LTH type(Ver.1.2 準拠)25 GB ●BD-R DL(DL: 片面 2 層): 2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 50 GB 4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 50 GB 2X SPEED LTH type(Ver.1.2 準拠)50 GB ●BD-Video ●DVD-RAM※2: DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠、AVCREC 規格準拠 ●DVD-R、DVD-R DL(片面2層): DVDビデオ規格準拠※3、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠※3、AVCREC 規格準拠※3 ●DVD-RW DVDビデオ規格準拠※3、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠※3 ●+R、+R DL(片面2層)、+RW: DVDビデオ規格準拠※3、AVCHD規格準拠※3 ●DVD-Video:DVDビデオ規格準拠 ●CD-Audio(CD-DA) ●CD-R/CD-RW: CD-DA、JPEG フォーマット記録ディスク

※1　8 cmブルーレイディスク、DVDディスクへは記録できません。
※2　カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください
※3　他機器で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズが必要です。

仕様(つづき)

SD部

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード※4※5※6※7

SDカード機能/静止画(JPEG)

対応フォーマット	FAT12、FAT16、FAT32※8
画像ファイル形式	●JPEGベースライン方式 (DCF 準拠) ●DPOF対応
画素数	34×34～5120×3840 サブサンプリング:4:2:2、4:2:0
解凍時間※9	約2秒(810万画素、JPEG)

SDカード機能/動画(MPEG2)

ファイル形式	SD VIDEO規格準拠 ●SD(SD VIDEO規格)からHDDまたはビデオレコーディング規格の DVD-RAM/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW への変換転送後に再生可能

SDカード機能/動画(MPEG-4 AVC/H.264)

ファイル形式	AVCHD規格準拠

写真(JPEG)

再生可能なメディア	HDD、BD-RE、DVD-RAM、CD-R/CD-RW、SD カード
ファイル方式	JPEG ●ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
画素数	34×34～5120×3840 サブサンプリング:4:2:2、4:2:0
フォルダ数	CD-R/CD-RW :ディスク上にルートを含む最大 99 フォルダ HDD、BD-RE、DVD-RAM、SD カード :上位フォルダを含む最大 300 フォルダ
ファイル数	CD-R/CD-RW :ディスク上の最大 999 ファイル HDD、BD-RE : 最大 9999 ファイル DVD-RAM、SD カード :最大 3000 ファイル
Motion JPEG	非対応
CD(JPEG)	●ISO9660 level1 と 2(拡張フォーマットは除く)、Joliet 対応 ●マルチセッション対応 ●パケットライト方式非対応

HDD BD-RE RAM SD DCF 準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)したフォーマットが使用できます。

DCF: Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]

※4 使用可能容量は少なくなることがあります。
※5 SDHCメモリーカードを含む。(Class非対応)
※6 miniSDカードを含む。(miniSDアダプター装着時)
※7 microSDカードを含む。(microSDアダプター装着時)
※8 ロングファイル名非対応。
※9 解凍時間は使用環境(ファイル数·圧縮率など)によって多少長くなることがあります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

絵表示	内容
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

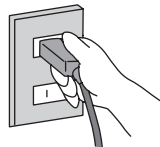
警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

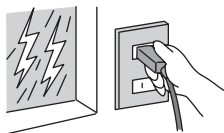
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

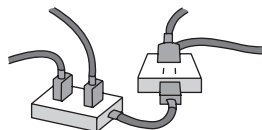
電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **落下などで外装ケースが破損したとき**
- **煙や異臭、異音が出たとき**

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

本機のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）（つづき）

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

●乾電池は充電しない
●加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
●⊕と⊖を針金などで接続しない
●金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
●⊕と⊖を逆に入れない
●新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
●被覆のはがれた電池は使わない
●乾電池の代用として充電式電池を使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
●電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

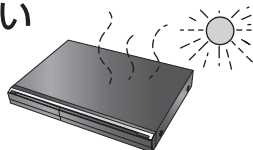
電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

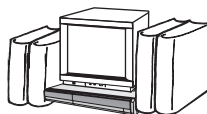
●液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
●液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

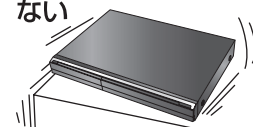
異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
●直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。
●後面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

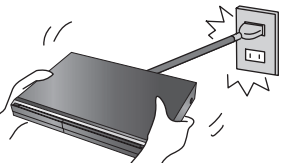
倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。
●設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

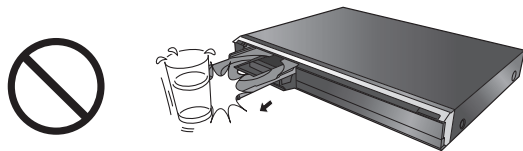
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
●ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指に注意

けがの原因になることがあります。
●特にお子様にはご注意ください。

⚠ 注意

機器の前にものを置かない

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、
開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。
- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
  この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドロゴ、Gコード、G-CODE、および Gコードロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
  Gガイド、および Gコードシステムは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
  米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- “DTS”は、DTS, Inc. の登録商標です。“DTS-HD Advanced Digital Out”は、DTS, Inc. の商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア(株)のモバイルWnnを使用しています。
  “Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “BONUSVIEW”は Blu-ray Disc Association の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画(以下、AVC/VC-1 ビデオ)を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  - ・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC(http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[操作一覧]ボタンを押し、“その他の機能へ”→“メール／情報”→“ID表示”→“ソフト情報表示”をご参照ください。
- メールや購入記録、データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は2008年2月現在のデジタル放送規格の運用条件(著作権保護内容)に基づいて設計されています。
- この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利確保のため権利者に支払われることが定められています。
  私的録画補償金のお問い合わせ先
  〒107-0052
  東京都港区赤坂5丁目4番6号
  赤坂三辻ビル 2F
  社団法人 私的録画補償金管理協会
  TEL 03-3560-3107(代)
  FAX 03-5570-2560

  なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■補修用性能部品の保有期間 ８年

当社は、このブルーレイディスクレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

「故障かな!?」（➜117～125）に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容			
製　品　名	ブルーレイディスクレコーダー	お買い上げ日	年　　月　　日
品　　番	DMR-BR500	故障の状況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

使いかたのお問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることがあります。（➜117）

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

拠点	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

拠点	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

拠点	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

拠点	住所	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近畿地区

拠点	住所	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

拠点	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

拠点	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

拠点	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

拠点	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0608

さくいん

英数字　ページ

あ　行　ページ

か　行　ページ

さ　行　ページ

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を！

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	販売店名	☎（　　）　－
	品番	DMR-BR500		
	B-CAS カード番号	B-CAS カード番号を記入してください。 お問い合わせのときに必要な場合があります。		

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT9113-MSA
F0208TN3088